

原註

特定ページに注意を向ける必要がある場合にのみ、記事および書籍について引用文のページを記載している。

第一章 序論

- ▼1 古典的研究は Mary Douglas (1966)。
- ▼2 Nicolson and Rousseau (1968)。
- ▼3 Oppenheim (1991); Shorter (1992); 同著者 (1994) を参照。
- ▼4 Charles E. Rosenberg (1989), 1-15, p. 3 および Rosenberg and Golden, eds (1992) の 'Introduction', xiii-xxvi を参照。疾病とその意味に関する最近の研究として、Gilman (1982); 同著者 (1988); 同著者 (1985); Sontag (1978); 同著者 (1989) を参照。ヒステリーについては、Gilman, King, Porter, Rousseau and Showalter (1993)、および Micale (1995) を参照。ハンセン病については、Saul Nathaniel Brody (1974) を参照。
- ▼5 Dirckx (1983); Roy Porter (1995) の専門用語を辿った研究論集を参照。
- ▼6 身体の歴史と社会学については、Feher, eds (1989); Bryan S. Turner (1984); 同著者 (1991); Arthur W. Frank (1991) を参照。疾病の個人利用については Pickering (1976) を、洞察力の鋭い疾病の作家記については Ober (1979) を参照。
- ▼7 Sterne, *Sentimental Journey* (1967), p. 52. スターンの病気の寓話については D. Furst (1974); Rogers (1978); Roy Porter (1989b) を参照。
- ▼8 伝記的・文学的洞察力の点で特に価値があるのは、G. S. Rousseau (1991b) の著作である。まず、同著者 (1991b); 同著者 (1993) を参照。同著作の長い序文が、詳細な参考文献を提供している。Howard Brody (1987); 同著者 (1992); Kleinman (1980); 同著者 (1986); 同著者 (1988); Hunter (1991) も参照。精神分析を伴う文学の観点から痛風を分析しようとする先駆的試みは、Gordon (1993) で確認。
- ▼9 歯痛と歯科は、伝統的に滑稽である。Kunzle (1989) を参照。痛風の歴史は既に執筆されているという意見もあるかもしれない。だが、Copeman の *A Short History of the Gout and the Rheumatic Diseases* (1964) には、リウマチ学者としての著者の専門意見をはじめ多くの長所があるとはいえ、30年以上前の作品であり、出典が明記されておらず、あからさまにホイッグ主義的だ。また、不正確な引用が多い。我々は、Copeman の研究書をありがたく利用してきたが、そろそろさらなる歴史書が必要だと信じている。Mertz (1990) は、新たな研究をほとんど編入していない、かなり大雑把な概要だ。
- ▼10 [Anon.] (1959)、Philander Misaurus (1699)、および真面目そうだが実は滑稽な状況の逆転については Marten (1737) を参照。痛風はグロテスクの範疇にふさわしい——Bakhtin (1968) および Paster (1993)。
- ▼11 Norton, eds (1855), ii, p. 239. この節その他は、Roy Porter (1994) の資料を再利用した。
- ▼12 Lady Holland (1855), ii, p. 565. Smith, letter to Countess Grey, 24 August 1841. Wallace (1962) および Virgin (1994), pp. 276-7 も参照。
- ▼13 Chapman, eds. (1984), ii, p. 138, letter 485, 3 June 1776; J. P. W. Rogers (1986) および

Wiltshire (1991), pp. 35-6.

▼14 流行性疾患については、Crosby (1976); McNeil (1976); Charles E. Rosenberg (1962); Evans (1987); 同著者 (1988) を参照。Fee and Fox, eds (1988).

▼15 痛みを伴う非致死性の慢性疾患への対応については、Roy Porter and Dorothy Porter (1988) および Dorothy Porter and Roy Porter (1989) を参照。

▼16 *Pickwick Papers* および *Bleak House* において、痛風は確かに飛び回っている。ディケンズと医学については、Bailin (1994), p. 80f. を参照。Rodnan (1961) は、諷刺画家のあいだでは、痛風は廃れてしまったと指摘。

▼17 リウマチ、関節炎、気管支炎の本一冊分の歴史書はないが、Brewerton (1992) を参照。エイズが慢性疾患とみなされるにつれ、慢性疾患の歴史は、もっと注目されるようになるに違いない。Fee and Fox, eds (1992) を参照。

▼18 本書で提供する臨床・疫学データは、主として Benedek (1993a); 同著者 (1993b); Denko (1993); Duncan and Leison (1993); Estes (1993); French (1993b); Steinbock (1993b) に基づく。

▼19 Lady Holland (1855), i, p. 35 で引用。

▼20 Comrie (1922), p. 59.

▼21 Currie (1979). 女性については、Benedek (1997) を参照。

▼22 Hartung (1954).

▼23 Rodan and Benedek (1963).

▼24 Abbot et al. (1988).

▼25 [Anon.] (1967); Breckenridge (1966), i, pp. 15-18; Montye et al. (1967).

▼26 「インド人の痛風について、2ないし3の事例を聞いたことがあるが、白人からラム酒の使用法を学んだ者だけだった」——Rush (1947), p. 263-4.

▼27 Mody and Naidoo (1984); Beighton et al. (1987).

▼28 「消費 Consumption」は、疾病（肺病・結核）と社会経済学的行為（=消費）との二つの意味を持っている——Roy Porter (1993c).

▼29 L. Stevenson (1965); Roy Porter (1991a); 同著者 (1993a) を参照。退化・変質については、Inglis (1981); Pick (1989); Chamberlin and Gilman, eds (1985); Starobinski (1992) を参照。初期の医学理論については、Tissot (1768); 同著者 (1771); Thomas Trotter (1807) を参照。

▼30 疾病概念が、どのようにジェンダーを刻み込んでいるかについては、Geyer-Kordesch (1993)、Jordanova (1989)、Schiebinger (1989)、同著者 (1993)、Gilman, King, Porter, Rousseau and Showalter (1993)、Micale (1995) を参照。

▼31 憂鬱について比較せよ。ルネサンス期には、上流階級の意気消沈はメランコリーと威厳をつけられたが、下層階級では「塞ぎ込み」と非難された——MacDonald (1981)。卓越についての分析を Bourdieu (1984) が提供している。ヒポコンデリ、ヒステリー、メランコリー、神経症、肺病・結核などの疾病が優位性の証として使用されたことをあばいて見せたのは、Beddoes (1802); 同著者 (1806); Roy Porter (1991a)。

▼32 Ellis (1927); Becker (1978); Sass (1992) を参照。

▼33 Bell (1985); Vandereycken and Van Deth (1994) を参照。

▼34 Sontag (1978).

▼35 疾病理論の歴史については、Riese (1953); Risse (1978); Temkin (1961); Engelhardt (1975) を参照。疾病の社会動学については、Parsons (1958); Mechanic (1962) を参照。

▼36 De Kruif (1926) と Greer Williams (1959) を参照。

▼37 Grmek (1994); Root-Bernstein (1993) を参照。

▼38 Balint (1957); Watts (1992).

▼39 Canguilhem (1989); Bynum and Nutton, eds (1981).

- ▼40 Starobinski (1992); Bakan (1971); De Moulin (1974); Hodgkiss (1991); Keele (1957); C. S. Lewis (1940); David B. Morris (1991); Scarry (1985); Szasz (1957); Roy Porter (1993b).
- ▼41 以下の情報は、Benedek (1993a and b); Denko (1993); Duncan and Leison (1993); Davies (1993); Estes (1993); Steinbock (1993a and b) から抜粋。
- ▼42 Hart (1976); Short (1959). 伝統的な治療薬には、クロウメドキ、ゴボウ、シマセンブリ、ハコベ、ヒレハリソウ、ニワトコ、シモツケ、ハリモクシュク、スマレ、ウィンターグリーン、ヨモギが含まれる。
- ▼43 *Agnivesa's Caraka Samhita* (1976).
- ▼44 Baillou (1940), pp. 141-62.
- ▼45 同上。
- ▼46 Copeman (1964), pp. 121-2で引用。
- ▼47 同書、p. 122。
- ▼48 English (1992); Parish (1963 and 1964).
- ▼49 Alfred Garrod (18876), p. 498. Archibald Garrod (1890); 同著者 (1923-4); 同著者 (1897) による寄稿も参照。
- ▼50 Copeman (1964), p. 185.
- ▼51 Archibald Garrod (1890).
- ▼52 病巣感染については、Dally (1993); Scull (1987) を参照。関節炎治療については、Heywood (1990); Cantor (1990); 同著者 (1991); 同著者 (1993b); Hart (1976); Quinones (1966); Marks (1992) を参照。
- ▼53 同じような起源を示す言葉に、「dripping」、すなわち肉をローストする際に滴る脂肪がある。「痛風 gout」という用語の含意は、興味深い研究材料だろう。17世紀の日常表現において、「Spanish gout」「Covent Garden gout」のように「gout」は、性感染症の婉曲表現だった。痛風を巡る意味論は人を悩ませる。

「gout」という語の語源は、決して明らかではない。私自身は、ギャロッドに従っていた。彼の著作のドイツ語訳によれば、ギャロッドは、「Gicht」という語が、英語の「gout」とフランス語の「goutte」に相当するとみなしていた。フィルヒョウ (Virchow) が、最近になって「Gicht」という語の起源はラテン語の「gutta」にあるとした。しかし、この語源解釈は、痛風の起源に関して持たれていた古くからの考え方と一致するものの、私としては、「Gicht」が同じ語源だとは認められない。「グリム・ドイツ語辞典」を編集している同僚のモーリッツ・ハイネ教授 (Professor Moritz Heyne) によれば、「Gicht」は古英語の男性形「gihda」(dの発音は、英語のthと同じ) と同じで、「体の痛み全般」を意味する。したがって、「Gicht」は、正確に言えば総称で、「weh」、すなわち「苦痛 woe」、痛み *pain*」に相当する。(Ebstein [1886], p. 41)

- ▼54 Duden (1991).
- ▼55 基本的な事柄をもう数点指摘しておこう。本書は、17世紀から20世紀初頭までの期間に焦点を合わせている。この期間は、痛風が文化全体と最も興味深い形で作用しあった時期だ。調査した文献は主として英語で、多少、フランス語の文献もあった。ドイツについては、最近になって Mert (1990) が述べている。各国の疾病の歴史については、Payer (1989) を参照。

第二章 古代ギリシア・ローマ時代の遺産

- ▼1 Hartung (1957). 歴史上の人物における痛風の最初の事例を確証する試みについては、Devries and Weinberger (1974); F. Rosner (1969) を参照。古病理学的・考古学的証拠については、

Cockburn and Cockburn (1980), p. 37f.; Calvin Wells (1964); Bird (1957); Jackson (1988), pp. 177-9; Grmek (1989), pp. 72-3を参照。

▼2 Seneca (1917-28), letter xcv, lines 16-18, pp. 66-9. 小プリニウスも、同様の考えだった——Hartung (1957)。

▼3 Nutton (1985); Jackson (1988), pp. 40, 166, 170, 177-9. しかし、主張されているようなローマ帝国における痛風の流行は、そのような「贅沢」に起因したのではなく、金属製のワイン樽の使用および／または不純物の添加によって引き起こされた鉛中毒に起因したので、話は見た目以上に複雑かもしれない。Wedeen (1981; 1984a; 1984b) を参照。Nriagu (1983); Gaebel and Nriagu (1983); Jackson (1988), pp. 177-9 も参照。

大プリニウスは、痛風を「外国由来の病気」と呼んだ——Pliny the Elder (1949), xxvi, p. 100. 小プリニウスは、長年痛風を患っていた友人ルルスについて記している。

私は、彼が、父親と同じように32歳で足に痛風を発症したと言うのを聞いた。他の特質と同じように、大半の疾病は遺伝性だからだ。若くて活動的なあいだは、節度ある生活と厳しい禁欲によって、痛風を抑制できた。そして、後に年齢とともに病状が悪化すると、信じ難いほどの痛みに責め苛まれても、精神力だけでそれに耐えた。([1972, 1975], i, p. 12)

▼4 Hartung (1957). Aretaeus (1856), p. 362参照。

▼5 Nutton (1993). 背景と議論については、Phillips (1973); Lloyd (1983); Grmek (1989); Edelstein (1967); Scarborough (1969) を参照。帝国内での関節炎については、Jackson (1988), pp. 177-9を参照。

▼6 「カタル Catarrh」は、流れる体液と同じ概念も意味した——French (1993b)。体液説では、多くの疾病が、カタル性の腐食体液が脳から頭蓋底骨を通過してさまざまな器官へ流下することに起因すると考えられた。それが、肺では膿瘍と肺結核を、関節ではリウマチと痛風を、脚では潰瘍と腐敗を引き起こした。したがって、「流下」は、体液病理学の典型的な産物だった。これに類似するもう一つの語は、「浮腫 dropsy」である。これについては、Peitzman (1992); Estes (1993); Applboom and Bennett (1986) を参照。

▼7 Byl (1988) は、『ヒポクラテス全集』において、ギリシア語の「arthron」(関節) が約30回使われ、痛風を意味する語が約20回使われていると指摘。

▼8 Hippocrates, *On the Affections of the Parts*. Hippocrates (1923-31) の第4巻Hippocrates, *Aphorism* を参照。

▼9 Hippocrates (1923-31) の第4巻Hippocrates, *Aphorism*。痛風に関する他の(性に関係ない)3つの箴言は、箴言25「痛風であれ、捻挫であれ、皮剥けを伴わない関節の腫れと痛みは、大半の場合、冷水をたっぷりかければ軽減する」、箴言40「痛風の場合、炎症は40日以内に弱まる」、箴言55「痛風は、春と秋に活発化する」だ。Kersley (1956) とMcFadzean (1965) も参照。

▼10 Copeman (1964), p. 23. したがって、男性の痛風は、女性の生理と似た機能を果たし、病原性物質を排出する。女性は、閉経後、何らかの別の方法で身体から病原性物質を排出しなければならなかった。

▼11 Galen (1821-33; 1965), xi, p. 275.

▼12 Aretaeus (1856), pp. 363-4. Copeman (1964), p. 35参照。

▼13 Aretaeus (1856), p. 362; Copeman (1964), p. 43.

▼14 ケルススについては、*Of Medicine in Eight Books* (1756), p. 227参照。

▼15 Jackson (1988), p. 179.

▼16 Phillips (1973), p. 35.

▼17 ルルスについては、Abou-Aly (1992), ch. iii参照。痛風についてはじめて執筆したイギリス人

Gilbertus Anglicusは、ルフスの文献を自由に引用した——Getz, ed. (1991)。

▼18 Paul of Aegina (1834), p. 354および (1844), i, p. 657参照。引用は、Book III, ch. lxxviiiから。パウロスの記述によれば、「したがって、体液が足の関節にのみ固着した場合は、podagraと呼ばれる。しかし、原因が体のすべての関節に拡散した場合には、一般に関節炎と呼ぶ」——p. 41。

▼19 同上。情念の重要性は、当然ながら、ずっとのちにウィリアム・カドガンによって再び主張された。本書第七章を参照。

▼20 Rodnan (1965)。

▼21 Copeman (1964), pp. 24-5. 17世紀には、この反対刺激法が東洋からヨーロッパに再び紹介され、綿が用いられた。

▼22 ケルススの懸念については、*Of Medicine in Eight Books* (1756), p. 227参照。

▼23 ガレノスの定期的な大量瀉血の正当化については、Brain (1986) 参照。

▼24 Brain (1986); Ferez (1987)。

▼25 Aretaeus (1856), pp. 492-3; Copeman (1964), p. 43; Rodnan and Benedek (1963); Schnitker (1936)。

▼26 Alexander (1933-7); Wallace (1973), pp. 130-5; Hartung (1954), pp. 190-200. アイギナのパウロスとアエティウス (502-75) がコルチカムを痛風特効薬として使用したという示唆がある。

▼27 Gunther, ed. (1934). その後については、Riddle (1985), p. 44f参照。*Colchicum autumnale*は、北アフリカ、ヨーロッパ中南部の牧草地に生息し、イギリス南部やアイルランドに豊富だ。乾燥させた球根と種子は、強烈な利尿、便秘、嘔吐を引き起こす。動物が死ぬこともある。

ベダニウス・ディオスコリデス (活躍期 西暦50年) は、小アジアのキリキアのアナザルプスの出身で、アレキサンドリアでローマ皇帝ネロ軍の教育を受けたとされる。西暦70年ころに纏められた彼の *materia medica* は、15世紀にわたりこのテーマの権威書だった。

▼28 イブン・マーサウェイフ (Ibn Māsawaihあるいは Mesuè, 954ころ-1015) は、ディオスコリデスの先例に続き、コロシントを痛風の主要な治療薬とした。

▼29 コルチカムには、長いあいだヘイグ Haig (1901) をはじめとする中傷者がいた。

▼30 セネカについては、*Epistulae Marles* (1917-28), letter xcv, lines 16-8, pp. 66-9参照。神話における痛風については、Rodnan (1961) 参照。痛風を患ったとされるギリシアの英雄と神々は、Stukeley (1734), p. 53が列挙している。その中には、プリアモス、アキレス、オイディプス、プロテシラオス、ウリッセス、ベレロフォン、プレイステネスが含まれた。ステュークリーは、ルキアノスからリストを入手したに違いない。

▼31 Rodnan (1965), p. 599に引用された Lucian (1749), p. 229。

▼32 Lucian (1967), *Gout*. 隠喩および視覚の伝統における彼の重要性については、本書第一章と第二章で述べる。

▼33 同書, pp. 337-41. ルキアノスの詩は、Sennert (1632); Swieten (1744-73); Sydenham (1683) などのちの著者らに引用された。

▼34 *Lucian* (1967), p. 343.

▼35 同書, p. 347。

▼36 同書, p. 353。

▼37 同書, p. 353。

▼38 同書, p. 359。

▼39 中世の背景については、Cameron (1993); Cockayne (1864); Talbot (1967); Hunt (1990) ——Huntが提示した13世紀治療薬の記述には、痛風に関する言及が含まれる; 同著者 (1992); Getz, ed. (1991) 参照。体の隠喩 (植物、要塞などとして) は、Pouchelle (1990) が追究している。

▼40 Gruner (1938), p. 479 (paragraphs 952 and 953)。

▼41 Hartung (1957), p. 201.

- ▼42 Copeman (1964), p. 2; Lascaratos (1995).
- ▼43 *Oxford English Dictionary* (1989) の vi, p. 707 (gout) および xi, p. 1112 (podagra) を参照。「彼の足には、ポタグラと呼ばれる非常に熱い痛風の症状が見られ、やがて激痛を伴う腫物が膝にできた」。バルトロメウス・アングリクスの著作からの翻訳において、1398年に英語で「リウマチの Rheumatic」がはじめて記録された。「滴 Gutta」も英語風に変化した用語だ。「Gutta」は、薬学では(薬などの)滴を意味する一般的な語でもある。
- ▼44 Rodnan (1968)。「サン・ジェルヴェ」病が、あらゆるリウマチ疾患の通称となった。ローマ時代から、サン・ジェルヴェ・レ・バンは、フランス南東部のボン・ナン河畔の人気の温泉地だ。
- ▼45 Saye (1934).
- ▼46 Getz, ed. (1991), p. 250——‘Stones ben-y-gendrid in a man-is reines and also in the bladder’。「腎臓ならびに膀胱に結石が生じる」

第三章 プロテウスのハゲワシ——ルネサンス期における痛風の形成

- ▼1 Siraishi (1990); Katherine Park (1985); Slack (1979); Roy Porter, ed. (1992) 参照。印刷については、Eisenstein (1979) 参照。
- ▼2 Copeman and Winder (1969). Copeman と Winder が本文の翻訳を転載し、本書は、それから独自の解説を引き出した。パークウェアは、「大部分の人々が、痛風 [podagra] は治らないと信じている」と述べ、「日々の経験から、そう信じるようになった」のだと付け足している (A2f)。これは、‘podagra’がよく知られた病気であったことを暗示している。
- ▼3 英語の建築用語で、‘gutta’は、ドリス式建築の3つの平行な縦の溝のある石、トリグリフの下部にある小さな露玉を意味する。
- ▼4 Burgawer, A2v; Copeman and Winder (1969), p. 289.
- ▼5 Copeman and Winder (1969), p. 289 (これらのやや奇妙な綴りはすべて、翻訳において見られる); Benedek (1987), p. 186. 非自然的な事柄については、Niebyl (1971); Rather (1968) 参照。
- ▼6 アル・ラーズィー (Rhazesまたはal-Razi, 850ころ-932) は、ペルシア生まれ。彼の20巻に及ぶ傑作*Al-Hawi*あるいは*El Hawi*には、ギリシア、ローマ帝国、インド、シリア、ペルシアの医学知識が含まれ、それを彼の経験が補っている。
- ▼7 パレの作品は、Thomas Johnson (1634), Book xviiiに翻訳の形で引用されている。Malgaigne (1965) 参照。理髪外科医の見習いをしたのち、アンブロワーズ・パレ (1510-90) は、パリで修業を終えた。戦傷の治療で最も知られる。
- ▼8 Paré (1634), p. 698. Copeman (1964), p. 53ffにおける議論を参照。
- ▼9 Paré (1634), p. 697.
- ▼10 同上。
- ▼11 同書, p. 707。
- ▼12 同書, p. 710。
- ▼13 スイス生まれのパラケルスス (Philippus Aureolus Theophrastus Bombastus von Hohenheim, 1493-1541) は、父の下で医学の修業を積んだ。各地を遍歴後、市医としてバーゼルに戻る。処方 of 単純化を唱道し、化学に関する経験から重金属を使用するようになった。彼の教えがあまりに型破りだと思われ、バーゼルを去った。痛風についての彼の著作については、“Das Buch von den Tartarischen Krankheiten”, in Paracelsus (1589-90) 参照。彼の作品は、Sudhoff, ed. (1922-33) と Bernard Aschner, ed. (1975-7) で見つかるかもしれない。学識については、Pagel (1958a); Debus (1977); 同著者 (1991); 同著者 (1965) 参照。
- ▼14 Pagel (1958a), p. 135参照。
- ▼15 同書, p. 139。

- ▼16 同書、p. 140。
- ▼17 同上。
- ▼18 同書、p. 157。
- ▼19 人体内での石の形成は、生命を持つ自然の発現として広くみなされていた。Rudwick (1976), ch. I; Pagel (1984), p. 33 参照。
- ▼20 Rodnan (1965), p. 601 と Pagel (1984), pp. 33-4 で引用・翻訳。Aschner, ed. (1975-7), ii, pp. 6-27 で見つかるかもしれない、Paracelsus (1574), pp. 28-37 を参照。パラケルススの考え方を、現代の化学用語に翻訳することはできない。ルネサンス期の自然哲学の中でのパラケルススの著述の位置付けは、Goodrick-Clarke (1990); 同著者の翻訳 (1990b); Paracelsus (1941); 同著者 (1951) が提供。
- ▼21 テオドール・ド・マイエルヌ (Théodore Turquet de Mayerne, 1573-1655) は、スイスのジュネーヴに生まれ、ハイデルベルク大学で学んだのち、モンペリエ大学で医学を学び、1597年に卒業した。パリに移ってから解剖学と薬学を教え、王の医師に任命された。化学薬剤を使用したため、パリ大学医学部の非難を招いた。1606年に渡英し、ジェームズ一世の妃デンマークのアン¹の医師に任命され、1611年以降、歴代4人の国王の医師を務めた。1618年に、国王に献上するため *the Pharmacopoea Londinensis* (1618) を執筆した。1624年に、ナイト爵を授かる。
- ▼22 Turquet de Mayerne (1676), pp. 14-5. Debus (1965), pp. 150-6 参照。ただし同書には、残念ながら痛風の記述はない。パラケルスス派については、同著者 (1977); 同著者 (1991); Webster (1975) を参照。
- ▼23 Boorde (1562a); 同著者 (1587)。Copeman (1964), pp. 50-1 参照。初期近代のイギリス医学については、同著者 (1960); Nagy (1988); Beier (1987) 参照。
- ▼24 Boorde (1587)。アンドリュー・ボード (Andrew Boorde, 1490-1549) は、カルトゥジオ修道会に入った。だが、1528年に修道会を脱会し、ヨーロッパ大陸で医学を学んだ。1542年にイギリスに帰国し、ウィンチェスターで開業医となる。主な作品は、*Dyetary of Health* (1562)、*Breviary of Healthe for all Manner of Syckenesses and Diseases* (1587)、そして旅行案内書の *The First Boke of the Introduction of Knowledge* (1562)。
- ▼25 Boorde (1587)。解毒剤は、多数の薬品と混ぜ合わせて作った複雑なアヘン製剤テリアカである——Watson (1966) 参照。スカモニアは、シリアのヒルガオ (*Convulvulus scammonia*) で、ヤラッパに幾分類似する強い下剤。
- ▼26 キナ皮 (キニーネの基である cinchona, Peruvian bark) については、Jarcho (1993) 参照。セイヨウトネリコの樹皮と種子 (*Fraxinus excelsior*) は収斂剤で、種子は緩下剤。
- ▼27 しかし、ボードと同時代のトマス・エリオット卿 (Sir Thomas Elyot) は、その点に関して、「ダイコンの根は……放屁と放尿の原因となり……痛風または関節痛の持病を持つ者にはよくない」という旨の警鐘を鳴らしている——Elyot (1937), p. 28。エリオットは、「流下 catarrh」の同義語として 'reumes' を記している。
- ▼28 Graham and Graham (1955)。
- ▼29 Barrough (1590), p. 210。初版は1583年。第3版1596年、第4版1610年、第5版1617年、第6版1624年、第7版1634年、第8版1639年。
- ▼30 同上。
- ▼31 Cogan (1584), タイトルページ (ラテン語)。ヒポクラテスを参照していることから、Cogan は、非自然的な事柄を強調しているのがわかる。Niebyl (1971); Rather (1968) 参照。トマス・コガン (Thomas Cogan, 1545?-1607) はオックスフォード大学で学び、1563年にオリオル・カレッジのフェローとなった。作品は、*The Well of Wisedome. . .* (1577)、*The Haven of Health Made for the Comfort of Students* (1584) など。
- ▼32 Cogan (1584), Epistle Dectatorie (冒頭部分)。
- ▼33 同書、p. 161。チーズとベーコンの湿布の人気の人気は長く続いた。

- ▼34 同書、the Epistle Dedicatorieのp. 4の対面頁。
- ▼35 治療の概説については、Ackerknecht (1973) と Urdang (1944) 参照。薬草療法については、Arber (1938); Foust (1992); B. Griggs (1981) 参照。民間療法については、W. G. Black (1883); Chamberlain (1981); Loux (1978); 同著者 (1979); 同著者 (1988); 同著者 (1993) 参照。20世紀のアメリカでの痛風の民間療法には、アンゼリカ、カバノキの葉（血液浄化剤として）、モチノキ、イチゴ、サクラソウの根、その他のさまざまな苦味薬が含まれた——Crellin and Philpott (1991); Barton and Castle (1877), p. 108f参照。
- ▼36 Nash (160), p. E.
- ▼37 Gilmn (1989); Andreski (1990); Quéstel (1990).
- ▼38 Joubert (1989), p. 260.
- ▼39 それでも、痛風を患っている者に比べたら
私は、まだまだ
痛風患者は、死という確実な救済者に癒されるよりも、
永久にうめき声をあげていたのだから

シェイクスピアの*Cymbeline* (V. iv. 4) において、ポステュマスは宣言する。*Henry IV, Part 2* (I. ii. 273) で、フォルスタッフは、「この痛風という性病め！ いや、性病という痛風め！ 二つのどちらかが、俺の足の親指に悪さをしやがる」と豪語する。Kail (1986), p. 232. Hoeniger (1992) も参照。

- ▼40 *Henry IV, Part 2* (I. ii. 256).
- ▼41 これ以下は、Copeman (1964), pp. 54-5より。Applboom and Bennett (1986) も参照。
- ▼42 53歳で死に瀕していた彼の跡を継いだのは、若き息子の大ロレンツォ (Lorenzo the Magnificent, 1449-92) だった。彼も一族に続く痛風を受け継いでいたが、父や祖父ほど病状は重くなく、イタリアのマエケナス 〔古代ローマの政治家。富豪で、文人のパトロンとして名高い〕 となった。痛風とメディチ家については、Schevil (1950), ch. vii参照。
- ▼43 カール5世については、Alvarez (1975) 参照。
- ▼44 Estes (1990), pp. 46, 92参照。ユソウボクについては、Hutten (1536) 参照。
- ▼45 Bynum and Porter, eds. (1993) 中のWeatherall, 'Drug Therapies'。
- ▼46 以下の文章は、Copeman (1957) より。
- ▼47 同上。古代医学では、特に秘伝の医術を受け継ぐ達人のあいだでは、無気味で不思議、しばしばとても不快な治療が標準的だった。難解な背景については、Eamon (1994) 参照。ヌニェス (Nones, Nunez) については、ほとんど情報がない。彼は、1554年に王立内科医協会の会員となり、1562年と1563年には検閲官を務めた。
- ▼48 同上。Copemanは、Lansdowne Manuscripts (British Library), no. 69, art 60を引用している。
- ▼49 Alan G. R. Smith, ed. (1990) と Haynes (1989) も参照。マイエルヌの見解については、Turquet de Mayerne (1676) 参照。
- ▼50 この神聖な家系については、Benedek and Rodnan (1963b) 参照。
- ▼51 同著者、(1970)。
- ▼52 Hawes (1634), p. 31. Eamon (1981) 参照。階級にまつわる同じ指摘を牧師のヘンリー・スミス (Henry Smith) もしている。自分たちには、赤ん坊を母乳で育てる肉体的能力がないという上流階級の夫人たちの反対を撥ねつけ、スミスは、「だが、この永遠の枯渇を起こしているのは、どなたの胸かな？ いかにも、それは痛風のようなもの。乞食には枯渇など起こさない。市民や貴族の女性だけだ」と言い放った——Fildes (1985), p. 101 に引用されたHenry Smith (1598)。
- ▼53 Hawes (1634), p. 31.
- ▼54 La Fontaine (1966). RodnanとBenedekは、「痛風様と蜘蛛」の物語は9世紀に遡るとして

る。1668年のラ・フォンテーヌの話では、地上での安住の地の選択を与えられると、蜘蛛はまず宮殿を選び、痛風様は、医者を避けるためにみすぼらしい小屋を選んだ。その後、二人は場所を交換した。蜘蛛は、邪魔されずに暮らせる農夫の掘立小屋が気に入り、栄養と配慮を切望する痛風様は、

主教の大邸宅に直行して、間借り人となった。

主教は、その後、寝たきりの身、彼女の無力な囚人となった

(Rodnan and Benedek [1970])

▼55 フラカストロの詩 *Syphilis, sive morbus gallicus* (1530) のおかげで、性感染症も擬人化された。この羊飼いの神話の中の Syphilus という名の羊飼いの少年から梅毒という名がとられた。

▼56 そのような信念については、Ficino (1989); Kristeller (1979); Barkan (1975) 参照。死が教える教訓については、Ariès (1981); Geddes (1981) 参照。信心深さと疾病については、Wear (1985b); 同著者 (1987) 参照。

▼57 Benedek and Rodnan (1963a). ペトラルカ (Francesco di Petrarch, 1304-74) は、イタリア・ルネサンス初期の重要人物だった。彼は、フランス、モンペリエ在住の1315年から1319年に人文科学を学んだ。1337年にヴォクリューズに移り住み、そこで最も重要な作品の大半を執筆した。1347年にイタリアのパルマに居を構えて以後、詩人と理想主義的な政治家としての職を遂行した。

▼58 Benedek and Rodnan (1963a) において引用・検討された Petrarch (1975-85), bk vi, letter 3, p. 309。

▼59 Petrarch (1975-85), bk, vi, letter 3, p. 309.

▼60 Petrarch (1991), pp. 198-200, p. 198.

▼61 同書, ch. 84, p. 199.

▼62 同書, p. 200.

▼63 同上。

▼64 礼讃については、Kaiser (1963); Benedek (1962), pp. 236-42 参照。本書第一章でも考察するエラスムス (Desiderius Erasmus, 1466-1536) は、オランダのゴードとデーフェンテルで教育を受けた。1492年に司祭叙階を受けたが、1492年に辞した。晩年はヨーロッパを巡歴し、執筆、研究、教育を行なった。著作は、*In Praise of Folly* (1519)、*Encomium artis medicae* (1518)、*In Novam Testamentum ab eodem denuo recognitum* (1519) など。Mynors and Thomson, eds (1974-9), ii, pp. 110-11, no. 189 参照。

▼65 Erasmus to Servatus Rogerus, 1 April 1506 と Benedek (1983)。

▼66 Allen and Allen, eds (1906-47), vi, pp. 422-4, no. 1759, Erasmus to John Francis, October 1526. エラスムスの書簡が、'Erasmus' *Medica Milieu* (1973) という素晴らしい論文に Krivasy の翻訳として掲載されている。

▼67 Eckert and Imhoff (1971); Krivasy (1973), p. 134. 人文主義者ピルクハイマー (Willibald Pirckheimer, 1470-1530) は、青年時代をドイツのミュンヘンで過ごしたのち、イタリアのパドバでギリシア語を、パビアで法律を学んだ。卒業しないままドイツのニュルンベルクに戻り、生涯そこに留まった。急性痛風を患った。

▼68 Eckert and Imhoff (1971); Benedek (1981).

▼69 Pirckheimer (1617).

▼70 Reicke (1930), p. 56: Pirckheimer to Konrad Adelman.

▼71 Allen and Allen, eds (1906-47), vi, pp. 47-8, no. 1558.

▼72 Benedek (1983), p. 537 において翻訳された Erasmus, Preface to St John Chrysostom.

▼73 同上。

▼74 Cardano (1653). ジェロラモ・カルダーノ (Jerome Cardano, 1501-76) は、パドバで医学を学

び、1543年にパビアで、1562年にボローニャで医学を教えた。化学的思想と代数学への貢献で知られる。リウマチ熱に関する初期の正確な描写を提供し、痛風と明白に区別したと信じられている。

▼75 Benedek (1969). 以下の引用は、Benedekの翻訳からの引用である。同著者 (1987), p. 186も参照。

▼76 Benedek (1969), p. 126.

▼77 同書、pp. 126-7。

▼78 同書、p. 129。

▼79 同書、pp. 129-30。

▼80 同書、p130。

▼81 Benedek and Rodnan (1963b). ゴットフリート・ロゲ (Gottfried Rogg of Augsburg, 1669-1742) は、1704年から1732年に活躍した製図者、出版者、彫版師。彼の挿絵の大半は、町の光景である。*Podagra* は、病気に関する彼の唯一の作品と思われる。Googe (1990) も参照。

▼82 Benedek and Rodnan (1963b), pp. 350-2.

▼83 同書、p. 352。

第四章 科学とシデナム

▼1 最近の歴史記述については、Roy Porter (1986); 'Introduction' to Porter and Teich, eds. (1992), pp. 1-10参照。急進的批評については、Cunningham (1988) 参照。

▼2 入門書としては、French (1988) 参照。

▼3 ハーヴィーについては、Pagel (1958b); 同著者 (1976); Keele (1965); および最近のFrench (1994) 参照。ウィリアム・ハーヴィー (William Harvey, 1578-1637) は、ケンブリッジ大学とパドバ大学で医学を学び、ジェームズ一世とチャールズ一世の医師を務めた。心臓と循環についての彼の見解は、*De motu cordis* (1628) で公表された。

▼4 Frank (1980); Webster (1975).

▼5 レーウェンフックについては、本書第五章を参照。

▼6 マルチェロ・マルピーギ (Marcello Malpighi, 1628-94) は、ボローニャ大学で医学を学び、1653年に卒業。ピサ、メッシーナ、そして1666年以降はボローニャの各大学で医学を教えた。ジョヴァンニ・ボレリ (Giovanni Alphonso Borelli, 1608-79) は、ローマ大学で数学を学び、30代前半で、メッシーナ大学の教授となる。天文学や、呼吸・消化・尿分泌などの生理現象を含むさまざまなテーマについて執筆した。

▼7 ジョルジョ・バリーヴィ (Giorgio Baglivi, 1668-1707) は、ナポリ大学で医学を学んだ後、イタリア各地の病院や学校を広範に巡歴し、1692年に、ローマ教皇インノケンティウス12世が、彼のためにローマのサピエンツァ大学での地位を確保した。その4年後、*De Praxi Medica* (1696) を出版し、国際的な認知を得る。

▼8 Pagel (1982). ヤン・パプティスタ・ファン・ヘルモント (Johannes [Joan] Baptiste van Helmont, 1579ころ-1644) は、ベルギーのルーヴァン大学で学び、ブリュッセル近郊のフィルフォルデで医者を開業した。のちに化学に転向。彼の原理は、*Ortus medicinae* (1648) に纏められた。

▼9 Pagel (1982), p. 35.

▼10 フランツ・デ・レ・ボーエ (Franciscus de le Boë Sylvius, 1614-72) は、オランダのライデン大学で医学を学び、1637年、スイスのバーゼル大学で学位を取得。主要作品*Praxeos medicae idea nova*の第一巻が、1671年に刊行された。

▼11 French and Wear, eds. (1989).

▼12 Wear (1989) の説得力のある議論を参照。

▼13 Slack (1979); Beier (1987).

- ▼14 Culpeper (1652); Archer (1671), pp. 132-4. 「内科および外科の開業医」ラルフ・ウィリアムズが、薬草、根、樹皮など簡単に入手できる成分に基づくペスト、三日熱、痛風の治療法を記述した。*Physical Rarities*, 2nd edn. (1652), p. 105fにおいて、彼は、痛風のために、古いチーズをベーコンスープに浸し、局所使用する膏薬を作るよう推奨した——Nagy (1988), p. 64.
- ▼15 Watson (1966), p. 133参照。ウィリアム・サモン (William Salmon, 1644-1713) は、主に *Synopsis Medicinae* (1671)、*Sepladium. The Compleat English Physician* (1693)、*Botanologia. The English Herbal* (1710) の著者。彼の *The Country Physician, or A Choice Collection of Physick Fitted for Vulgar Use* (1703) が、pp. 174, 177, 185, 204, 207, 222-3, 249, 303-6, 327-9で、痛風治療を考察している。Wear (1992) も参照。
- ▼16 'Philiatros' (1655). Nagy (1988), p. 44参照。
- ▼17 Nagy (1988), p. 47.
- ▼18 同書、p. 47。
- ▼19 同上。
- ▼20 同書、p. 68。
- ▼21 Poynter and Bishop, eds (1956), x, xxv. ジョン・シムコッツ (John Symcotts, 1592ころ-1662) は、ケンブリッジ大学で教育を受け、内科医としてハンティンドンに落ち着く。長年にわたり、オリバー・クロムウェルとその家族の主治医を務めた。ワイン商人の助言を、この内科医がどう捉えたかについての記録はない。Nagy (1988), pp. 45-7も参照。
- ▼22 ベーコンと医学については、Boss (1978) 参照。
- ▼23 Hart (1984). 他にもさまざまな著名人も患者だった。ジェームズ一世が痛風を患っていたと議論されてきた。ミルトンも患者だった。ほぼ同年代の伝記において、ジョン・トーランドは、「他の誰よりも [ミルトンを] 苦しめた病は、痛風だった」と述べている——Darbishire, ed. (1932), p. 193; Block (1954)。17世紀のある一般人の関節炎患者に関する興味深い記述が、Gillow and Hewitson, eds. (1873) にある。サミュエル・ピープスの日記には、痛風に関する言及はほとんどないが、ウィリアム・ペン卿の病状については、たいして詳しくないが5、6回述べている。たとえば、「それゆえ、痛風の激痛に苦しむW・ペンと共に、四頭立ての馬車で、ホルボーンの家近くを回る。彼は、ぬかるみを通るたびに痛がった」——Latham and Matthews, eds. (1970-83), ix (1668-9), p. 246.
- ▼24 Hart (1984), p. 126.
- ▼25 同上。
- ▼26 同上。
- ▼27 Aubrey (1972), p. 131.
- ▼28 Copeman (1964), p. 76に引用。このようなエピソードを参照し、ウィリアム・ファルコナーは、「しかし、このような事実は、役に立つ事柄というよりも、興味深い事柄だ」と述べた——Falconer (1788), p. 48。ボイルの見解については、Barbara Beigun Kaplan (1994) 参照。これより少し前の、痛風に関して見解を述べた作家は、ドイツのライプツィヒ、イエナ、フランクフルトで医学を学んだドイツ人のダニエル・ゼンネルト (Daniel Sennert, 1572-1637) だ。彼の *De arthritide tractatus* (1632) は、*A Treatise of the Gout* (1660) として翻訳されている。ゼンネルトは、痛風を「不治の病 *opprobrium medicorum*」と呼んだ多くの医者の中の一人だった。
- ▼29 ベンジャミン・ウェルズ (Benjamin Welles) は、オール・ソウルズ・カレッジのフェローとなり、1650年に医師としての開業を許された。グリニッジで開業したが、気難しい性格のため患者はほとんどおらず、1678年に貧困の中で死亡。*A Treatise on the Gout or Joint Evil* (1669) を著した。
- ▼30 Dewhurst (1963), p. 10. ジョン・ロック (John Locke, 1632-1704) は、トマス・シデナムと親しかった。オックスフォード大学で教育を受け、関心があったのは主として哲学だったが、医師と

しても開業していた。

▼31 同書、p. 128。

▼32 同書、p. 130。

▼33 同書、p. 149。

▼34 同書、p. 184。Watson (1966) 参照。

▼35 Dewhurst (1963), p. 186.

▼36 同書、p. 189。彼は、国璽尚書の職に就いていた理事の一人アンソニー・ケクと思しき 'Mr. Kek' なる人物の権限で、これを入手した。

▼37 同書、p. 190。ここでの情報提供者は、未確認の 'Mr. John Amery' という人物だった。

▼38 同書、p. 206。樹皮については、Jarcho (1993) 参照。

▼39 Dewhurst (1963), p. 254——「フェルステンベルク伯の場合、鶏卵一個大の沈着物を除去した」。

▼40 同書、p. 255。

▼41 同書、p. 213。

▼42 同書、p. 273。

▼43 同書、p. 274。

▼44 カルダーノについては、本書第三章を参照。

▼45 Benedek and Rodnan (1982) において強調されているとおり。

▼46 彼は、「2、3度以上リウマチを患った」者は、「健康に注意しないと、慢性関節炎を免れる可能性はほとんどない」と警告した——Baillou (1642); 同著者 (1643)。ギヨーム・ド・バイユー (Guillaume de Baillou, 1538-1616) はパリ大学で学び、名医・伝染病の研究者になった。

▼47 彼の生涯については、Cunningham (1989); Dewhurst, ed. (1966) 参照。トマス・シデナム (Thomas Sydenham, 1624-89) はオックスフォード大学で学び、1648年に医学の学位を取得し、その後、議会軍に仕えた。1655年以降は、ロンドンで開業。疾病の自然発達への科学的取り組み方と、治療への保守的な姿勢から、「イギリスのヒポクラテス」と呼ばれるようになった。マラリア治療におけるキニーネ使用の先駆者であり、鎮痛剤としてアヘンチンキをはじめて使用した。 *Tractatus de podagra* (1683) の他に、 *Methodus curandi febres* (1666) などを著した。

▼48 Dewhurst, ed. (1966), p. 49; Cunningham (1989).

▼49 Sydenham, *Tractatus de podagra et hydrope* (1683); *The Works of Thomas Sydenham* (1850) において *A Treatise on Gout, and Dropsy* として翻訳された同作品。便利な現代の (簡約) 版で、大まかに引用されている——Comrie, ed. (1922), p. 58。

▼50 Comrie, ed. (1922), p. 70.

▼51 同書、p. 61。

▼52 同書、pp. 61-2。

▼53 同書、p. 58。

▼54 同書、p. 59。

▼55 シデナムは、慢性疾患について広範に執筆するつもりだったが、「研究と仕事のし過ぎは自分にとって有害である」と述べている——同書、p. 86。

▼56 同書、p. 75。

▼57 従来のヒポクラテスの流れに沿って、彼は、痛風を男性の病気とみなした。

▼58 Comrie, ed. (1922), p. 58.

▼59 同書、pp. 75-6。

▼60 同書、pp. 76-7。

▼61 消化されなかった体液から病気が生じるという考え方が、体液説の中心だった。基本概念を King (1970), pp. 131-2 が説明している。

- ▼62 アヘンについては、Kramer (1979); Paulshock (1983) を参照。同時代の作品は、J. Joes (1701) 参照。シデナムによれば、急性発作の治療は、臥床安静と、「疫病水と呼ばれる水薬の中に垂らしたアヘンチンキ 20 滴の早急な投与」が必要となる。「……すべての薬草の中でキナ皮 (*Peruvian bark*) が最も効き、朝晩数粒飲むだけで血液を強化・活性化する」。樹皮については、Jarcho (1993), p. 46 参照。
- ▼63 Comrie, ed. (1922), pp. 93-4. シデナムは、急性発作への干渉は最小限に抑えるよう提唱した。「この痛みは、自然そのものが行なう不快な治療法」と考えていたからだ。
- ▼64 同書、p. 95。
- ▼65 同書、pp. 78-9。
- ▼66 Sydenham (1850), ii, p. 161.
- ▼67 Comrie, ed. (1922), pp. 95-6.
- ▼68 同書、p. 78。
- ▼69 同書、p. 67。
- ▼70 同上。
- ▼71 同書、pp. 94-5。また、シデナムは、外用薬をほとんど信用していなかった。もぐさについては述べているが、そのような対症療法にはあまり好印象を抱いていなかった。もぐさは、Sir William Temple (1681) が推奨した。Rosen (1970) 参照。
- ▼72 Comrie, ed. (1922), p. 66.
- ▼73 同書、p. 72。
- ▼74 同書、pp. 72-3。
- ▼75 同書、p. 79。
- ▼76 同書、pp. 79-80。
- ▼77 同書、pp. 86-7。
- ▼78 同書、p. 77。
- ▼79 同上。
- ▼80 同書、pp. 85-6。
- ▼81 Copeman (1964), p. 62. Copeman の判断には、もちろん時代錯誤がある。
- ▼82 Comrie, ed. (1922), p. 72. 他の人々と同じように、彼も痛風と結石の関係を認識していた。
- ▼83 同書、p. 65。シデナムは、おそらくゼンネルトの前例に倣ったのだろうが、治療薬をシデナムが出しおしめしていると思った読者に向けて、痛風に関する小論の最後に、面白半分に、ルキアノスの *Tragopodagra* からのリストを載せた。演説の締めくくりに、〈足痛風〉は、彼女に対してむだに出された 50 種類ほどの効きもしない治療薬を列挙した (本書第二章を参照)。
- ▼84 Hull (1899), ii, p. 360.
- ▼85 Halsband (1965), pp. 3, 171-2, letter of 5 September 1758 to Sir James Steuart.

第五章 18 世紀の医学論争

- ▼1 Desault (1738). 1725 年版と 1728 年版は、医学史のドイツ語参考文献一覧で引用されているが、1738 年以前のものは見つけていない。ドーヴァーについては、Strong (1955) 参照。
- ▼2 French and Wear, eds (1989); 同著者 (1970); 同著者 (1978); Theodore Brown (1987) 参照。
- ▼3 Digby (1994). 患者と医者対話については、Dorothy Porter and Roy Porter (1989) と McKee (1994) を参照。
- ▼4 Flannagan (1981); Block (1954).
- ▼5 診断の仕方については、Shorter (1992) 参照。
- ▼6 McKendrick, Brewer and Plumb (1982); Brewer and Porter, eds (1993).

- ▼7 Stokes, ed. (1931), p. 269. 民間伝承については、Bywaters (1962); Wedeen (1981) 参照。
- ▼8 この問題は、本書第八章でも検討。鉛の添加については、Wedeen (1984a) 参照。
- ▼9 Thomas Cadwalader (1745).
- ▼10 Baker (1785).
- ▼11 Hardy (1778; 1780).
- ▼12 同著者 (1780) のタイトルページ。
- ▼13 本章では、その一例しか検討できない。それらを参照したいと望む研究者向けに、以下を挙げておく (アルファベット順); [Anon.] (1731); Atkins (1694); J. Cadwallader (1721); Caverhill (1769); Thomas Dawson (1774, 1775); Dolaeus (1732); J. Douglas (1741); Drake (1758); 同著者 (1771); d'Escherny (1760); Flower (1766); Gardiner (1792); Garlick (1729); Groenevelt (1691); Havers (1691); Hawkins (1826), Haygarth (1805), D. Ingram (1743), Richard Ingra (1767), James (1745), J. Johnson (1818); Kinglake (1804); Lee (1782); 同著者 (1785); Lobb (1739); Mann (1784); Marshall (1770); Mooney (1757); Nelson (1727); 同著者 (1728); Robinson (1753); Rowley (1792); Scot (1780); Spilsbury (1787; 1778); T. Thompson (1740); John Williams (1774); Wood (1775)。この時代の足痛風についての標準的な議論については、*Encyclopaedia Britannica* (1768, 1797) の 'Medicine', p. 211 の項目も参照。
- ▼14 18世紀に人気のあった医学書の一覧と分析については、Virginia S. Smith (1985) 参照。
- ▼15 偽医者については、Doherty (1992); Roy Porter (1989a) 参照。また、本書第八章も参照。
- ▼16 鉱泉については、Hembry (1990) 参照。本書第八章も参照。バースでの痛風の話題についてのおおよその知識は、Wagner, ed (1989) と Mitchell and Penrose, eds. (1983) 参照。1766年にバースを訪れたジョン・ペンローズ師 (the Revd John Penrose) は、自分の「痛風まがい」を本当の痛風に変えたいと切に望んでいた (p. 55)。「鉱泉という安い治療が、200マイル以内のところにあるのに、家で文句を言いながら寝ている痛風患者は嫌いだ」 (p. 51)。
- ▼17 「18世紀」は、ここでは王政復古期から摂政時代に至る「長い18世紀」の意味で使用する。イギリスについては、この表現は、「ジョージ王朝期」あるいは「ハノーバー王朝期」と同義で使用。
- ▼18 Dobrée, ed. (1932), vi, p. 2685) : letter 2391.
- ▼19 Beresford, ed. (1978-81), ii, p. 179. 同時代人の多くと同じように、ウッドフォードも、軽い病をすべて痛風のせいにする傾向があった——「一日中、とても具合が悪かった……痛風体液が何かしら体質に潜んでいるのだと思う」: iii, p. 209; 25 August 1790. 痛風患者の考え方については、Roy Porter and Dorothy Porter (1988), ch. 8参照。疾病の転移理論については、Malcolm Nicolson (1988) 参照。
- ▼20 Olby (1993).
- ▼21 Bynum and Nutton, eds. (1981) 参照。
- ▼22 この考え方について論じているのが、John Martenの*A Treatise of All the Symptoms of the Venereal Disease, in both Sexes* (1708) だ——Roy Porter (1996) 参照。
- ▼23 Carpenter (1993); Estes (1993).
- ▼24 Gideon Harvey (1672b), pp. 4, 22; 同著者 (1675). 壊血病については、Carpenter (1986) 参照。特に偽医者は、これを重視した——Roy Porter (1989a), ch. 5参照。本書を通して使用しているように、「偽医者」は非正規の医師であり、必ずしも詐欺師ではない。
- ▼25 Benjamin Marten (1720), p. 10; L. Stevenson (1965). 「癆」あるいはその同義語の「肺結核」が、唯一の、固定した、特定の「存在論的な」疾病を意味したと想定しないことが重要だ。
- ▼26 Gideon Harvey (1675), II——煙と汚染物質が、「腐敗した黄胆汁」を生んだ: p. 33.
- ▼27 Cummins (1949), p. 16.
- ▼28 Morton (1694). Flick (1925), pp. 99, 155; Trail (1970), pp. 166-74; Keers (1982) 参照。
- ▼29 Benjamin Marten (1720), pp. 22, 36.

- ▼30 Christopher Bennet (1720), p. 19; Estes (1993).
- ▼31 Christopher Bennet (1720), pp. 33-5.
- ▼32 Flick (1925), p. 134参照。
- ▼33 以下のページは、Vandereycken and Deth (1994), p. 118fにおける素晴らしい議論に依拠する。「消耗性」については、Roy Porter (1993c); David Trotter (1988) 参照。
- ▼34 Celsus (1756).
- ▼35 Cheshire (1723), pp. 4-5.
- ▼36 患者だったもう一人の医師は、チャールズ・ダーウィンの祖父エラズマスだ。King-Hele (1977), p. 132参照。
- ▼37 Cheshire (1747), iv. 彼は、他のどこかで「私の苦い痛風薬のカップは、同年代の男のカップの直径と同じくらいだ」と認めている。同書、p. xiv.
- ▼38 Andree (1778), v, i.
- ▼39 強引な治療法については、Colbatch (1700) 参照。
- ▼40 Sydenham (1850), ii, p. 161. 本書第四章を参照。
- ▼41 Timotheus Bennet (1734), p. 34.
- ▼42 Ferdinando Warner (1768).
- ▼43 Timotheus Bennet (1734), p. 34.
- ▼44 Buzaglo (1778), p. 17.
- ▼45 同書、p. 4。
- ▼46 同書、pp. 4-5。
- ▼47 同書、p. 17。
- ▼48 同書、p. 18。
- ▼49 「幸いな誤ち」というキリスト教の考え方に、明らかな類似点がある。
- ▼50 これらの新たな医学哲学については、前述の註2を参照。
- ▼51 McCarty (1970); Dobell (1960). レーウェンフックは、結晶の化学特性については認識していなかった。1772年にシェーレが尿路結石の成分として記述するまで、「尿酸」は知られていなかった。
- ▼52 McCarty (1970).
- ▼53 同書。
- ▼54 同書。
- ▼55 同書。
- ▼56 同書。Leeuwenhoek (1685) 参照。
- ▼57 ジョージ・チェーン (George Cheyne, 1761-1743) は、エディンバラ大学で学び、当初は医学よりも数学と自然哲学を好んだ。著しい肥満と戦い、彼の *The English Malady* (1733) は、富者の生活様式を批判した。
- ▼58 アーチボルド・ピトケアン (Archbald Pitcairne, 1652-1713) については、Guerrini (1986; 1987) 参照。
- ▼59 Guerrini (1985), pp. 222-45; Shuttleton (1992) 参照。彼の不安と病的恐怖については、Rousseau (1988) 参照。Cheyne (1722; 1734; 1724; 1733; 1740; 1742; 1743) も参照。
- ▼60 Cheyne (1733)。復刻版 (1990) へのRoy PorterによるIntroductionを参照。背景については、Rousseau (1976; 1980; 1991) 参照。
- ▼61 Cheyne (1734; 1st edn. 1724).
- ▼62 同著者 (1720)。第2版が、*An Essay of the True Nature and Due Method of Treating the Gout* (1720) というタイトルで同年に出た。1721年、1722年、1723年、1724年、1725年、1737年、1738年、1753年に、同じタイトルで版を重ねた。
- ▼63 同著者 (1743), p. 17。これは、もちろん著者の戯言かもしれない。

- ▼64 同著者 (1720), p. 78。
- ▼65 同著者 (1742), p. 179。
- ▼66 同著者 (1720), p. 7。
- ▼67 同書、p. 7。
- ▼68 同書、p. 10。
- ▼69 同著者 (1743), pp. 40-1。出血性の痔は、痛風と同じように、有害物質を排出する自然の営みと広くみなされていた。生理と比較。
- ▼70 同著者 (1742), p. 177。
- ▼71 同書、pp. 177-80。
- ▼72 同書。Schnitker (1936), pp. 89-120 参照。
- ▼73 本書第7章を参照。
- ▼74 Blackmore (1726), xxxvii. 彼の *A Treatise of the Spleen and Vapours* (1725); Albert Rosenberg (1953); Bishop (158), pp. 118-211 も参照。ブラックモアの立場については、Levine (1991a); Julian Martin (1988) 参照。
- ▼75 Blackmore (1726), p. 35; McMahan (1976)。
- ▼76 Blackmore (1726), p. 48。
- ▼77 同書、p. 118。
- ▼78 同書、pp. 133-4。疾病の擬人化について、瘰癧が、国王が触れると治る病気 King's Evil と呼ばれたことも留意されたい。
- ▼79 Neuburger (1932)。
- ▼80 Blackmore (1726), pp. 65, 36-7。
- ▼81 同書、pp. 61-2。
- ▼82 同書、pp. 14-15。
- ▼83 同書、p. 60。
- ▼84 同書、p. 2。消化については、McKee (1994) 参照。
- ▼85 Blackmore (1726), pp. 52-3。贅沢への批判が特に強かった——Sekora (1977)。
- ▼86 Blackmore (1726), p. 35。
- ▼87 同書、p. 38。
- ▼88 同書、p. 40。
- ▼89 同上。
- ▼90 同上。
- ▼91 同書、p. 74。
- ▼92 同上。
- ▼93 同書、p. 84。アヘンの安全性へのジョージ王朝期の医師の信頼については、Kramer (1979), pp. 377-89; Paulshock (1983), pp. 53-6 参照。
- ▼94 Blackmore (1726), p. 91。
- ▼95 同書、p. 99。
- ▼96 同書、p. 101。
- ▼97 モラル・エコノミーについては、E. P. Thompson (1991) 参照。痛風に関しては、多くの医師が、独自のチェック体制と道徳的拘束力を伴う医療経済の観点から考えたと思うかもしれない。自作の詩を通して表現されたブラックモアのより深い関心については、Marjorie Hope Nicolson (1946), pp. 57-8, 60, 66-7, 103, 104, 114; 同著者 (1959) 参照。ブラックモアの詩には、*Creation, A Philosophical Poem, In Seven Books* (1712) などがある。第5巻は、痛風を想起させる (lines 23-32, 37-8)。

疝痛、痛風、結石を見よ、その残酷な一連の流れは
どんな治療をしても無駄
さまざまな責め道具と長引く苦痛の種を用いて、退けられる
互いに和らげたかと思いきや、代わる代わる悩ませる
そして、暴君のごとく拷問にかけるが、殺しはしない……
だが、素晴らしい大義が登場するかもしれない
結果は現実、そして痛みに偽りはない

▼98 したがって、それは、ルネサンス期の狂気の表現としてとても有名な「愚者の石」に匹敵する。

▼99 ウィリアム・ステュークリー (William Stukeley, 1687-1765) は、1719年にロンドン大学から医学博士号を取得し、1720年に英国王立内科医協会のフェローとなり、1722年にはグールストーン講演を行なった。1726年にグランサムに移り住み、そこで長年開業した。1729年に叙階される。作品は、*Of the Gout* (1734)、*Stonehenge, A Temple Restor'd to the British Druids* (1740) など。晩年の大半をロンドンで過ごし、特に1750年代には、ジョン・ヒル (以下を参照) と親交を結び、二人で協力して痛風に関する独自の理論を打ち立てたのかもしれない。Piggot (1950); David Douglas (1939); Levine (1987; 1991a; 1991b) も参照。

▼100 以下の多くは、優れた論文である Kerin Fraser (1992) に依拠する。

▼101 同書、p. 165。Meade (1974); Zuckerman (1965) 参照。

▼102 Kevin Fraser (1992), p. 166.

▼103 同上。

▼104 同書、p. 167。

▼105 同上。

▼106 同上。

▼107 同書、p. 168。

▼108 同上。

▼109 同書、p. 169。

▼110 同上。

▼111 同書、p. 170。

▼112 Havers (1691).

▼113 Kevin Fraser 1992), p. 169.

▼114 同上。ステュークリーは、ローマ人は贅沢な暮らしにもかかわらず、体に香油を塗る習慣のおかげで痛風を免れていたと信じていた。

▼115 ステュークリーは、自分はロジャーズとは無関係に活動しており、「私の唯一の目的は、一般の利益に尽くすことである」と強調した。Stukeley (1784) 参照。

▼116 同書、p. 3。

▼117 同書、pp. 3-4。

▼118 同書、p. 10。

▼119 同書、pp. 4-5。

▼120 同書、pp. 5-6。

▼121 同書、pp. 6-7。

▼122 同書、pp. 11-13。

▼123 同書、pp. 15-16。問題の作品は、Walter Harris の *Pharmacologia antiempirica* (1683)。

▼124 Stukeley (1734), p. 88.

▼125 同書、p. 41。

- ▼126 同書、p. 29。ミードについては、前述の註93を参照。毒については、Maehle (1995) 参照。レーヴェンフックが王立協会に報告した、顕微鏡を通して見た痛風結節における針状の結晶という描写について、ステュークリーが認識していた兆候はない。
- ▼127 Stukeley (1734), p. 38.
- ▼128 同書、p. 56; Kevin Fraser (1992), p. 176.
- ▼129 Roy Porter (1989a) 参照。
- ▼130 Kevin Fraser (1992), p. 179.
- ▼131 同上。
- ▼132 ウィリアム・ピットの痛風については、本書第八章を参照。
- ▼133 Kevin Fraser (1992), p. 180.
- ▼134 同書、p. 181。
- ▼135 同書、p. 182。
- ▼136 Rousseau (1978a) および (1982)。ジョン・ヒル (John Hill, 1716?-75) は、薬剤師の見習いとなり、その後、ウェストミンスターで自分の店を開いた。劇作家としては失敗したが、薬剤師は続けた。ランカスター・ゲートの自宅で植物を栽培し、それを使っていんちき薬を作った。作品は、*The Useful Family Herbal* (1754)、*The Management of the Gout* (1758) など。
- ▼137 Kevin Fraser (1992), p. 183.
- ▼138 この本は、(‘George Crine’ という) 偽名で *The Management of the Gout, by a Physician From his Own Case. With the Virtues of an English Plant Bardana, Not Regarded in the Present Practice, but Safe and Effectual in Alleviating that Disease, by George Crine* (1758) として始まった。第2～5版が1758年に出版された。1758年に、ヒルの本名で *The Management of the Gout, with the Virtues of Burdock Root, First Us’d in the Author’s Own Case, and Since in Many Other Successful Instances* として第6版が登場。これが後に、*The Management of the Gout in Diet, Exercise and Temper: with the Virtues of BURDOCK Root, Taken in the Manner of Tea: First Us’d in the Year 1760; in the Author’s Own Case; And Since in Many Other Successful Instances, to the Present Time. By J. Hill, M. D. Member of the Imperial Academy*, 8th edn. (1771) となった。Rousseau (1982) および Kevin Fraser (1992), p. 185 を参照。
- ▼139 Hill (1758), p. 1. 1771年版では p. 5。
- ▼140 同書、p. 2 (p. 7, 1771年版)。
- ▼141 同書、p. 3 (p. 8, 1771年版)。
- ▼142 同上。
- ▼143 p. 4 (p. 8, 1771年版)。
- ▼144 p. 6 (p. 9, 1771年版)。
- ▼145 p. 14 (p. 9, 1771年版), p. 25。ヒルは、痛風の遺伝性については慎重だった——「我々は、痛風が何によってもたらされるかはわかる。見かけは丈夫そうでも、痛風が遺伝性であるか否かは、あまり明確ではない」、pp. 5-6 (p. 9, 1771年版)。
- ▼146 同書、pp. 25-6 (p. 15, 1771年版)。
- ▼147 同書、p. 26 (p. 15, 1771年版)。
- ▼148 同書、pp. 43-4 (pp. 49-50, 1771年版)。
- ▼149 Cullen (1808); Doig, Ferguson, Milne and Passmore, eds. (1993); Lawrence (1984); Rosner (1990).
- ▼150 Faber (1930); Bynum (1993); Lindeboom (1968; 1970; 1974).
- ▼151 Cullen (1808)。Boissier de Sauvages (1763; 1808) も参照。
- ▼152 Archives of the Royal Medical Society of Edinburgh の vol. lvii (1807-8) 掲載の論文において、H. Shute はカレンの疾病分類学を強調し (p. 338)、カレンの言葉を引用して、「一般に不規則性

痛風が原因とされている疾病の非常に多くは、痛風とはまったく無関係なものだと思われる。たとえば、心気症、喘息、動悸、眩暈、頭痛、卒中、痙攣、要するに特定の体質において発症するすべての頭部、胸部内臓、腹部内臓の病気がそうである」と指摘した。我々は、Dr. Hannah Augusteinからこの言及を得た。

▼153 French (1969).

▼154 例えば、Duckworth (1889)。

▼155 ブラウンについては、Risse (1988) 参照。

▼156 ジョージ王朝期の偽医者も、痛風治療薬を開発していたことは付け加えておこう。それについてここで検討する紙幅はないが、Roy Porter (1998) を参照。

第六章 痛風とジョージ王朝期の紳士

▼1 Digby (1994); Dorothy Porter and Roy Porter (1989). 戯画・諷刺画については、Arnold-Forster and Tallis, comps (1989); Burnby (1989) 参照。家庭の医学書は、*Family Companion for Health* (1729); *Family Guide to Health* (1767); Bullman (1789); Reece (1803) など——Reeceについては、本書第八章で述べる。議論については、Lawrence (1975); Roy Porter, ed. (1992) 参照。

▼2 Andrews, ed. (1954), ii, p. 238.

▼3 患者だった最も有名な哲学者は、イマヌエル・カントである。

▼4 Ellis (1927), pp. 162-3. Graham and Graham (1957), p. 209; Copeman (1964), p. 82 も参照。

▼5 Hartshorne, ed. (1905), p. 103.

▼6 Pat Rogers (1981), pp. 315-16における引用。Bierce (1911), p. 76.——「痛風（名詞）金持ちの患者のリウマチに医者がつけた名称」——と比較。

▼7 Lady Holland (1855), ii, pp. 130-1における Letter to Lady Holland, 8 November 1816.

▼8 Philander Misaurus (1735). その文章が依拠している擬似礼讃の文学的伝統については、本書第三章を参照。当時は、当然ながらイギリスの諷刺の黄金時代だった——Rawson (1994)。

▼9 Philander Misaurus (1735), pp. v-vi.

▼10 同書、pp. 1-2。

▼11 同書、p. 3。

▼12 同上。

▼13 同上。

▼14 同書、p. 6。

▼15 同書、p. 7。

▼16 同書、pp. 7-8。

▼17 同書、p. 9。

▼18 同上。痛みについては、Roy Porter (1993b) 参照。

▼19 Philander Misaurus (1735), pp. 11-12.

▼20 Warter, ed. (1831), p. 551における引用。

▼21 Philander Misaurus (1735), p. 14.

▼22 同書、pp. 21-2。

▼23 同書、p. 23。

▼24 同上。

▼25 同書、p. 34。これは、シデナムについての言及だったのか？

▼26 同書、p. 35。

▼27 同上。

▼28 同上。

- ▼29 同書、pp. 39-40。
- ▼30 同書、pp. 42-3。
- ▼31 同書、p. 43。
- ▼32 同書、p. 49。
- ▼33 同書、p. 52。
- ▼34 伝統的身体における流動性は、Duden (1991) において強調されている。Neuburger (1932) も参照。
- ▼35 Verey, ed. (1930), ii, p. 56: William Abel to Ralph, Lord Fermanagh, 3 January, 1718.
- ▼36 Lord Herbert, ed. (1950), September 1779, p. 265. 贅沢と酒については、Healey (1975), pp. 659-62参照。
- ▼37 Norton, ed. (1956), ii, p. 239. 彼は後に、自分の痛風の「衰亡」について言及している (p. 375)。
- ▼38 現代の片頭痛に関する Oliver Sack の見解 (1981) と比較。
- ▼39 Boyd, ed. (1958), pp. 99-103 における Thomas Jefferson to John Jay, 1 February 1787.
- ▼40 Hartshorne, ed. (1905), p. 103. Horace, *Epistles*, 1. 10. 24 からの誤引用。
- ▼41 Dewhurst, ed. (1966), pp. 174-5 に引用された Sydenham to Major William Hale.
- ▼42 W. S. Lewis, ed. (1937-83), xxvi, p. 597: to Sir Horace Mann, 25 July 1785.
- ▼43 King and Ryskamp, eds. (1979-84), iv, p. 91. クーパーは、*The Task* においてこう書いている。

ああ、願わくば (淫らな肉慾を甘やかして暮らしているつもりはないが)
 放蕩の過ぎる者の足指にはびこる関節の痛みから免れて生きたいものだ
 ソファは、痛風持ちの脚にふさわしいのは確かだ
 ソファに横になっても、痛風持ちの脚にはなりたくないものだ
 (Book I: lines 103-8)

- ▼44 Greig, ed. (1969), i, p. 180: letter to John Clephane, 2 October 1753. ヒュームは、「一回の痛風発作は、君の間投詞の在庫を大いに増やす。そして、普通の文法では、味も素っ気もない話のその部分を、名詞や動詞よりも豊かにしてくれる」と言い添えた。
- ▼45 同上。
- ▼46 Smyth, ed. (1906), viii, p. 161. Wallace (1968), pp. 312-20 も参照。
- ▼47 The Marquis of Lansdowne, ed. (1934), pp. 258-9.
- ▼48 Chapman, ed. (1952), iii, p. 81: letter 891.
- ▼49 W. S. Lewis, ed. (1937-83), xxv, p. 402: to Sir Horace Mann, 8 May 1783.

庶民院が、いまだかつてないほど悪い状態でも、我々改革主義者にはまだ許容できるに違いない。王政復古以来、一年に二人の首相を失脚させた庶民院が他にあったらどうか？ 要するに、私は、自分の体質を見るのと同じ観点で庶民院の体質を見ている。痛風は、炎症を引き起こし、体を弱め、手足を不自由にする。それでも、勝手に浄化し、薬を必要としない。いんちき療法に頼れば、死にかねない。それに、痛風は他の病気を予防し、寿命を延ばしてくれる。熱病、麻痺、卒中にならなくて済むのに、痛風を治療などできはしない。

もちろん、ホレス・ウォルポールが、自分は庶民院の偉大な政治家ロバート・ウォルポール卿の息子だと信じていたことが重要だ。

- ▼50 Sprigge, ed. (1968-81), ii, p. 207.
- ▼51 W. S. Lewis, ed. (1937-83), xxxv, p. 259: to Richard Bentley, 16 November 1755. Gwynn

- (1932), pp. 33, 171-3, 189, 206-7, 226, 230-1, 232, 245, 250, 252, 263, 266, 267 参照。
- ▼52 同書、xxxv, p. 264: to Richard Bentley, 6 January 1756。約20年後も、彼はまだ友人たちに、強いワインで痛風を寄せ付けないようにするのはやめろ、それは不規則性痛風を引き起こすからと忠告していた——xxiv, p. 423: to Sir Horace Mann, 27 November 1778。
- ▼53 同書、xxxv, p. 303: to the Earl of Strafford, 7 August 1760。
- ▼54 同書、xxxviii, p. 65: to the Hon. Henry Seymour Conway, 7 August 1760。ポール・プライアントは、ウィリアム・コングリーブの *The Double Dealer* (1693) の登場人物。
- ▼55 同書、ix, p. 291: to George Montagu, 12 August 1760。彼は、「痛風のお仕着せ」を着た別の機会についても冗談めかして話すことができた——xxii, p. 348: to Sir Horace Mann, 16 October 1765。
- ▼56 同書、xxii, p. 10: to Sir Horace Mann, 20 December 1762。
- ▼57 同書、x, p. 159: to George Montagu, 6 July 1765。
- ▼58 同書、xxxix, p. 3: to the Hon. Henry Seymour Conway, 3 July 1765。
- ▼59 同書、xxxi, p. 37: to the Countess of Suffolk, 3 July 1765。
- ▼60 同書、xxii, p. 311: to Sir Horace Mann, 12 July 1765。
- ▼61 同書、xxiv, p. 501: to Sir Horace Mann, 4 August 1779。同じ節で、痛風は、「私の宿敵」とある。彼は、数年後に書いている——「道化役しかできないとずっと思っていた痛風が、どんな形も取れると、私は信じている」——xxix, p. 89: to the Revd William Mason, 4 January 1781。
- ▼62 Toynbee, ed. (1903-25), vi, p. 270, letter 1038: to George Montagu, 28 July 1765。自由の政治学については、以下を参照。
- ▼63 W. S. Lewis, ed. (1937-83), i, p. 95: to the Revd William Cole, 5 September 1765。「のみに食われたどころの」痛みではない——xxii, p. 348: to Sir Horace Mann, 16 October 1765。
- ▼64 同書、x, pp. 179-80: to George Montagu, 16 October 1765。
- ▼65 同書、xiii-xiv, p. 143: to Thomas Gray, 19 November 1765。ウォルポールの心が軟化して、いんちき薬を手に入れようとした形跡はない。グレイの痛風については、Ketton-Cremer (1955), pp. 118, 260 参照。
- ▼66 同書、xxxii, p. 210: to the Countess of Upper Ossory, 15 October 1774。
- ▼67 同書、xxxix, p. 206: to the Countess of Ailesbury, 8 November 1774。「ミイラ」という語の使用については、xxxix, p. 229: to the Hon. Henry Seymour Conway, 26 December 1774 も参照。
- ▼68 同書、xxiv, p. 67: to Sir Horace Mann, 23 December 1774。
- ▼69 同書、xxxix, p. 226: to the Hon. Henry Seymour Conway, 15 December 1774。
- ▼70 同書、xxiv, p. 66: to Sir Horace Mann, 23 December 1774。
- ▼71 同書、xxv, p. 402: to Sir Horace Mann, 9 January 1775。ウォルポールの手紙の多くは、ブーティキンを称賛している。例えば、ii, p. 1: to the Revd William Cole, 26 January 1776 も参照。
- ▼72 同書、xxiv, pp. 70-1: to Sir Horace Mann, 9 January 1775。
- ▼73 同書、xxiv, p. 184: to Sir Horace Mann 22 March 1776。
- ▼74 同書、xxiv, p. 421: to Sir Horace Mann, 30 October 1778。
- ▼75 同書、xxiv, p. 423: to Sir Horace Mann, 27 November 1778。
- ▼76 「古代の紳士が結婚するとき、看護人が欲しいからというのが最良の口実だった。これが国王ソロモン——最も賢い人間にして、最高権力と最大の富を誇った国王——が、高齢になって重い痛風を患ったときに1000人もの妻を娶った動機だったのだと私は思う」——同書、xi, p. 72: to Miss Mary Berry, 30 September 1789。
- ▼77 同書、xxxiii, p. 120: to the Countess of Upper Ossory, 5 September 1779。
- ▼78 同書、xxix, p. 7: to the Revd William Mason, 22 January 1780。美的背景については、Marjorie Hope Nicolson (1959) 参照。当時のベスビオ山のたび重なる大噴火が、この類推を招いたに違いない。

- ▼79 W. S. Lewis, ed. (1937-83), xxxi, p. 237: to Lady Browne, 14 December 1785.
- ▼80 同書、xxv, pp. 622-3: to Sir Horace Mann, 13 February 1786。後に彼は、痛風結石を「[ジョン・]ハンター氏の人類の苦難のコレクションに並べる価値のあるものと呼んでいる」——同書、xv, p. 241: to the Revd Robert Nares, 5 October 1793。
- ▼81 同書、x, p. 83: to Miss Mary Berry, 10 July 1790。ブラックモアについては、本書第五章を参照。
- ▼82 同書、xxxii, p. 341: to Miss Hannah More, 25 July 1790。
- ▼83 同書、xxxii, p. 345: to Mrs Dickenson, 25 August 1790。
- ▼84 同書、xi, p. 177: to Miss Mary Berry, 9 January 1791。
- ▼85 同書、xi, p. 313: to Miss Mary Berry, 17 July 1791。
- ▼86 疾病についての啓蒙主義的な態度の優れた描写は、Geyer-Kordesch (1985) が提供している。彼の父親ロバート卿の政治モットーは、*quieta non movere*、落ち着いている物を動かすなだった。
- ▼87 これに、ジョン・アーバスノット博士の *Cymbeline* と、ドライデン訳のユウェナイスからの引用が続いた。形容詞「痛風の gouty」は、ジョンソンに、John Graunt の *Natural and Political Observations* (1662) の一文を思い出させた。関節炎の項目（「関節を侵すすべての病気だが、痛風が最も著しい」）は、それが、関節疾患の総称としてまだ使用されていたことを示している。ジョンソンの痛風について、最近になって極めて貴重な二つの議論が成されたため、本書のこれに続く説明は、幾分簡略化されている——J. P. W. Rogers (1986), pp. 133-44 と Wiltshire (1991), pp. 35-6。
- ▼88 Pottle and Bennett, eds. (1936), pp. 168-9. カドガンについては、本書第七章を参照。
- ▼89 Chapman, ed. (1984), ii, p. 84: Johnson to Mrs Thrale, letter 432, 29 August 1775.
- ▼90 同書、p. 147: letter 494, 6 July 1776。
- ▼91 同書、iii, p. 92: letter 894, 23 October 1783。
- ▼92 同書、ii, p. 138: letter 485, 3 June 1776。
- ▼93 同書、iii, p. 81: letter 891。
- ▼94 同書、p. 86: letter 874, 9 October 1783。
- ▼95 「私のさまざまな病気は、他の点では、普通より軽い」と、彼はスレール夫人に語った——同書、p. 38: letter 853, 21 June 1783。
- ▼96 同書、ii, p. 309: letter 635, 19 October 1779。
- ▼97 Redford, ed. (1992), iii, p. 221: to John Taylor, 9 December 1779.
- ▼98 Balderston, ed. (1951), I, p. 521. フロイトとの類似点を考えると興味深い。フロイトも、同じように「抑圧」の弊害を強調している。冷水は痛風を引き起こし、悪化させ、反発性痛風の原因となりかねないと広く信じられていた。Brownrigg (1993), p. 53 参照。
- ▼99 The Marquis of Lansdowne, ed. (1934), p. 254. 彼女の意見は、冷水は、痛風の管を萎縮させ、その内容物を他のもっと危険な部位へ排出させてしまうという確信に従っている。
- ▼100 Quennell, ed. (1948), p. 121.
- ▼101 Treue (1958), p. 147.
- ▼102 Rannie, ed. (1898), I, p. 266: Wednesday, 26 June 1706. 軽率な治療の試みが、痛風ではなく一族を断絶させたというのが教訓だった。
- ▼103 Swift, 'Bec's Birthday', in Swift (1937), ii, p. 761; Flynn (1990). スウィフトの疾病には、リウマチ、難聴、眩暈が含まれた。
- ▼104 Smyth, ed. (1906) ('Dialogue Between Franklin and the Gout'), p. 154. Pepper (1970); [Anon.] (1959), pp. 34-5; Ronald W. Clark (1983), pp. 150, 297, 315, 364, 368-9.
- ▼105 Smyth, ed. (1906), p. 155.
- ▼106 同上。
- ▼107 同上。

- ▼108 同書、p. 156。
- ▼109 同書、p. 157。
- ▼110 同書、p. 158。
- ▼111 同上。
- ▼112 同書、pp. 159-60。
- ▼113 同書、p. 161。
- ▼114 同書、p. 152。
- ▼115 また別の機会には、「ボリュームたっぷりの夕食とチーズを食べ、シャンパンを大量に飲んだ」と記録している—— [Anon.] (1959), pp. 34-5。
- ▼116 そのような考え方が、他の文化においてどの程度受け入れられたかについては、フランス、ドイツ連邦、イタリア、スカンジナビア、その他の医学的・政治的背景に関する調査が待たれる。
- ▼117 David Trotter (1988); Barkan (1975); Bamborough (1952)。
- ▼118 Marjorie Hope Nicolson (1960)。
- ▼119 Pocock (1972), p. 217に引用されたMatthew Hale。
- ▼120 Dickinson (1977), p. 81に引用されたWalter Moyle (1796)。
- ▼121 Gunn (1983), p. 199に引用されたDavid Williams (1778), p. 1。
- ▼122 政治用語については、Pocock (1972; 1975; 1985); Robbins (1959); Dickinson (1977) 参照。
- ▼123 パークの引用については、Pocock (1972), p. 226参照。Brewer (1976) も参照。Brewer (1986) は、また、そのような隠喩の絵画化について調査した。この点については、Rodnan (1961), pp. 27-46; Atherton (1974; 1982), pp. 3-31; George (1967a; 1967b); Helfand (1978) も参照。
- ▼124 Sekora (1977); Berry (1994)。
- ▼125 Duncan Forbes (1975)。
- ▼126 Mandeville (1970), pp. 67-8; McKee (1991)。
- ▼127 「宇宙論的保守主義」については、Willey (1962) 参照。
- ▼128 Dickinson (1977), p. 142。
- ▼129 Pocock (1972), p. 129。
- ▼130 Hume, 'Of the Original Contract', in (1963), p. 463。
- ▼131 同上。
- ▼132 Pocock (1972), p. 211で議論されたEdmund Burke (1901), ii, p. 307。
- ▼133 Blackmore (1726), p. 40。
- ▼134 Roy Porter (1992b); Marcovich (1982)。
- ▼135 政治的管理については、Plumb (1967) 参照。
- ▼136 Grant (1779), p. 21。
- ▼137 Dickinson (1977), p. 204における引用。
- ▼138 同書、p. 243。
- ▼139 Norton, ed. (1956); Craddock (1982; 1989); Spacks (1976), ch. iv。
- ▼140 Bonnard, ed. (1966), p. 40. *The Memoirs* は、自身の体、特にその(幸運な)病と人間との関係について想像力に富む描写——というより、連続する人生の六つの段階の描写——を提供している。
- ▼141 Norton, ed. (1956), I, p. 356: to Dorothea Gibbon, letter 214, 22 December 1772。
- ▼142 同書、ii, p. 50: to J. B. Holroyd (later Lord Sheffield), letter 284, 20 December 1774。
- ▼143 同書、p. 54: to Dorothea Gibbon, letter 288, 7 January 1775。
- ▼144 同書、p. 163: to J. B. Holroyd, letter 396, 4 November 1777。
- ▼145 同書、p. 165: to Dorothea Gibbon, letter 400, 13 November 1777。軍隊言葉が、至る所に存在した。Spilsbury (1775), pp. 58-9参照。

- ▼146 Norton, ed. (1956), ii, p. 165: to J. B. Holroyd, letter 401, 14 November 1777.
- ▼147 同書、p. 238: to Dorothea Gibbon, letter 468, 10 March 1780。
- ▼148 同書、p. 239: to Dorothea Gibbon, letter 469, 18 March 1780。
- ▼149 同書、p. 290: to Dorothea Gibbon, letter 531, 23 January 1782。
- ▼150 同書、p. 322: to Dorothea Gibbon, letter 565, 19 February 1783。
- ▼151 同書、p. 324: to Dorothea Gibbon, letter 568, 29 March 1783。
- ▼152 同書、p. 330: to Dorothea Gibbon, letter 572, 30 May 1783。
- ▼153 同書、p. 375: to Lady Sheffield, letter 607, 28 October 1783。自分の「一部器官 member」への言及は、ギボンにとっては性的な意味があったと、ここでも別の箇所でも想像してしまう。彼は、シェフィールド夫人ときわどい二重の意味を持つ語を使用していたのか？
- ▼154 同書、p. 411: to Dorothea Gibbon, letter 618, 28 May 1784。
- ▼155 同上。
- ▼156 同書、iii, p. 18: to Dorothea Gibbon, letter 624, 17 October 1784。
- ▼157 同書、p. 18: to Lord Eliot, letter 625, 27 October 1784。
- ▼158 同書、pp. 27-8: to Dorothea Gibbon, letter 627, 15 July 1785。痛風が哲学を教えるというのは、新古典主義時代の決まり文句だった。したがって、1741年6月8日に、バンブラ (Vanbrugh) は、第三代カーライル伯爵からの手紙への返信を、「あなたの哲学の偉業は、すべて痛風発作のおかげです」と書き始めている——Downes (1987), p. 385。
- ▼159 Norton, ed. (1956), iii, p. 41: to Dorothea Gibbon, letter 633, 3 May 1786。
- ▼160 同書、p. 82: to Lord Sheffield, letter 660, 26 November 1787。
- ▼161 同書、pp. 190-1: to Lord Sheffield, letter 759, 15 May 1790。「高尚な部位」への言及には、性的なからかいがある。
- ▼162 同書、p. 197: to Lord Sheffield, letter 762, 7 August 1790。
- ▼163 同上。
- ▼164 同書、p. 199。
- ▼165 同書、p. 264: to Dorothea Gibbon, letter 804, 1 August 1792。
- ▼166 Rodnan and Benedek (1965), pp. 115-39。もっと一般的には、Cotton Mather (1994) 参照。

第七章 スモレット、カドガン、そして論争

- ▼1 Tierney (1989), p. 209.
- ▼2 同書、p. 249。
- ▼3 同書、p. 261。
- ▼4 同上。
- ▼5 同書、p. 270。
- ▼6 同書、p. 279。
- ▼7 同書、pp. 300-1。
- ▼8 同書、p. 326。
- ▼9 同書、p. 440。
- ▼10 同書、p. 481。
- ▼11 架空の登場人物ウィリアム・ルイス医師の由来については、Rousseau (1982) 参照。いくつかの重要な意味において、ルイスは、スコットランドの医師ジョン・ムーア (John Moore, 1729-1802) に基づいていた。
- ▼12 Preston, ed. (1990), p. 1: to Dr Lewis, 2 April. *Humphry Clinker* の引用はすべて、Preston に依拠。

- ▼13 同書、p. 336: to Dr Lewis, 20 November。
- ▼14 同上。
- ▼15 スモレットに関する歴代の批評については、Kelly, ed. (1987) 参照。
- ▼16 Rousseau (1982) 参照。Crawford (1992), ch. ivは、「スコットランド人のスモレット」を「イングランド人」の著者として取り込んだことについて参照する価値がある。Nemonianu (1989) は、'Illness and Style: The Case of Bramble's Hypochondria'と題する章において、「痛風は、急性疾患や命に係わる疾病と異なり、牧歌的生活を脅かすことのない虚弱と長寿と共生可能な慢性疾患である」と書いている。これは事実だが、スモレットが明らかにしたいのは、痛風は、故郷ウェールズの社会に溶け込むためにブランブルが克服しなければならない慢性疾患であるということであり、同じ慢性疾患である心気症^{ヒポコンドリア}を克服しなければならないのは言うまでもない。スモレットが主人公の特徴付けに利用したのは、まさに痛風の滑稽な逆説である。スモレットにとって痛風は、飽き飽きするような反復性を特徴とする心気症とは違い、単なる文化的象徴以上の病を意味している。この二つの慢性疾患はどちらも確かに当たり障りのないものだが。この観点から、特にジョージ王朝期の心気症の文脈を考慮して、Nemonianuが行なったよりも明確に痛風と心気症を差別化する必要がある。
- ▼17 これらの問題は複雑で、本書では検討できないが、Rousseau (1982); Boucé (1971); Basker (1988) を参照。経済的・職業的予定表に従って、毎日定数の文章を書きなぐったクラブ街の物書きとしてのスモレットの研究が必要だ。
- ▼18 Bourgeois (1986); Knapp (1949); Musher (1967); Rousseau (1966); Schuyler (1890); Sena (1975); Underwood (1937) 参照。
- ▼19 議論を見出せるものと期待すべき史料には、何も書かれていない。Rothfield (1987) 参照。
- ▼20 Kelly, ed. (1987), pp. 320-5およびpp. 357-64を参照。
- ▼21 Knapp (1949); Rousseau (1966) 参照。
- ▼22 Preston ed. (1990), p. 25: to Dr Lewis, 20 April.
- ▼23 同上。
- ▼24 同書、p. 52: to Dr Lewis, 5 May。
- ▼25 同書、p. 26: to Dr Lewis, 20 April。
- ▼26 同書、p. 138: to Dr Lewis, 12 June。
- ▼27 同書、p. 151: to Dr Lewis, 14 June。
- ▼28 同書、p. 159: to Dr Lewis, 26 June。
- ▼29 同書、p. 168: to Dr Lewis, 26 June. Rousseau (1991d), pp. 41-2 も参照。
- ▼30 Preston, ed. (1990), p. 168: to Dr Lewis, 26 June.
- ▼31 同書、p. 17: to Dr Lewis, 4 July。
- ▼32 同書、p. 325: to Dr Lewis, 26 October。
- ▼33 同上。
- ▼34 Rothfield (1992), p. 4.
- ▼35 Rousseau (1982), pp. 1-9.
- ▼36 Knapp, ed. (1970), p. 82: letter 64.
- ▼37 同書、p. 106: letter 86, dated 1 June 1762。
- ▼38 同書、p. 119: letter 94。
- ▼39 同書、pp. 107-8: letter 87。
- ▼40 同書、pp. 109-10: letter 88, dated 2 October 1762。
- ▼41 同書、p. 119: letter 94。
- ▼42 同書、p. 121: letter 95。
- ▼43 同書、pp. 120-1, for Dr A Fizes, 'Systema nervosum maxime irritabile'。
- ▼44 同書、p. 126: letter 97; letter to John Moore from Bath dated 13 November 1765。この段落

の次の引用は、この手紙に依拠。

- ▼45 同上。
- ▼46 スモレットは右利きだった。指の酷使が原因で、苦痛が生じたということは、どうやらこの時点で彼には思い当たらなかったようだ。
- ▼47 同書、pp. 129-31; letter 100.
- ▼48 経歴については、Mullins (1968); Ruhräh (1925a); Rendle-Short (1960b) を参照。
- ▼49 McLure (1981) 参照。カドガンの *An Essay upon Nursing and the Management of Children* (1748) によって、彼は有力な候補となった。
- ▼50 Ruhräh (1925b), p. 5における引用。カドガンの発言は、おそらくふざけたものとは言い切れない。
- ▼51 Cadogan (1748), pp. 24-5. Rendle-Short (1960a); Fildes (1985), pp. 398-9; 同著者 (1899), pp. 113-16, 134-5; A. Wilson (1995) 参照。
- ▼52 Cadogan (1771). カドガンの小論 (1772 edn.) は、Ruhräh (1925b) に転載されている。カドガンの出版者で、サミュエル・ジョンソンと親しかったロバート・ドズリー (Robert Dodsley) は、30代半ばまでに急性症状を患い、「松葉杖と布の靴」を必要としていた。彼の詩、*Pain and Patience* (1743) が、その話題を扱っている。60歳を過ぎると、彼はほとんど歩けなくなった——Straus (1910), 79f., 295f.
- ▼53 Trimmer (1967); Gruman (1966).
- ▼54 Drake (1758), p. 35; 同著者 (1771).
- ▼55 Cheyne (1722), p. 35. チェーンについては、本書第五章を参照。医学の原始主義については、Roy Porter (1991a) 参照。
- ▼56 Pottle and Bennett, eds. (1936), pp. 168-9.
- ▼57 Campbell (1969; 1st edn., 1747), p. 37.
- ▼58 同書、pp. 37-8.
- ▼59 同書、p. 38.
- ▼60 Wesley (1747); Rousseau (1968); Cule (1990). 後の文筆家らが、これらのメッセージを繰り返すだろう——Willich (1799)。Roy Porter (1991b), ch. viの詳論を参照。
- ▼61 盗用の可能性の問題については、Rendle-Short (1960b) で述べられている。
- ▼62 ヒルについては、本書第五章を参照。Rousseau (1978a) も参照。
- ▼63 Kevin Fraser (1992).
- ▼64 W. Buchan (1769); Lawrence (1975); Roy Porter, ed. (1992).
- ▼65 W. Buchan (1769).
- ▼66 同書、p. 484.
- ▼67 同上。
- ▼68 同上。大衆向けの医療執筆家らとは異なり、バカンは、痛風とリウマチの区別には多少慎重で、リウマチは「痛風と非常によく似ている」と指摘した (pp. 465-6)。
- ▼69 同書、p. 464.
- ▼70 同上。
- ▼71 これらの点については、Rendle-Short (1960b) 参照。
- ▼72 Cadogan (1771), pp. 16-17. カドガンからの引用はすべて、Ruhräh (1925) に転載された1772年版による。
- ▼73 Cadogan (1771), p. 16.
- ▼74 同書、pp. 13-14. 医療専門家の共謀まがいの行為に対するバカンの非難との類似が、ここで明らかに見てとれる。
- ▼75 同書、p. 14.

- ▼76 同書、pp. 19-20。
- ▼77 同書、p. 25。
- ▼78 同上。
- ▼79 同書、p. 26。
- ▼80 同書、p. 29。
- ▼81 同書、p. 30。
- ▼82 同書、pp. 31-2。「この世のあらゆる慢性疾患の9割、特に痛風の最初の発現は不節制による」と彼は強調した (p. 47)。
- ▼83 同書、pp. 35-7。
- ▼84 同書、p. 44。
- ▼85 同書、pp. 46-7。類似の議論については、Roy Porter (1988; 1992a) 参照。
- ▼86 Cadogan (1771), pp. 49-51.
- ▼87 同書、pp. 53, 58, 64-8。
- ▼88 同書、pp. 72-4。
- ▼89 同書、pp. 76-7。
- ▼90 同書、pp. 79-80。
- ▼91 同書、p. 85。
- ▼92 同書、pp. 85-6。
- ▼93 同書、p. 25。
- ▼94 Little and Kahrl, eds. (1963), ii, p. 738: to the Revd Dr. John Hoadly, letter 632, 9 May 1771.
- ▼95 Shebbeare (1772), p. 171.
- ▼96 同書、p. 172。
- ▼97 この詩は、Ruhrah (1925b), p. 104に転載されている。
- ▼98 同書、p. 105。
- ▼99 同上。
- ▼100 同書、p. 107。
- ▼101 同上。
- ▼102 同上。
- ▼103 同書、p. 108。
- ▼104 同書、p. 110。
- ▼105 Gilmour (1992); Brewer (1986).
- ▼106 Ruhrah (1925b), p. 113.
- ▼107 Pottle and Bennett, eds (1936), pp. 168-9参照。
- ▼108 John Hill (1758a); Kevin Fraser (1992).
- ▼109 Hill (1758a), p. 6; 同著者 (1771), p. 11 と比較。
- ▼110 同著者 (1771), p. 11。
- ▼111 同書、p. 49。
- ▼112 同書、p. 50。
- ▼113 同書、p. 23。
- ▼114 同書、p. 14。
- ▼115 Berkenhout (1772); William Carter (1772); Shebbeare (1772); Falconer (1772) など。
- ▼116 [Anon.] (1771), pp. 16-17. ウィリアム・ド・グレイ卿 (Sir William De Grey) は患者だった。
- ▼117 同書、p. 9。
- ▼118 同上。
- ▼119 Berdoe (1772), p. 63.

- ▼120 同書、pp. 14-15。神経症あるいは心気症に関して、多くが、類似の議論を採用した。
- ▼121 同書、pp. 24-5。
- ▼122 同書、p. 27。
- ▼123 同書、p. 29。
- ▼124 同書、p. 30。
- ▼125 同書、p. 31。
- ▼126 同書、p. 59。
- ▼127 同書、p. 69。
- ▼128 William Carter (1772), vi.
- ▼129 同書、p. 6。
- ▼130 同書、p. 7。
- ▼131 同書、p. 10。
- ▼132 同書、p. 12。
- ▼133 同書、pp. 27-8。
- ▼134 同書、p. 28。
- ▼135 同上。
- ▼136 同書、pp. 30-1。
- ▼137 同上。既に痛風を患っている者にとって、優先されるのは〈苦痛の軽減〉であって、カドガンの〈講義〉ではなかった——同書、pp. 43-4。
- ▼138 同書、pp. 34-5。どんぐりへの言及は、マンデヴィルの諷刺的な『蜂の寓話』を示唆している。マンデヴィルはその中で、皮肉にも、自由と美徳を取り戻す男らしい方法として、どんぐりを食べる生活に立ち返れと促している。
- ▼139 同書、p. 46。
- ▼140 [Anon.] (1771), p. 17.
- ▼141 Jay (1772), p. 18.
- ▼142 同書、p. 2。
- ▼143 同書、pp. 10-11。
- ▼144 同書、p. 18。
- ▼145 同書、pp. 25-6。
- ▼146 同書、p. 43。
- ▼147 Kentish (1789), p. 17.
- ▼148 Dickinson (1977), p. 243に引用されたSir James Mackintosh (1791), pp. 48-9。急進主義については、E. P. Thompson (1963) 参照。
- ▼149 Grant (1779), pp. 1-2。同書には、二つのページ付けがある。以下のすべての引用は、指摘のない限り、最初のページ付けによる。ウィリアム・グラント (William Grant, d. 1786) は、1755年にアバディーンのマーシャルカレッジの医学博士となる。長年、アバディーンで開業。
- ▼150 同書、p. 2。
- ▼151 同書。
- ▼152 同書、pp. 2-3。
- ▼153 Bryson (1945); Camic (1983); Roy Porter (1991a).
- ▼154 Grant (1779), p. 4.
- ▼155 同書、pp. 4-5。
- ▼156 同書、pp. 5-6。
- ▼157 同書、p. 6。したがって、スコットランド高地人のグラントは、ウイスキーを正当化した。
- ▼158 同書、p. 7。

- ▼159 同書、p. 8。
- ▼160 同書。ここにも、チェーンの残響が伺える。同時代のもう一人のスコットランド人、偽医者
のセックス・セラピストであるジェイムズ・グラハム (James Graham) も同じように、柔らかいベ
ッドなど新たな快適さが健康を悪化させるとした——Roy Porter (1989a), ch. vi 参照。
- ▼161 Grant (1779), pp. 9-10.
- ▼162 同書、p. 10。肥育鶏が痛風を招くというルネサンス期の古い理論の愉快的残響がここに伺え
る。
- ▼163 同書、p. 13。
- ▼164 同書、pp. 14-15。疾病の発現は、母親が母乳を与えないことと大きく関係する。カドガンな
ら、同意しただろう。
- ▼165 同書、p. 15。
- ▼166 同書、pp. 15-16。
- ▼167 同書、pp. 16-17。
- ▼168 同書、pp. 20-1。
- ▼169 同書、p. 21。
- ▼170 同書、pp. 22-3。
- ▼171 同書、pp. 37-8。
- ▼172 同書、p. 24。
- ▼173 同書、pp. 38-9。
- ▼174 同書、p. 39。
- ▼175 同書、pp. 64-6。
- ▼176 同書、p. 69。
- ▼177 同書、pp. 67-8。
- ▼178 同書、p. 94。
- ▼179 同書、pp. 102-4。
- ▼180 同書、p. 1 (これは、二つ目のページ付けによる。以下の引用もすべて同様)。
- ▼181 同書、pp. 2-3。
- ▼182 同書、pp. 8-9。
- ▼183 同書、p. 9。
- ▼184 グラントは、親戚と思しきもう一人のグラント氏の事例を挙げている——同上。
- ▼185 同書、p. 10。
- ▼186 同書、p. 55。
- ▼187 同書、pp. 55-6。
- ▼188 Beddoes (1802), ii, essay vii, p. 98; Roy Porter (1991b) 参照。多くの者が、いんちき療法と
みなすような治療をベドーズが推奨したことは、重要かもしれない。A. Welles への彼の寄稿 (1803)
を参照——Roy Porter (1991b), p. 135。
- ▼189 Beddoes (1802), ii, essay viii, pp. 160-1.
- ▼190 Jeans (1792), p. 7.
- ▼191 同書、p. 12。
- ▼192 同書、p. 4。
- ▼193 同書、pp. 6-7。
- ▼194 同書、p. 9。
- ▼195 同書、p. 12。
- ▼196 同書、p. 11。
- ▼197 同書、p. 15。

- ▼198 同書、p. 18。
- ▼199 同書、p. 21。
- ▼200 同書、p. 24。
- ▼201 William Stevenson (1779), v-vi. アイルランド生まれのステイーヴンソン (Stevenson, 1719?-1783) は、エディンバラ大学で学んだ。一時期コールレーンで開業したのち、サマセットのウェルズで開業。後に、イングランド北部のニューアークに落ち着く。毒舌で有名。
- ▼202 同書、vi-viii。
- ▼203 同書、viii-ix。
- ▼204 同書、ix。
- ▼205 同書、ix-x。
- ▼206 同書、xi-xii。
- ▼207 同書、xii。
- ▼208 同書、xii-xiii。
- ▼209 同書、xviii。死と医者との繋がり为民衆の認識については、Roy Porter (1989c), pp. 77-94 参照。
- ▼210 Stevenson (1779), xix.
- ▼211 同書、xxii-xxiii。
- ▼212 同書、xxviii。
- ▼213 同書、pp. 42-3。
- ▼214 同書、p. 43。
- ▼215 同書、pp. 44-5。
- ▼216 同書、p. 48。
- ▼217 同書、pp. 48-9。
- ▼218 同書、p. 49。
- ▼219 同書、p. 50。
- ▼220 同書、pp. 56-7。証拠として、ステイーヴンソンは、「カドガン博士による独創的で明快な痛風の論文を参照するよう」読者に薦めている——p. 59。
- ▼221 同書、p. 71。
- ▼222 同書、pp. 73-4。
- ▼223 同書、p. 75。
- ▼224 同書、p. 76。
- ▼225 同書、p. 77。
- ▼226 同上。
- ▼227 同書、pp. 93-4。
- ▼228 同書、p. 108。
- ▼229 同書、pp. 123-4。
- ▼230 同書、pp. 133-5。

第八章 変化と継続、1790年～1850年

- ▼1 Pettigrew (1838-40), ii, p. 35での引用。
- ▼2 Barbeau, ed. (1904); Rolls (1988), pp. 86, 123, 142-3; Hembry (1990); Heywood (1990); Neale (1981); Wagner, ed. (1989).
- ▼3 同時期の鉦泉資料の一例は、Oliver (1751) 参照。参考文献一覧は、Mullett (1946) 参照。
- ▼4 Copeman (1964), p. 91——ピットの愛顧に感謝し、1738年、バースは彼を名誉市民にした。

ローレンス・スターンは、*Tristram Shandy* (1760) を「ピット閣下」に捧げた——「本書を……田舎のお邸にお持ち帰りくださる榮譽をお与えくださいますよう、閣下に謹んでお願い申し上げます。そして、この本によって閣下が笑顔になられた、あるいは一瞬でも痛みをお忘れになられたと聞かされましたら、私は、国務大臣と同じくらい幸せを感じることでございましょう」。ピットの祖父も父も痛風で、彼も、幼いころから痛風（あるいは、少なくとも何らかの関節疾患）を患っていたと思われる。彼が、庶民院を長期にわたり休んだのは、痛風が原因だった。1762年のフランスとの平和条約をめぐる討議に、ピットは、両手・両足にフランネルを巻かれた状態で庶民院に運び込まれ、足を引きずって着席した。そして、3時間座ったまま話した——Jeremy Black (1992), pp. 92-3.

▼5 Copeman (1964), p. 92.

▼6 William Stevenson (1779), pp. 93-4.

▼7 同書、p. 117。

▼8 Heberden (1962), p. 51.

▼9 B. Griggs (1981); Fissell (1992); Chamberlain (1981). Virgin S. Smith (1985) に、豊富な参考文献一覧がある。

▼10 使用された薬の一部については、Estes (1990) 参照。

▼11 ウォルポールについては、本書第六章を参照。

▼12 W. G. Black (1883), pp. 38, 63, 184. スコットランドでは、野兎の足を身に着けたり、ポケットにジャガイモを入れるのと同様、コウラクロナメクジの浸出液がリウマチに効くとされた——David Buchan, ed. (1994), pp. 39, 106.

▼13 Wesley (1747), section 103, p. 76 および諸所に。

▼14 自助努力とその危険については、Roy Porter (1991b); Roy Porter and Dorothy Porter (1988); Spilsbury (1780) を参照。

▼15 Ziemmsen, ed. (1870), xvi, p140.

▼16 Pat Rogers (1979), p. 173f.

▼17 Heberden (1962), p. 52.

▼18 Copeman (1964), pp. 88-90.

▼19 P. S. Brown (1975), pp. 352-69; 同著者 (1976), pp. 152-68。

▼20 Copeman (1964), p. 76. アトキンズは、かつらを被った、派手な、王政復古期ロンドンの痛風薬の売人だった——C. J. S. Thompson (1928), pp. 92-3.

▼21 Copeman (1964), p. 76.

▼22 これについては、Doherty (1992), p. 34f が徹底的に調査している。

▼23 同書、p. 67。

▼24 Blegborough (1803), p. 36. ブレグバロウ (Blegborough, 1769-1827) は外科医の息子で、最初は見習いとして医学を学び、のちにエディンバラ大学に進んだが、学位は取得しなかった。ロンドンで開業。

▼25 同書、p. 39。

▼26 同書、p. 44. Rowbottom and Susskind (1984) 参照。

▼27 Blegborough (1803), pp. 7-8. メスメリズムについては、Gauld (1992) 参照。

▼28 Blegborough (1803), pp. 11-12.

▼29 同書、pp. 26-7. これを信じることができるとすれば、一般庶民が、医学雑誌を読んでいたという興味深い可能性を示唆する。(あるいは、少なくともブレグバロウは、その可能性は充分あると思っていた)

▼30 同書、p. 28。

▼31 Hartung (1954); Wallace (1973); Copeman (1964), ch. 3; Barton and Castle (1877), p. 109f.; Flückinger and Hanbury (1879), p. 699. *Colchicum autumnale* の通俗名の中に、「裸の女性」を意味

する‘naked ladies’があった。この植物は数種類の毒性アルカロイドを含み、最も重要なのがコルヒチンである。少量投与で、痛風の痛みが軽減する。大量に投与すると、下痢を起こし、さらに大量に投与すると有毒で、死に至る可能性がある。

▼32 Copeman (1964), p. 39. アエティウス (Aetius, 活躍期 540AD) は、彼に先行する医学の著述家——主にガレノス——から抜粋した浩瀚な医学百科事典 *Tetrabibloi* を著した。

▼33 同書、p. 41。

▼34 同書、p. 42。

▼35 William Turner (1965), p. 60.

▼36 Bullein (1579), p. 46.

▼37 Gerard (1597), p. 131.

▼38 Flückinger and Hanbury (1879), pp. 699-700.

▼39 同書。(1618), p. 94.

▼40 シデナムとコルチカムについては、本書第四章を参照。

▼41 アントン・シュテルク (Anton von Stoerck, 1731-1803) は、ウィーンのパン・スウィーテン (van Swieten) の下で医学を学んだ。著書は、*An Essay on the Use and Effects of the Roots of the Colchicum Autumnale, or Meadow Saffron* (London: T. Becket and P. A. De Honte, 1764) など。

▼42 Dicker (1951) は、コルヒチンの水除去作用をネズミで実証した。

▼43 Husson (1783; 1807)

▼44 Mr. Romartなる人物が、1776年に12瓶をイギリスに持ち帰った——Ring (1811), pp. 180-1。ジョン・リング (John Ring, 1752-1821) は、ワクチン接種の偉大な唱道者で、エドワード・ジェンナーの生涯の友となった。

▼45 同上。

▼46 バンクスと痛風については、H. B. Carter (1988), p. 246ff. ; Gascoigne (1994); Roy Porter (1998) を参照。

▼47 スクードモーによれば、ウィルソンのチンキ剤は、隠蔽のために特定成分を添加した、野菜成分より成る秘薬だった——「このいんちき薬の所有者は、これは、オ・メディシナルとはまったく似ておらず、コルチカムを含んでいないが、オ・メディシナルに匹敵する治療効果があり、有害な副反応はないと豪語した」：(1835b), pp. 28-9。彼は、この薬は有害だと思っていた。同時期の意見については、Edwin Godden Jones (1810); Ring (1811), pp. 168-71 参照。

▼48 Cave, ed. (1983), pp. 3, 873.

▼49 同上。

▼50 同上。

▼51 Want (1814a; 1814b; 1814c; 1814d). Scudamore (1816), p. 161; 同著者 (1817), p. 193は、ウォントの分析を確認したが、ウォントのコルチカム称賛は行き過ぎだと信じていた。Scudamore (1833b) も参照。ジョン・ウォント (John Want) は、12月から翌1814年6月までの半年、*Medical and Physical Journal* の共同編集者を務め、痛風に関する記事を發表したが、痛風治療における *Colchicum autumnale* の使用を唱道したために、強い反発を招いた。

▼52 Hellman, ed. (1931), pp. 412-38. ジェンナーは、リウマチと心臓の関係に興味を持っていた。そして1789年に、グロスターシャー医師会に、‘Remarks on a Disease of the Heart following Acute Rheumatism, illustrated by Dissections’ と題する論文を送った。

▼53 Treue (1958).

▼54 Copeman (1964), p. 45; Bywaters (1972).

▼55 Scudamore (1816).

▼56 A. Welles (1803).

▼57 Haden (1820); Wallace (1973).

- ▼58 Lady Holland, ed. (1855), i, p. 346.
- ▼59 Lesch (1984).
- ▼60 Gairdner (1849), p. 35などを参照。
- ▼61 Hartung (1954).
- ▼62 Scheele (1776). シェーレの小論は、化学医療の推進派で、自身も痛風研究に貢献したトマス・ベドーズ (Thomas Beddoes) によって、すぐに英訳された——*The Chemical Essays of C. W. Scheele Translated. . . with Additions* (1786)。痛風に関するベドーズの見解については、Beddoes (1793) 参照。
- ▼63 Bergman (1785).
- ▼64 Murray Forbes (1793).
- ▼65 Shute (1807-8), p. 337. Shuteは、フォーブズの著作の重要性を認めていた。
- ▼66 Wollaston (1797).
- ▼67 ボストックの著作については、Scudamore (1816), p. 35参照。
- ▼68 Henry Bence Jones (1842), p. 35.
- ▼69 Copeman (1964), p. 102.
- ▼70 Prout (1818), pp. 420-8.
- ▼71 Copeman (1964), p. 103.
- ▼72 Reece (1803), p. 378. Virginia S. Smith (1985) 参照。
- ▼73 Reece (1803), p. 379.
- ▼74 同書、p. 380。冷水に浸すことの効果についてのキングレークの信念については、以下を参照。
- ▼75 同書、p. 384。
- ▼76 同書、p. 385。
- ▼77 同上。
- ▼78 同上。
- ▼79 Parkinson (1805). この博識な人物の解説は、Arthur D. Morris (1989) 参照。痛風についてのパーキンソンのよく知られた忠告については、(1801), pp. 221-33参照。彼は、*An Essay on the Shaking Palsy* (1817) で最も有名だが、この病気は現在ではパーキンソン病として知られている。
- ▼80 Parkinson (1805), vi.
- ▼81 同書、viii。政治的急進主義者だったパーキンソンは、民衆の味方でもあった。
- ▼82 同書、p. 101。
- ▼83 同書、pp. 102-4。
- ▼84 同書、p. 159。
- ▼85 同書、p. 177。
- ▼86 同書、p. 179。
- ▼87 Kinglake (1804).
- ▼88 Parkinson (1805), p. 130ff. この点に関し、パーキンソンは、Ring (1816) に支持されていた。
- ▼89 Kinglake (1807a). 同書において、彼は、医学雑誌や仲間の開業医の好意的意見を引用した。(1807b) においても同様。
- ▼90 Parkinson (1805), p. 3.
- ▼91 Kinglake (1807a).
- ▼92 Parkinson (1805), pp. 72-3
- ▼93 同上。
- ▼94 同上。
- ▼95 チャールズ・スクードモー (Charles Scudamore, 1779-1849) は、瀉下に熱心だった。彼は、甘汞、アンチモンとコロシントの抽出成分から成る驚くべき混合物を推奨し、一度につき毎夜、ある

- いは1日おきに繰り返した——Scudamore (1816), p. 185。
- ▼96 Scudamore (1816); Copeman (1964), p. 105f.
 - ▼97 Scudamore (1833b).
 - ▼98 同著者 (1816), pp. 127-8.
 - ▼99 同書、p. 15。
 - ▼100 同書、p. 7。
 - ▼101 20年後、ギャロッドはこの分析を繰り返し、彼の病院の痛風患者の50%が遺伝性だったが、彼が診る個人負担の患者の中で信憑性の高い家族歴を示した者は75%にも達したと報告した——Alfred Garrod (1859)。
 - ▼102 Scudamore (1823), p. 70.
 - ▼103 同書、p. 25。
 - ▼104 同著者 (1833a); Copeman (1964), p. 105.
 - ▼105 Scudamore (1816), pp. 9-10.
 - ▼106 Gairdner (1849). ウィリアム・ガードナー (William Gairdner, 1793-1867) は、ロンドンの病院でさまざまな役職に就いたが、富裕層の開業医として有名になった。 *On Gout* (1849) は、1860年に第4版に達した。第2版を引用 (1851)。
 - ▼107 同書、p. 1。
 - ▼108 同書、p. 4。
 - ▼109 同書、p. 7。
 - ▼110 同書、p. 45。
 - ▼111 医学上の議論については、E. A. Smith (1990), pp. 323-5参照。
 - ▼112 Gairdner (1849), pp. 60, 62.
 - ▼113 同書、p. 68。
 - ▼114 同書、pp. 70, 79。「臨床医学の事実」が、「リービヒの理論」を反証したのは、こうした理由からだった——p. 87。
 - ▼115 同書、p. 117。
 - ▼116 同書、p. 184。
 - ▼117 同書、p. 240。その点に関しては、偉大なシデナムでさえ間違っていた——p. 253。
 - ▼118 同書、p. 260。
 - ▼119 Wardrop (1851). 痛風性の心臓については、English (1992) 参照。
 - ▼120 Evan Bedford (1974). 痛風性の心臓については、他の19世紀の理論家たちも関心を持っていた: Fothergill (1879); Balfour (1894) ——彼は、高齢者の心臓を痛風患者の心臓の同義とみなしていた。最後に、関節リウマチの解釈の先駆者、Augustin-Jacob Landré-Beauvais (1772-1840) についても言及されるべきである——Parish (1964) 参照。

第九章 平安な時期——ロマンチックなヴィクトリア時代の痛風

- ▼1 ヘンリー・ハルフォード (Henry Halford, 1766-1844) は、続けて4人の国王の医師を務め、王室ほぼ全員を治療した。1809年に、準男爵に叙せられた。
- ▼2 Wiltshire (1991).
- ▼3 この題材は、Halperin (1984) で引用されている。特に彼女の最後の病気についての pp. 221, 223, 296-7, 335-8 および、16 December 1718 と July 1817 への記入を参照。Halperin は、彼女自身の死の原因は、粟粒結核症だとしている。オースティンの時代におけるヒステリーのジェンダー区分の比較については、Gilman, King, Porter, Rousseau and Showalter (1993), pp. 135-8, 328-31 を参照。
- ▼4 ディズレーリ (Disraeli, 1804-81) は、当然ながらジェイン・オースティンよりもずっと若く、

彼女が処女小説を書いたのちに生まれたが、同時期に執筆した。父親とは異なり、自らの名前にアポストロフィはつけなかった。

- ▼5 Bradford (1982).
- ▼6 Rosa (1960); Adburgham (1983) 参照。
- ▼7 ディズレーリの「フランスかぶれ Gallomania」については、Bradford (1982), p. 197参照。
- ▼8 サラ・オースティンは、1821年に、ロバート・プルマー・ウォードの *Tremaine* を出版するようコルバーンに薦め、コルバーンは出版した。そして、おそらく彼女が、この本をディズレーリに紹介した。*Vivian Grey* 刊行の数か月後にディズレーリの健康状態が悪化するとすぐに、オースティンは、二か月間彼をヨーロッパ大陸に連れて行った。Disraeli (1926; 1826, 1st edn.) と E. A. Smith (1990) 参照。
- ▼9 Robert E. Moore の (1948) の本のスモレットに関する章を参照。
- ▼10 *Vivian Grey*, VIII, iii. 以下の節は、このセクションから。
- ▼11 William Fraser (1891) および諸所を参照。
- ▼12 本書第七章を参照。
- ▼13 Adburgham (1983) 参照。
- ▼14 E. Johnson (1970).
- ▼15 18世紀の医学に造詣が深かったSinclair (1807)。
- ▼16 Daiches (1971), ch. 1.
- ▼17 Preston, ed. (1990), p. 16: to Sir Watkin Phillips, 18 April参照。
- ▼18 Scott (1995b), p. 292参照。
- ▼19 同書、p. 294。
- ▼20 同書、p. 297。
- ▼21 Breitenberg (1996); Spector (1994) 参照。
- ▼22 Thackeray (1972), p. 191. Mudge and Sears (1910), p. 56. 彼らは、高齢の貴族、ロンズデール卿がコルチカム子爵のモデルだとしている。彼は、おそらくディズレーリの *Tancred* に出てくるエスクデール卿のモデルでもあった。
- ▼23 雑誌 *Punch* については、Thackeray (1886) と Wedeen (1981) を参照。
- ▼24 Gairdner (1849).
- ▼25 Timbs (1876), pp. 320-2. ティムズは、この一節を *Blackwood's Magazine* (1863) から転載したと述べているが、引用箇所は見つからない。
- ▼26 Dickens (1972a), p. 271. ディケンズと病気の一般的な議論は、Bailin (1994) 参照。Gordon (1993) は、多少こじつけのようにも思われるが、ディケンズの痛風使用について精神分析的・脱構築主義的解釈を提供している。
- ▼27 Dickens (1972b), p. 355.
- ▼28 Dickens (1972a), ch. 16.
- ▼29 *Little Dorrit*, Book i, ch. 10.
- ▼30 同上。
- ▼31 ディケンズによる痛風言語の隠喩的利用の議論については、本書第一二章を参照。
- ▼32 エミール・フィッシャーが、プリン類のタンパク質を研究するまで、痛風のための血液検査の実施は不可能だった。フィッシャーは、この研究で1902年にノーベル賞を受賞している。
- ▼33 コウルリッジの病状と以下のページの記述は、Lefebure (1974), pp. 46-50, 316f., 374, 375; Fruman (1971); Holmes (1989), p. 352参照。コウルリッジは、慢性リウマチ痛を患っていたのであって、厳密には痛風を患っていたのではないというLefebureの指摘は、おそらく正しい。
- ▼34 E. L. Griggs, ed. (1956-68), ii (1801-6), pp. 974-7: to Robert Southey, letter 513, Sunday, 14 August 1803. *Encyclopedia Britannica* の「弛緩性痛風 atonic gout」の項には、以下のように記され

ている。

まず、痛風素質が体に広がるが、何らかの原因で関節の炎症性疾患を生じない。この場合、病的症候は主として胃の疾患で、食欲不振、消化不良とそれに付随するさまざまな症状、吐き気、嘔吐、鼓腸とげっぷ、および胃痛などで……これらの消化管の疾患には、意気消沈、些細な気分の変化への止むことのない不安、それらが悪化したという妄想、それらが原因の危険が迫っているのではないかという懸念などあらゆる心気症の症状が伴う。*Encyclopedia Britannica* (1797), x, article 'Medicine'

実に、著者が、コウルリッジを念頭に置いていたかのような内容だ。

- ▼35 E. L. Griggs, ed. (1956-68), ii (1801-6), pp. 974-7: to Robert Southey, letter 513, Sunday, 15 August 1803.
- ▼36 コウルリッジと、健康のために温暖な地方へ旅するという彼の現実逃避計画を認めたがらなかった彼の医者トマス・ベドーズとの口論については、Roy Porter (1991b), p. 134f参照。
- ▼37 Coleby (1954); Milner (1842) 参照。
- ▼38 元ケンブリッジ大学クイーンズ・カレッジのKervin Knoxが、このテーマに関する彼の膨大な知識を親切にも提供してくれた。
- ▼39 E. L. Griggs, ed. (1956-68), ii, pp. 978-9: to Mrs. S. T. Coleridge, letter 514, 2 September 1803. Holmes (1990), p. 342ffが、この旅を網羅的に記述している。
- ▼40 同書、p. 980: to Mrs. S. T. Coleridge, letter 515, Saturday, 3 September 1803.
- ▼41 同書、p. 991: to Thomas Wedgwood, letter 520, 16 September 1803. ヒステリーについては、Gilman, King, Porter, Rousseau and Showalter (1993) 参照。男性のヒステリーについては、Micale (1995) が研究している。
- ▼42 E. L. Griggs, ed. (1956-68), ii, p. 993: to Sir George and Lady Beaumont, letter 521, Saturday, 22 September 1803.
- ▼43 同書、pp. 1020-1: to Matthew Coates, letter 529, 5 December 1803.
- ▼44 同書、pp. 1041-2: to Mrs. S. T. Coleridge, letter 537, 24 January 1804.
- ▼45 同書、pp. 1026-7: to Robert Southey, letter 533, 11 January 1804.
- ▼46 同書、vi (1826-34), pp. 764-5: to Daniel Stuart, letter 1642, 14 October 1828.
- ▼47 同書、p. 767: to Gioacchino de'Prati, letter 1643, Tuesday, 14 October 1828.
- ▼48 同書、p. 780: to F. A. Cox, letter 1657, Friday, 20 February 1829. 積年のテーマがここで明らかだ。生まれつき丈夫な体質の人間だけが、危機を痛風の発作へと分解できるのだ。弱い体質の人間は、もっと不健康な形で危機を終わらせる。
- ▼49 同書、p. 787: to Henry Nelson Coleridge, letter 1658, 23 March 1829.
- ▼50 同書、p. 788: to Thomas Allsop, letter 1659, early May 1829. 彼は、「坐骨神経痛 sciatica」: 同書、p. 874: to James Gillman Jr., letter 1719, November 1831 や、「神経性リウマチ nervous rheumatism」: 同書、p. 875: to David Scott, letter 1720, 19 November 1831 のような語もときおり使った。
- ▼51 以下は、R. B. Martin (1980), p. 83fにおける信頼できる記述に依拠。
- ▼52 同書、p. 84.
- ▼53 同書、p. 275.
- ▼54 同書、pp. 278-9. ジェイムズ・ガリー (James Manby Gully, 1808-83) はジャマイカ生まれで、1814年に渡英。1842年から1876年に引退するまで、ジェイムズ・ウィルソンと共にマルバーンに滞在して水治療法を施した。
- ▼55 R. B. Martin (1980), p. 279.

- ▼56 同書、p. 321。
- ▼57 カーライルについては、Fred Kaplan (1986) 参照。
- ▼58 マルバーンでのカーライルについては、Fred Kaplan (1986) の‘illness’の項を参照。
- ▼59 フリードリヒ大王の病気については、大論争となってきた——Asprey (1986), chs. i-ii 参照。
- ▼60 回顧録者で冒険家のカサノバが、1760年ころ、フリードリヒ大王と会談したが、痛風あるいはそれに関連する症状については記していない。
- ▼61 R. B. Martin (1980), p. 567.
- ▼62 Hembry (1990); Janet Browne (1990).
- ▼63 Jeffrey, ed. (1907), ii, p. 5. ドロイトウィッチで塩水浴をした Elizabeth Lucy の回顧録 (29 April 1876) と比較せよ。昼食では、「リウマチ、神経痛、痛風の患者がその周りに座り、ぞっとするような見た目のシチューが出された」。「トーマス卿とリドル夫人が、その晩到着したが、彼は、痛風の受難者のようで、以前にも塩水浴を試したことがあった」——Fairfax-Lucy, ed. (1893), pp. 152-3.
- ▼64 ダーウィンの健康状態と治療への試みについては、Desmond and Moore (1991), p. 529; Bowlby (1990), pp. 215, 239, 258, 267, 254——心因性の特性について特に説得力のある説明; Janet Browne (1990), pp. 102-13; Colp (1977), p. 59——これは、ダーウィンの病歴の最も徹底した説明となっている——を参照。
- ▼65 ヘンリー・ホランド卿 (Sir Henry Holland, 1788-1873) は、1837年にヴィクトリア女王の特任王室医師に任命された。
- ▼66 Colp (1977), p. 59.
- ▼67 Janet Browne (1990), p. 104. 問題の書は、Gully (1846)。水治療法士仲間のジェイムズ・ウィルソンが同じような書を出版した (1842)。同著者 (1843) および Wilson and Gully (1844) も参照。
- ▼68 Janet Browne (1990), p. 107.
- ▼69 同書、p. 108。
- ▼70 Colp (1977), p. 80
- ▼71 同上。
- ▼72 同書、p. 83。
- ▼73 同書、p. 109。
- ▼74 同上。
- ▼75 同上。
- ▼76 同上。
- ▼77 同上。
- ▼78 同上; Bynum (1983)。遺伝性疾患についてのヴィクトリア時代の考え方は、Olby (1993); López-Beltrán (1994; 1992) を参照。
- ▼79 Ellis (1927).
- ▼80 Osbert Sitwell (1945), pp. 76-7. *The Evening Standard* は、1995年3月8日に、有能な演出家サム・メンデスが痛風を患っていると報じて、伝統的な関連性を重視し、彼の写真をサミュエル・ジョンソンの肖像画と並べて掲載した。
- ▼81 同書、pp. 77-8。
- ▼82 Wallace (1962); Virgin (1994) 参照。
- ▼83 Nowell C. Smith, ed. (1953), ii, p. 637: to Lady Grey, letter 1710, 1 February 1836.
- ▼84 同書、pp. 636-7: to Sir George Philips, letter 709, 11 January 1836.
- ▼85 同書、p. 798: to Lady Grey, letter 937, 25 September 1843。庶民の民間医療については、Dorothy Porter and Roy Porter (1989) 参照。家庭での自己投薬は、家庭の医学の手引きで奨励されていた。Mrs. Beeton (1906) は、pp. 1854-5で禁酒を警告し、4時間おきにコルチカムをワインに

漬けた薬用酒を飲むよう勧めた。

- ▼86 Nowell C. Smith, ed. (1953), ii, pp. 574-5: to Lady Grey, letter 641, 22 September 1833. スミスの村での小手先の診療行為については、Virgin (1994), p. 179参照。
- ▼87 Nowell C. Smith, ed. (1953), ii, p. 710: to Lady Carlisle, letter 815, 5 September 1840.
- ▼88 同書、p. 591: to Mrs. Meynell, letter 664, July 1834. Virgin (1994), p. 276参照。
- ▼89 Lady Holland, ed. (1855), i, 35.
- ▼90 同上。
- ▼91 Nowell C. Smith, ed. (1953), ii, p. 591: to Mrs Meynell, letter 664, July 1834.
- ▼92 同書、p. 710: letter 81。
- ▼93 同書、i, p. 267: to Lady Holland, 8 November 1816。
- ▼94 同書、p. 452-3: to John Allen, letter 487, 9 November 1926。
- ▼95 同書、ii, p. 522: to John Allen, letter 565, November 1830。
- ▼96 同書、pp. 643-4: to Sir George Philips, letter 720, 30 July 1836。
- ▼97 同書、p. 649: to Sir George Philips, letter 727, 22 December 1836。
- ▼98 同書、p. 655: to Lady Grey, letter 736, 12 May 1837。
- ▼99 同書、p. 776: to Harriet Martineau, letter 907, 4 January 1843. スミスは明らかに、疾病についてのマーティノー夫人の考えが理不尽だと思っていた。1844年に彼は、グレイ夫人に書き送っている。「マーティノー夫人の *Sick room* をたった今読み終えたところです。私には理解できない。あまりに高尚で、謎めいていて、何が言いたいのかちんぷんかんぷんだ」——同書、p. 826: to Lady Grey, letter 975, 9 March 1844。
- ▼100 Shorter (1992) が、その市場について詳しく記述している。
- ▼101 Edward Bulwer-Lytton, *A Strange Story* (London, 1875)。
- ▼102 同書、p. 375. 痛風の記述はないものの、パトリック・ジュースキントの『香水——ある人殺しの物語』*Das Parfum* (1935) とのこの物語の類似性に気づく読者もいることだろう。
- ▼103 Meredith (1906), p. 198, ch. 21.
- ▼104 George Eliot, *Silas Marner* (London, 1860), p. 3. エリオットは、1858年までに *Bleak House* を読んでいた。
- ▼105 我々は、ジョージ・エリオットに関する Furst の優れた研究 (1993) と Peterson (1978) に特に影響を受けている。Rothfield (1992) のリドゲイト、医学、*Middlemarch* に関する章の影響をそれほど強く受けていないのは、「痛風に関する論文」を書くというリドゲイトの最終的退却を認識していないように思われるからだ。
- ▼106 Le Fanu (1884), p. 172. レ・ファニュについては、McCormack (1980) および、幾分信頼性は低いですが Begnal (1971) を参照。
- ▼107 Le Fanu (1884), p. 164.

第一〇章 痛風と栄誉——ギャロッドとそれ以降

- ▼1 Peters (1991) は、コリンズの小ささ (身長、両手、両足)、膨れた額、弱い視力について述べている——pp. 149-50. 彼女は、コリンズの「目の痛風」は反応性関節炎だった可能性があると思っている。
- ▼2 フランシス・カー・ビアード医師は、1855年から死亡するまでの30年以上、コリンズの治療に当たった——Berridge and Edwards (1981)。
- ▼3 Peters (1991), pp. 148-50.
- ▼4 Berridge and Edwards (1981); Peters (1991), pp. 256-8.
- ▼5 Peters (1991), pp. 268-9.

- ▼6 同書、pp. 68-9。
- ▼7 同書、p. 292。
- ▼8 同書、p. 292。
- ▼9 Kenneth Robinson (1951), pp. 177-8. William Clarke (1988) も参照。
- ▼10 Brock (1993), pp. 153-68.
- ▼11 知りたければ、Copeman (1964), p. 107ff ; Beck (1970); Bearn (1993) を参照——ギャロッドの息子によるこの素晴らしい研究は父親に名声を与えている。ヴィクトリア時代の医学界については、Lawrence (1994); Peterson (1978); Digby (1994) を参照。1899年、フランスのエクス・レ・バンという町は、ある通りにエクスの鉱泉の価値を称賛したアルフレッド・ギャロッドにちなんで名をつけた。彼は、母国では同じような栄誉を与えられていなかったように思われる。
- ▼12 Alfred Garrod (1848).
- ▼13 この箇所、および引用文以降は、1863年第二版pp. 98, 316-17より。痛風における酒の役割についてのギャロッドの確信は、広く受け入れられていた。「〈酒〉は、この疾病の病因論におけるもっとも重要な要素である」——Osler (1898), p. 408。
- ▼14 Alfred Garrod (1854).
- ▼15 この本は、1876年に第3版が刊行された。ギャロッドの考え方は、版を重ねてもあまり変わらなかった。
- ▼16 Alfred Garrod (1863), p. 316.
- ▼17 同上。
- ▼18 同書、p. 317。当時の科学志向の医師らの局所化策の洞察力にとんだ説明は、Bynum (1994) が提供している。
- ▼19 Alfred Garrod (1863), p. 317.
- ▼20 同書、p. 319。
- ▼21 同上。第4章で証拠が提示された。鉛についてのギャロッドの考えは、Wedeen (1984a) 参照。
- ▼22 Alfred Garrod (1863), pp. 320-1.
- ▼23 同書、p. 321。
- ▼24 同書、p. 322。
- ▼25 同書、pp. 323-4。
- ▼26 同書、pp. 324-5。
- ▼27 同書、pp. 325-6。
- ▼28 同書、pp. 326-7。
- ▼29 同書、pp. 327-8。
- ▼30 同書、pp. 329-30。ギャロッドは、関節リウマチ rheumatoid arthritis という語を「特性の一部はリウマチと変わらないが、実質的にはこれと異なる関節の炎症性疾患を意味するために」使った。これに対し、ホメオパシー医のリチャード・エプス (Richard Epps) は、「この病気は、多くの点で急性リウマチに似ている」と指摘した——同著者 (1863), p. 145. Coffin (1850), p. 237 と比較せよ。痛風は、「リウマチの別名にしかすぎない」と述べられている。
- ▼31 Alfred Garrod (1863), pp. 330-1.
- ▼32 同書、p. 332。
- ▼33 同書、pp. 332-3。
- ▼34 同書、pp. 333-7。
- ▼35 同著者 (1876), p. 292。
- ▼36 同書、pp. 293-4。
- ▼37 同著者 (1876); 同著者 (1861)。
- ▼38 同著者 (1863), p. 251。だが、最終版までに、彼は酒についての態度を多少軟化させていた。

「酸の形成の増加、あるいはその除去障害のいずれかを招くすべての原因、および神経系を突然弱くするすべての原因は、痛風に罹りやすい素因をすでに有する患者の場合、痛風発作を引き起こすうえで強力な影響を及ぼす」と書いている——同著者（1876）, p. 248。

▼39 Bynum (1994); Brock (1993).

▼40 人間と動物における実験生物学についてのこうした問題は、Hartung (1957) が見事に扱っている。

▼41 Edward Duke Moore (1864).

▼42 同書、p. 3。ムーアのような保守的な医師については、Lawrence (1985) が上手く特徴づけている。

▼43 Edward Duke Moore (1864), p. 5.

▼44 同書。

▼45 同書、pp. 6-7。

▼46 同書、p. 11。

▼47 同書、p. 12。

▼48 同書、p. 14。

▼49 同書、p. 16。

▼50 同書、p. 15。

▼51 同書、p. 16。Warner (1986) が、1800年ころから1860年の期間が、強い下剤、特に甘汞の全盛期だったことを明らかにしている。

▼52 Edward Duke Moore (1864), p. 17.

▼53 同書、pp. 8-9。

▼54 Ebstein (1885), pp. 1-3. 大半の痛風患者は、「社会の上流層に属していた」——同書、p. 38。

▼55 同書、pp. 2-3。ジョナサン・ハッチンソン (Jonathan Hutchinson, 1828-1913) は、ロンドン・ホスピタルの外科医 (1859-83)、英国内科医師会の外科教授 (1879-83) だった。1908年に、ナイト爵を授けられた。1884年、'On the Relation of Certain Diseases of the Eyes to Gout' と題するボーマン講演を行なった。「何でもかんでも痛風にしてしまう」という非難に対する自己弁護として、彼は、「痛風体質が存在し、それが我々イギリス人に極めてよく見受けられていること、そして、それが際立って遺伝性であるということは、だれもが疑わない事実である」と断言した——同著者 (1884a), p. 1000。

▼56 Ebstein (1885), pp. 4-8——「このような不満足な理論に頼ることのできる人間がいようとは、理解しがたい」

▼57 同書、p. 8。

▼58 同書、pp. 8, 14-16。

▼59 同書、pp. 17-18。

▼60 同書、pp. 19-20, 30-1, 34-5, 38-9。

▼61 Meyers (1991), p. 115. コンラッドの痛風に関する我々の分析は、マイヤーズに大きく依拠している。彼の説明は、我々が調べた他の研究よりも信頼できるように思われる。

▼62 同書、p. 130。

▼63 情報源については、同書、pp. 132-40を参照。

▼64 同書、pp. 140-1。

▼65 同書、pp. 141-2での引用。

▼66 同書、p. 356。

▼67 同上。

▼68 Jean-Aubry, ed. (1927), ii, p. 93.

▼69 同書、p. 193。

- ▼70 同書、p. 240。
- ▼71 同上。
- ▼72 Duckworth (1889), p. 2. ダイス・ダックワース (Dyce Duckworth, 1840-1928) は、聖バーソロミュー病院の医師・院長を58年間務めた。英国王立内科医協会の検閲官、顧問、財務部長でもあった。神経学については、E. S. Clarke and L. S. Jacyna (1987) 参照。
- ▼73 Duckworth (1889), p. 3. ダックワースは、痛風は金持ちの病気——貧乏人と女性を除外するクラブ——であるという昔ながらの線引きを支持した。
- ▼74 同書、p. 6。
- ▼75 同書、p. 7。
- ▼76 同書、pp. 10-12。
- ▼77 同書、p. 12。
- ▼78 Jonathan Hutchinson (1884), pp. 3, 22, 75-6. ハッチンソン理解に役立つ解説は、Bynum (1983) 参照。
- ▼79 Duckworth (1889), p. 12.
- ▼80 同書、pp. 12-20。
- ▼81 同書、pp. 30-2。
- ▼82 同書、pp. 52-5。
- ▼83 Fothergill (1881), p. 2. 同著者 (1879) も参照。
- ▼84 同著者 (1881), p. 4。
- ▼85 Fothergill (1883), Part ii, p. 1.
- ▼86 同書、p. 42。
- ▼87 同書、pp. 149-50。
- ▼88 同書、pp. 161-2。
- ▼89 同書、pp. 171-2。
- ▼90 Roose (1885), pp. 1-3. ロブソン・ルーズ (Robson Roose, 1848-1905) は、長年ブライトンで開業。彼の家には、貴族や政治家が頻繁に出入りし、彼は主人役として知られるようになった。
- ▼91 同書、pp. 4-5, 7, 49, 51。
- ▼92 同書、pp. 51, 52, 92-3. Liveing (1873) 参照。
- ▼93 Roose (1885), pp. 80-1, 91. Buzzard (1891) 参照。
- ▼94 Wade (1893), pp. 10, 11, 26-7, 36. ウェイドは、ヴィルヘルム・エルブ (Wilhelm Erb) を現代の権威として引用した。
- ▼95 Osler (1892), p. 408.
- ▼96 Ewart (1896), p. 8. 同著者 (1894) も参照。
- ▼97 同著者 (1896), iv——「アレタイオスが、『痛風の特徴を本当に理解しているのは、神だけである』とわたしたちに教えてくれた」。こう言われると、我々にもなぐさめになるかもしれない。今苦勞して手がけている仕事はむくわれない運命にあるのだから。——同書、p. 310。
- ▼98 同書、pp. 1-3. 体質性疾患については、Roy Porter (1996b) も参照。
- ▼99 Ewart (1896), pp. 3-4.
- ▼100 同書、pp. 25-9, 25-7, 25-9。
- ▼101 同書、p. 29。
- ▼102 同書、pp. 31-8。
- ▼103 同上。アレクサンダー・ヘイグ (Alexander Haig) は、1879年に聖バーソロミュー病院で医師資格を取得。1883年にメトロポリタン病院の医師補佐に、1912年に顧問医となる。聖バーソロミュー病院、ロイヤル・ウォータールー病院でも働いた。片頭痛を患っていたが、研究によって尿酸過多が原因だとわかった。*Diet and Food* (1902) など、食事と痛風に関して執筆した。

- ▼104 Ewart (1896), pp. 31-5.
- ▼105 同書、pp. 38-41, 202, 228。
- ▼106 同書、pp. 267, 311, 313, 315。この時点で、栄養障害という考えが、当然ながら明らかになりつつあった。Carpenter (1993) 参照。
- ▼107 Ewart (1896), p. 316.
- ▼108 同書、p. 318。
- ▼109 Haig (1908), vi. Whorton (1982), ch. viiiが、彼の経歴について論じている。
- ▼110 Haig (1908), pp. 1, 2, 4.
- ▼111 同書、p. 659。
- ▼112 同上。
- ▼113 同著者 (1903), p. 40。
- ▼114 同書、pp. 40-4。
- ▼115 Whorton (1982), p. 242.
- ▼116 同書、pp. 242-7。
- ▼117 同書、p. 250。
- ▼118 アーバスノット・レーン (Arbuthnot Lane) ののちの経歴との類似点については、Dally (1996) 参照。
- ▼119 Llewellyn (1920), p. 6. Llewellyn and Jones (1915) も参照。リチャード・ルエリン・ジョーンズ・ルエリン (Richard Llewellyn Jones Llewellyn, 1934年没) は、ウェールズ大学とユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドンで学び、1895年に医学博士号を取得。ユニヴァーシティ・カレッジ病院とダラム・カウンティ・アサイラムで働いたのち、ウェールズのアベリストウィスで開業。関節炎とリウマチ様疾患に興味を持ち、バースに移り住み、そこで専門医として開業。ロイヤル・ミネラル・ウォーター病院の医師に任命される。ルエリンは、英国王立医学協会の物理療法部門に籍を置き、鉱泉療法学・気候学部門の部長を務めた。このテーマの多作な執筆家で、主な作品は *Gout* (1920)、*Aspects of Rheumatism and Gout* (1927) など。
- ▼120 Llewellyn (1920), p. 21.
- ▼121 同書、p. 23。
- ▼122 同書、pp. 23-5。
- ▼123 同書、pp. 28-31。
- ▼124 同書、p. 36。
- ▼125 同書、p. 42。
- ▼126 同書、p. 42。
- ▼127 同書、p. 44。
- ▼128 同書、pp. 50, 52, 53, 60。
- ▼129 同書、pp. 69-70, 304。
- ▼130 同書、p. 70。
- ▼131 同書、p. 332。
- ▼132 同上。
- ▼133 同書、p. 8。痛風の全盛期は過ぎたというルエリンの感覚は、戦後のヒステリー状態の終焉に似ている。Micale (1993), pp. 496-526; 同著者 (1995) 参照。
- ▼134 同著者 (1927), pp. 6-7。
- ▼135 同上。
- ▼136 同書、pp. 8-9。
- ▼137 Ryle (1949; 1994); Dorothy Porter and Roy Porter (1988).
- ▼138 Llewellyn (1927), pp. 6-7.

- ▼139 同書、p. 10。
- ▼140 同書、p. 21。
- ▼141 同書、pp. 147-9。
- ▼142 Edel (1977).
- ▼143 同上。
- ▼144 最も信頼できる伝記作家は、Lynn (1987) である。
- ▼145 Hemingway (1963), p. 122.

第一章 ポダグラ・ルーデンス——病と語り

- ▼1 H・S・ベーハム (H. S. Beham) とこれらの作品については、Pauli (1901) 参照。図像学については、本書第一二章を参照。
- ▼2 Huizinga (1949), p. 28. Ehrmann (1968); Nardo (1991); Piaget (1972); Pensky (1993); Simons (1985); Solnit, Cohen and Neubauer, eds. (1993) も参照。
- ▼3 Jacobus (1990).
- ▼4 ハーヴァード大学、オックスフォード大学、ロンドン大学に原本のあるこの好奇心をそそる1659年の作品において、無定形の政治・医学的な要素にもかかわらず、「政治的痛風」が検討の対象となっている。
- ▼5 ジョージ三世の痛風については、Macalpine and Hunter (1969) 参照。
- ▼6 Siraisi (1990); Park (1992) 参照。
- ▼7 ニュートン以前の重力の隠喩については、Rousseau (1978b) 参照。
- ▼8 Antonioli (1976), pp. 206-12参照。
- ▼9 この情報については、オックスフォード大学ブレイズノーズ・カレッジのRichard Cooperに感謝する。
- ▼10 Bakhtin (1968).
- ▼11 同書、pp. 303-55. 'Menippus, or the Descent into Hades'の節, pp. 69-770, 386-8を特に参照。
- ▼12 この遺産については、Henry Ansgar Kelly (1993) 参照。
- ▼13 ヨハン・ヴァレンティン・アンドレーエ (Johann Valentin Andreae, 1586-1654) のペンネーム。我々は、「メニッポス風 Menippean」という語を「ルキアノス風 Lucianic」と区別して使っている。「ルキアノス風」は、シデナムが読んでいたルキアノスによって始められた伝統で、前者——「メニッポス風」——は、この明らかに大雑把なカテゴリーから影響を受けた劇的でない形態を意味する。Frye (1957) 参照。
- ▼14 本書第二章の註33から35を参照。
- ▼15 Kirk (1980).
- ▼16 Sydenham (1850), section 70参照。彼がルキアノスの作品を傍らに執筆したことは明らかだ。
- ▼17 Biedermann (1666) ——イエズス会の詩人で、カトリックの聖人と殉教者、疾病の犠牲者と「痛風を受難者」について書いた。戯れに苛まれる世界における人間の死の必然性と苦しみを題材にしたポスト・ルキアノス風の戯曲も書いた。
- ▼18 Colie (1976); Frye (1957); Kirk (1980).
- ▼19 1525年版は、遊び心のある特徴が他にないまま *In podagram concertatio... Adiectus est dialogus inter Podagram & Christophorum Ballistam* と呼ばれ、対話形式である。一方、1570年版は、*De podagrae laudibus doctorum hominum lusus, etc.* と呼ばれる。
- ▼20 McKeown, ed. (1990).
- ▼21 G. S. Rousseau and N. Rudenstine, eds. (1972).
- ▼22 Holquist (1981), p. 59.

- ▼23 特に pp. 90-135 の ‘mercury’ と ‘the judge’。マイヤー (Maier。Mayerne、Mayerus とも表記) の作品は、オックスフォード大学ボドリアン図書館にある。マイヤーの概説は、Craven (1910) と Jong (1965) を参照。
- ▼24 Maier (1654), p. 95.
- ▼25 同書、p. 96。
- ▼26 文学と医学の軼、特にポウプの *Epistle to Dr Arbuthnot* における軼は、Knoepflmacher (1970) 参照。
- ▼27 「打倒」の相乗作用を通して着想された他の作品は、Kirk (1980) 参照。
- ▼28 Melvyn and Joan New, eds (1978).
- ▼29 医学的隠喩としての戦争と疾病は、Sontag (1978) が論じている。
- ▼30 Spenser (1633), p. 105.
- ▼31 これらの初期の新聞は、Raymond (1993), pp. 14-22 参照。
- ▼32 同書における引用。
- ▼33 17世紀中盤の医術と化学における「膨張」は、Shapin and Schaffer (1985)、Shapin (1994) の諸所を参照。
- ▼34 Grierson (1912), i, p. 51.
- ▼35 Bald (1970); Carey (1981); Walton (1927).
- ▼36 D. C. Allen (1943).
- ▼37 Wednesday, 13 August 1645.
- ▼38 ヒステリーの隠喩の位置付けについては、G. S. Rousseau, Gilman, King, Porter, Rousseau and Showalter (1993) における G. S. Rousseau を参照。
- ▼39 Ong (1982).
- ▼40 この問題は、文化史の認識論的位置付けについて大きな疑問をもたらした。Burke (1992); Darnton (1984) 参照。
- ▼41 Lovejoy (1948).
- ▼42 Raymond, ed. (1993), p. 6.
- ▼43 ハーヴァード大学ホートン図書館に原本がある。
- ▼44 Witty (1677); 拡大版 (London, 1685)。
- ▼45 *Poems on Affairs of State*, I, p. 292.
- ▼46 ハーヴァード大学ホートン図書館に原本がある。
- ▼47 マントンについては、C. Hill (1975) 参照。
- ▼48 [Anon.] (1736). 以下の節は、この版より。
- ▼49 [Anon.] (1764).
- ▼50 ブラウンソード (Brownsword) は本名で、彼の詩は正真正銘のメニッポス風で遊び心があり、掲載する価値がある。
- ▼51 Foxon は、これを Allen の 1764 年の作品としている。
- ▼52 D’Eschery (1760).
- ▼53 「発作」を作詩の主題としたフェントン (Fenton) の詩など。最初に印刷されたのは、*Oxford and Cambridge Miscellany Poems* においてで、フェントンが編集したが、彼の作品とはされなかった。
- ▼54 D. Bond, ed. (1965), ii, p. 442, by ‘Mr. Spector’ (Steele), 7 December 1711.
- ▼55 Wagner, ed. (1989), p. 36.
- ▼56 Neale (1981) 参照。活字文化については、Brewer and Porter (1993) 参照。
- ▼57 Strachey (1938), vii, p. 314.
- ▼58 Stevens (1758). *Monthly Review 10* (August 1758), pp. 145-50 において告発され、それが、

M・Dの‘A Treatise on the Medicinal Qualities of Bath-Waters. . .’, *Monthly Review* 10 (September 1758), pp. 371-9での論争を煽った。

▼59 Charles Martin (1759), p. 145.

▼60 我々は、すべての点に関して例を提供しようとするのではない。隠喩と言語的多様性の下生えについて調査を試みようとしているのである。我々が述べたように、証拠を提供しようとするならばもう一冊本を書く必要がある。問題は、言語の型における特異性が著者によって異なることで、我々の仕事は、与えられた紙幅の中でこれらの相違点の実例を列挙することではなく、そのさまざまなタイプの見取り図を描くことだと考える。P. Rogers (1981) も参照。

▼61 Norton, ed. (1956), i, pp. 160, 352ff.

▼62 同書。

▼63 Sedgwick (1985); Rousseau and Porter, eds. (1987).

▼64 John Dryden のHastings poem (1649), I, p. 81およびWinn (1992), pp. 81-2にある、「痛風の」ドライデンと老いたドライデンによるオールダムについて書かれた詩の議論を参照。彼は、ホモソーシャル（男同士の絆）によるストレスについても論じている。

▼65 Ricks, ed. (1987), iii, pp. 57, 181. テニソンにおける痛風の隠喩については、同著者ii, pp. 115-16の‘Amphion’におけるTennyson’s ‘gouty oak’と‘Lucretius’, ii, p. 715における年老いてからのその使用についても参照。

▼66 Rowley (1770); 同著者 (1792)。引用は、p. 415にある。ローリーは、アイルランド人の両親のもと、ロンドンで生まれた。ウィリアム・ハンターへの攻撃がキャリアの妨げとなり、自分が望んだ完成域にまで達せずに終わった。

▼67 *Encycropaedia Britannica* (1797), xi, p. 213. Burney (1796), pp. 325, 940; Edward A. and Lilian D. Bloom, eds. (1978), vii, 231 も参照。

▼68 この点についての一般的な見解は、T. Dawson (1771) 参照。

▼69 医学作品におけるその使用については、Wynter (1725) 参照。

▼70 King and Ryskamp (1979-84), iii, p. 363.

▼71 Massachusetts Historical Society (1969), iii, p. 369; ‘In coffin Thomas Aston, 24 June 1800’.

▼72 *London Magazine* (1755). ‘Dissertation on the Gout’におけるドレイクの隠喩には、贅沢な暮らしと不節制による「関節炎の専制国家 arthritic tyranny」、その長引く死に際、患者を「啄み責め苛む」ハゲワシにしばしばなぞらえられたプロメテウスの鳥のような比喩が含まれる。

▼73 Cornford (1993), p. 11.

▼74 Reynolds (1903), pp. 32-3.

▼75 McGovern (1992), pp. 72-5による記述。

▼76 この系統の夫婦の慰めの視覚表象については、本書第一二章を参照。

▼77 Reynolds (1903) など。

▼78 医学および薬草のイメージ——キャベツの心を持った‘colwert’とパップという膏薬に似た治療薬——は、フィンチの詩（‘Spleen’）で広く見られる。

▼79 フィンチ夫妻は共に、食事と運動はもとより医学に明るく、痛風が不節制を好み、貧困からは逃れるという有力な説を知っていた。だが、McGovern (1992) が指摘するように (p. 237)、こうした考えをFuller (1704) とPalmer (1696, 1984) と結びつける理由はない。こうした考え方は、フィンチが生きた社会では広く知られていた。

▼80 W. S. Lewis, ed. (1937-83), xiii-xiv, p. 143 to Thomas Gray, 19 November 1765.

▼81 Toybee and Whibley (1935), p. 111.

▼82 同書、p. 1148: 17 September 1770。

▼83 W. S. Lewis, ed. (1937-83), i, p. 234.

▼84 *London Magazine* (December 1734), p. 660掲載の詩。

- ▼85 Doren (1938); Ronald W. Clark (1983); Fleming (1972) 参照。
- ▼86 Ronald W. Clark (1983), p. 368.
- ▼87 Nugent (1898), p. 225.
- ▼88 Norton (1956), iii, p. 83.
- ▼89 F. E. Hutchinson (1941), p. 195.
- ▼90 この理由から、批評家・社会評論家のジョゼフ・アディソンは、*Spectator* for 30 July 1714に、「ハモンド医師は、痛風を患った際、結石を患っていないことに感謝し、結石を患った際には、同時に二つの病気に罹らなかったことに感謝したと振り返った」と記録している。D. Bond, ed. (1965), v, p. 564参照。
- ▼91 Pye (1757), i, p. 18.
- ▼92 William Stevenson (1779).
- ▼93 Butt et. al. (1939-69), 3 Ep. 1. 130. 25.
- ▼94 同書、3 Ep. 1. 251. 37。
- ▼95 「飛散性痛風」は、Rowley (1792) を参照。スレール夫人については、Balderston, ed. (1951), ii, p. 868参照。
- ▼96 W. S. Lewis, ed. (1937-83), xxxiii, p. 428.
- ▼97 Anderson, ed. (1972), p. 127.
- ▼98 D. Bond, ed. (1965), v, p. 42: no. 597, 22 September 1714.
- ▼99 *Critical Review* (1758).
- ▼100 同書 (1771)。
- ▼101 Zedler (1732-50), col. 1710, ラテン語の詩 'podagra'。
- ▼102 Stukeley (1734), p. 158.
- ▼103 Balderston (1942), ii, pp. 866, 868: 23 January 1794.
- ▼104 Derry (1982), p. 326, n. 7.
- ▼105 D. Bond, ed. (1965), ii, p. 105: by Addison, 29 March 1711.
- ▼106 同書、i, pp. 206-7: no. 48, 18 April 1711.
- ▼107 その過程は、Berg (1974), p. 227が記述。「複数の存在における痛み」は、本書第一〇章を参照。
- ▼108 Arbuthnot (1731), p. 34.
- ▼109 Macalpine and Hunter (1969), pp. 221-2.
- ▼110 ハーヴァード大学カウントゥェイ医学図書館のR. Adairの痛風に関する原稿、およびJames M. Adair (1786) を参照。
- ▼111 グレイの「敵の女性」としての痛風については本書p. 371を参照。
- ▼112 素晴らしい例は、Norton (1956), iii, pp. 27-8を参照。ギボンの「敵」は、「戦争を起こそう」としているにもかかわらず (p. 83)、誘惑的にも「身勝手に移り気」(p. 53) にもなりえた。
- ▼113 同書、ii, p. 411。ギボンが知っている、スイスの痛風持ちはティソ (Tissot) だけだった。
- ▼114 Cumberland (1807), i, p. 23.
- ▼115 Baring-Gould, ed. (1967), ii, p. 478.
- ▼116 Zeldin (1993) 参照。ヘリックについては、L. C. Martin, ed. (1963), p. 98と p. 207を参照。
- ▼117 Defoe (1965).
- ▼118 Phelps (1685).
- ▼119 *London Magazine* (1754), p. 603.
- ▼120 父親の話は、Marshall (1770), pp. 21-3参照。我々の調査では、ル・フェーブルについて、何ら伝記的な情報は得られなかった。
- ▼121 マイアーズについては、同書、pp. 41-2を、「痛風の女子修道院」と化した女子修道会について

ては pp. 63-4 を参照。

▼122 同書、p. 21。

▼123 Eland (1931), ii, p. 226.

▼124 [Anon.] (1770). *Critical Review* (1770) の興味深い批評を参照。

▼125 キダーミンスターのジョンストンは、神経系に関する著作で尊敬されていた。30年後にマーシャルは、自伝的な回想録ではなく歴史小説を書いている。*Edmund and Elenora: or memoirs of the Houses of Summerfield and Gretten. . . in two volumes* (London, 1797)。これはフランス語に翻訳された。

▼126 [Anon.] (1770), p. 56.

▼127 W. S. Lewis, ed. (1937-83), xxxiii, p. 550: 22 December 1786. 「痛風書簡」というサブジャンルは空想的ではなく、30年程前からひとそろえの書簡として存在していた。ルイス医師へのブランブルの書簡がその例だが、こうした書簡は、痛風と肺病などの主な病を語るためのものだった。

▼128 同書、ii, p. 286: 30 December 1781。

▼129 Grierson (1933), pp. 394-5.

▼130 Green (1965), p. 682.

▼131 Mallam (1993), p. 1188.

第一二章 痛風——視覚遺産

▼1 画像についての我々の解釈は、Panofsky (1974); Culler (1981); Baxandall (1985) から情報を得た。Grego (1880) にも依拠。

▼2 Nardo (1991) 参照。

▼3 ルネサンス期の寓意画集は、Siraisi (1990); Panofsky (1974) 参照。

▼4 ‘The Gout’ と題するこの作品には、‘by Davison of Alnwick’ という署名があり、the Print Collection of the Huntington Library のカタログには収められていない。

▼5 ジョーラトの版画についての議論は、本書 p. 399 を参照。

▼6 最初に登場したのは、1799年5月14日で、‘The Comforts of Bath, 1798 aquatint’ と呼ばれた。Paulson (1972), p. 111 が論じている。Wagner (1985), p. 175 も参照。

▼7 19世紀初頭の数十年に、イギリスとアメリカで挿絵入り版が登場したが、現存しているものはあまりない。本書で論じる痛風からの後ずさりの着色版画は、米国マサチューセッツ州の the American Antiquarian Society にある。

▼8 1745年にパリでジョーラトが描いた Lépicié, ‘La Vieillesse’。

▼9 Lionel Kelly, ed. (1987) 参照。女性の反応は、数少なくそっけないもので、スモレットの喜劇的ジャンルあるいは彼の小説の形態については言及しているが、ブランブルの道徳性や個性については触れられていない。

▼10 ローランドソン、ギルレイ、クルックシャンク全員が貢献した。

▼11 William Hayley の *The Triumphs of Temper* の図版3 (Newburyport, Mass., 1794) として存在する。

▼12 Wendorf (1990) 参照。

▼13 Sotherby’s Catalogue, 8 July 1969.

▼14 サン・マリノのハンティントン図書館のご厚意により転載。

▼15 Kilbansky et. al. (1964) 参照。

▼16 Wuttke, ed. (1994) と Glock and Meidinger-Geise, eds. (1970) を参照。

▼17 Benedek (1983); Eckert and Imhoff (1971); Reicke (1930).

▼18 現在では珍しい作品である Atkins (1694) は、Wellcome Insstitute for the History of

Medicineにある。

- ▼19 Vol. i, 693. 彼の患者のリストは知られていないし、アトキンズの論文は見つかっていない。
- ▼20 カウントウェイ図書館に、*Bildersammlung aus der Geschichte der Medizin*と題して作者不明、日付不明で存在する。
- ▼21 Edmund Freeman, *Opposite of the North-Door of the State House*が、印刷・販売した。Boston: Edmund Freeman, 1788. ホートン図書館のこの版は、独特のように思われる。同図書館で‘Emerigon’作としてカタログに入れられている。1712年生まれとされているが、没年は不明。我々は、この真偽を決定できておらず、彼についての情報は他に得ていない。
- ▼22 ジョン・スキヤット医師の痛風患者が、それらをイギリスで購入した。‘Histories of Gouty, Bilious, and Nervous Cases. . . related by Patients Themselves to John Scat, M. D.’ *Critical Review* (October 1780), pp. 318-19を参照。
- ▼23 ヒルの植民地貿易は、A. Camlinが*A Satisfactory Refutation of Sir Hypo Bardana’s ‘Circumstances’* (London, 1775) で諷刺している。
- ▼24 Linnaeus (1772); Andrew Freake (1806) を John Freke (1748) と混同してはならない。ストロベリー絶賛の例は、Evan Jones to Winthrop Sargent, 7 April 1804; Massachusetts Historical Society (1969), iii, p. 368参照。
- ▼25 Dolaeus (1732). ステューヴンズは、1705年に痛風の将来についても記述している。
- ▼26 D. Bond, ed. (1965), ii, p. 265: entry for 13 October 1711.
- ▼27 Nicolson and Rousseau (1968), pp. 37-40.
- ▼28 W. S. Lewis, ed. (1937-83), xxxiii, p. 534: 4 November 1786.
- ▼29 同書。
- ▼30 ‘An Abstract of a Letter of Mr Anthony Leeuwenhoek Fellow of the R. Society; . . . the Chalk Stones of the Gout’, *Philosophical Transactions*, p. 15, no. 168 (23 February 1685), pp. 891-2.
- ▼31 当時は稀だったが、彼は90歳近くまで生きた——Pettit (1971), letter 460, 24 August 1762.
- ▼32 同書、letter 255, 20 February 1749.
- ▼33 Goldberg (1990).
- ▼34 同書、ch. 6, ‘The Hand in Theory’, 特に pp. 311-16.
- ▼35 Pettit (1971), letter 406, 492, 7 February 1759.
- ▼36 「執筆する男性」のこうした理想と肖像画は、Wendorf (1989) 参照。
- ▼37 Parker (1978), pp. 191-2の論評によれば、「それは、垂直から水平への可動部のある長椅子の一種で、長さ7フィート、幅2.5フィートで、馬の毛のマットレスが敷いてあった。王は、関節炎に罹患した関節を圧迫しないよう、ゆったりとした服装で、それに座り、食事をし、眠った」。
- ▼38 W. S. Lewis, ed. (1937-83), xxxiii, p. 525: 不運な矛先は、ウォルポールの従妹アン・シーモア・コンウェイと結婚した国会議員ジョン・ハリス (1767年没) だった。ルイスの記録によれば、ハリスは重い痛風を患い、「結婚当時、車椅子に乗っていた。ウォルポールは、夫妻がキスしたい衝動に駆られると、ハリスとチャールヴィル夫人 (同じく痛風患者) の車椅子を移動させるために、議会の馬丁を呼ばなければならなかったと、ウォルポールは主張している」。
- ▼39 Norton, ed. (1956), iii, pp. 167-8, 191, 197.
- ▼40 Rowlandsonの‘Lieut. Bowling pleading the cause of young Rory to his Grandfather’ R. Ackermann’s Repository of Arts, 12 May 1800: London.
- ▼41 *Roderick Random* (1748), ch. 3; スモレットの言葉。
- ▼42 同書。
- ▼43 Joyce (1946), pp. 263, 282, 710; Lyons (1973).
- ▼44 Toybee and Whibley (1935), iii, p. 788: December 1762.
- ▼45 「車輪」の隠喩は、Roy Porter (1986) 参照。

- ▼46 De Beer (1955), iii, p. 502.
- ▼47 Latham and Matthews, eds. (1970-83), ix, p. 215: entry for 27 May 1668.
- ▼48 同書、p. 213: entry for 25 May 1668.
- ▼49 W. H. Dawson (1938), pp. 438-9.
- ▼50 図版26参照。
- ▼51 ‘Hebert’s Air-Pump Vapor Bath’のBenjamin Jonesの版画は、ニューヨーク、フィラデルフィア、ワシントンで1802年に出版された書籍のさまざまな版で見られた。副題は、‘An Efficacious Remedy in Gout-Rheumatism Contractions and Enlargements’。
- ▼52 図版26-7参照。
- ▼53 Peter Maverickの版画は、ニューヨークで出版された1813年版の*The Life and Opinions of Tristram Shandy*: W. Durrell and Co. で見られる。それ以降は、スターンの小説のアメリカ大衆版の口絵に使われるようになった。
- ▼54 視覚的諷刺と*Humphry Clinker*は、Robert E. Moore (1948) 参照。ヘッドが金のステッキの図像は、Macmichael (1923) 参照。
- ▼55 Norton, ed. (1956), iii, p. 92. 「スイス人の」発作は異なるものだった。
- ▼56 鮮明なエピソードは、Strachey and Fulford (1938), iv, p. 33を参照。
- ▼57 諷刺画は、Hill (1958a and b) とRousseau (1978a) を参照。
- ▼58 印刷、W. Humphry, 17 March 1783。
- ▼59 「愛の殿堂 the Temple of Love」は、Porter (1989a) 参照。グレアムが、彼の「愛の殿堂」で痛風患者を回復させられると言ったかはわからないが、痛風患者が彼に問い合わせたのは間違いない。
- ▼60 Paulson (1972)。
- ▼61 Countway Libraryのこの着色諷刺画(1780-1810ころ)は、タイトル以外の識別情報はない。
- ▼62 コールの唯一のただし書きは、全員が「水しか飲まない」のだから予防できるかもしれない、だった——W. S. Lewis, ed. (1837-83), pp. 2, 53, Cole to Walpole, 28 August 1777。
- ▼63 この着色諷刺画は、Countway Library of Medicine, Boston, Massachusettsに断片しか残っていないシリーズ物の一部だったのかもしれない。
- ▼64 この着色諷刺画は、本節で論じられた他の作品と同じシリーズの一部だったのかもしれないが、その主張を立証する証拠を我々は見つけるに至っていない。
- ▼65 二次文献は、このテーマを認識しているが、それを発展させているのは稀だ。
- ▼66 これは作者不明の着色諷刺画で、画稿E. Y. Esq.、彫版G. Hunt、印刷Thom MacLean, 26 Haymarket, London。
- ▼67 この本は偽造だが、1820年代まで、このような数々の本が英語で出版されていた。
- ▼68 発行W. Dickinson, Engraver and Bookseller, 158 New Bond Street、画稿Henry William Bunbury (1750-1811)。
- ▼69 この発展の社会史は、Ritvo (1987) 参照。
- ▼70 我々が論じた人物の一部——特に、18世紀のチェーン——の試みにもかかわらず、痛風患者の座りがちの状態のジレンマについて医学理論は充分、考察してこなかった。これらの諷刺画が示しているように、視覚遺産のほうが座りがちの人の窮状と不節制を巧みに引き出すことができた。
- ▼71 Bunbury (1787)。
- ▼72 Countway Libraryは、この版画を1799年作としている。
- ▼73 1715年のこの作品の著者は不明。
- ▼74 Wedeen (1981); Thackeray (1886) 参照。
- ▼75 日付はないが、おそらく1810年ころの‘A Cure for the Gout’。
- ▼76 Buzaglo (1778), p. 56. ブーゼグロについては、Roth (1938) 参照。

▼77 日付はないが、1810-20年ころ。

▼78 対比については、Gilman (1993); Panofsky (1974); Benedek and Rodnan (1963b) によって研究されたヒステリーの視覚遺産を参照。

エピローグ

▼1 Kutchins and Kirk (1997) などを参照。

▼2 Payer (1992).

▼3 Rousseau (1991b) における議論を参照。

▼4 Sontag (1988); 同著者 (1979)。

参考文献一覽

- John Abernethy. 1809. *Surgical Observations on the Constitutional Origin and Treatment of Local Diseases and on Aneurisms*. London: Longman, Hurst, Rees and Orme.
- R. D. Abbott, *et al.* 1988. 'Gout and Coronary Heart Disease: the Framingham Study'. *Journal of Clinical Epidemiology*. xxxi, 237-42.
- Amal Mohamed Abdullah Abou-Aly. 1992. 'The Medical Writings of Rufus of Ephesus'. Ph. D. thesis, University of London.
- E. H. Ackerknecht. 1973. *Therapeutics from the Primitives to the 20th Century. With an Appendix: The History of Dietetics*. New York: Hafner.
- James Makitrick Adair. 1786. *Essays on Fashionable Diseases*. Bath: R. Cruttwell.
- R. Adams. 1857. *Illustrations of the Effects of Rheumatic Gout or Chronic Rheumatic Arthritis*. London: John Churchill and Sons.
- Alison Adburgham. 1983. *Silver Fork Society: Fashionable Life and Literature from 1814 to 1840*. London: Constable.
- John Aikin, M. D. 1780. 'Some Observations on the Origin, Progress, and Method of Treating the Atrabillious Temperament and Gout'. *Monthly Review*. July: 60-2.
- A. Ainger, ed. 1888. *The Letters of Charles Lamb*. London: Macmillan.
- Alexander of Tralles. 1933-7. *Oeuvres Médicales*, 4 vols. Paris: Geuthner.
- D. C. Allen. 1943. 'John Donne's Knowledge of Renaissance Medicine'. *Journal of English and Germanic Philology*, 422-42.
- Percy S. Allen and H. M. Allen, eds. 1906-47. *Opus epistolarum Des. Erasmi Roterodami*, 11 vols. Oxford: Clarendon Press.
- Manuel Fernandez Alvarez. 1975. *Charles V: Elected Emperor and Hereditary Ruler*. London: Thames and Hudson.
- Hugh Amory, ed. 1981. *Bute Broadides in the Houghton Library, Harvard University*. New York: Research Publications.
- Frank J. Anderson. 1977. *An Illustrated History of the Herbals*. New York: Columbia University Press.
- W. E. K. Anderson, ed. 1972. *The Journal of Sir Walter Scott*. Oxford: Clarendon Press.
- Gabriel Andral. 1823-27. *Clinique Médicale*. Paris: Gabon.
- Gabriel Andral. 1829-31. *A Treatise on Pathological Anatomy*. Trans. R. Townsend & W. West. Dublin: Hodges and Smith.
- Gabriel Andral. 1845. *Essai d'Hématologie Pathologique*. Paris: Fortin, Masson.
- John Andree. 1778, 2nd edn.; 1790. *Considerations on Bilious Diseases. . . of the Liver and the Gall Bladder*. Hertford: printed for the author; London: J. Murray.
- Stanislav Andreski. 1990. *Syphilis, Puritanism and Witchcraft: A Historical Explanation in Light of*

- Medicine and Psychoanalysis*. New York: St. Martin's Press.
- C. B. Andrews, ed. 1954. *The Torrington Diaries*, 4 vols. London: Eyre & Spottiswoode.
- [Anon.]. 1659. *Podagra politica seu tractatus podagricus*. . . . Nuremburg: Endter.
- [Anon.]. 1670. *A Wipe for Iter-Boreale Wilde. Or, An Infallible Cure for the Gout*. London.
- [Anon.]. 1682. *Carolina; or a Description of the Present State of that Country*. London.
- [Anon.]. 1710. *Solvere membra solet Bacchus solet & Venus ipsa, solvere, & ex illis mata Podagra solet*. n. p.: n. p.
- [Anon.]. 1719. *A New System of the Gout and Rheumatism*. London.
- [Anon.]. 1725. *The Secret Patient's Diary: Also the Gout and Weakness Diaries. Being each a Practical Journal or Scheme*. London: s. n.
- [Anon.]. 1726. *An Infallible Cure for the Gout*. Dublin: s. n.
- [Anon.]. 1731. *A Treatise of the Gout, by a Licentiate Practitioner in Physick*. London: A. Millar.
- [Anon.]. 1736. *An Infallible Cure for the Gout*. London: n. p.
- [Anon.]. 1760. *A Treatise on the Gout*. London: R. Griffiths.
- [Anon.]. 1764. *Satirical Trifles: Consisting of An Ode, written on the first Attack of the Gout*. London: printed for Fletcher [occasionally attributed to Bennet Allen, 1737-82].
- [Anon.]. 1770. *A Candid and Impartial State of The Evidence of a Very Great Probability, That There is Discovered by Monsieur Le Fevre. . . a Specific for the Gout*. Canterbury: Simmons & Kirkby.
- [Anon.]. 1771. *Reflections on the Gout With Observations on Some Parts of Dr. Cadogan's Pamphlet, and Mr. Marshall's Evidence in Favor of Dr. Le Fevre. In a Letter to the Right Hon. Sir William De Grey*. London: William Owen.
- [Anon.]. 1772. *An Essay on the Bath Waters*. . . London: Lowndes.
- [Anon.]. 1778. *Structures on the Present Practice of Physick. . . a Count of the Nature and Origen of Gout*. London.
- [Anon.]. 1788. *A Caribbee Medicine for the Gout, Rheumatism And various other Disorders. Communicated to the Count de Noziers. By the King's Attoumey at Martinicio. Translated from the French*. Boston: Edmund Freeman.
- [Anon.]. 1959. 'Bibliographical Notes on "The Honour of the Gout" (1699), reprinted by Benjamin Franklin'. In *Annual Report of the Library Company of Philadelphia*. 34-5.
- [Anon.]. 1962. 'Ingenuity of the Gout Stools'. *The Times*. 14 July.
- [Anon.]. 1967. 'Genetics of Hyperuricemia and Achievement'. *Journal of the American Medical Association*. ccii, 913-14.
- F. E. Anstie. 1871. *Neuralgia & the Diseases that Resemble It*. London: Macmillan.
- R. Antonioli. 1976. *Rabelais et la médecine*. Geneva: Dvos.
- Thierry Appelboom, ed. 1987. *Art, History and Antiquity of Rheumatic Diseases* Brussels: Elsevier.
- T. Appleboom and J. C. Bennett. 1986. 'Gout of the Rich and Famous'. *Journal of Rheumatology*. xiii, 618-22.
- Agnes Arber. 1938. *Herbals*. Cambridge: Cambridge University Press.
- アグネス・アーバー『近代植物学の起源』月川和雄訳、八坂書房、1990年
- John Arbuthnot, MD. 1731. *An Essay. Concerning the Nature of Ailments, and the Choice of them, According to the Different Constitutions of Human Bodies. In Which the Different Effects, Advantages and Disadvantages of Animal and Vegetable Diet are Explain'd*. Dublin: n. p.
- J. Archer. 1671. *Every Man His Own Doctor*. London: for the author.
- Areteaus the Cappadocian. 1856. *The Extant Works*. Ed. and trans. Francis Adams. London:

- Sydenham Society.
- Philippe Ariès. 1974, 1976. *Western Attitudes Towards Death: From the Middle Ages to the Present*. Baltimore: Johns Hopkins University Press.
- フィリップ・アリエス『死と歴史——西欧中世から現代へ』伊藤晃・成瀬駒男訳、みすず書房、2006年
- Philippe Ariès. 1981. *The Hour of Our Death*. Trans. H. Weaver. London: Allen Lane.
- フィリップ・アリエス『死を前にした人間』成瀬駒男訳、みすず書房、1990年
- George Arnaud de Ronsil. 1750. *A Dissertation on Hermaphrodites*. London.
- Kate Arnold-Forster and Nigel Tallis, comps. 1989. *The Bruising Apothecary: Images of Pharmacy and Medicine in Caricature*. London: Pharmaceutical Press.
- Bernard Aschner, ed. 1975-7. *Paracelsus: Sämtliche Werke*, 4 vols. Leipzig: Zentralantiquariat der Deutschen Demokratischen Republik.
- R. B. Asprey. 1986. *Frederick the Great: The Magnificent Enigma*. London: Ticknor & Fields.
- Herbert M. Atherton. 1974. *Political Prints in the Age of Hogarth: A Study of the Ideographic Representation of Politics*. Oxford: Clarendon Press.
- Herbert M. Atherton. 1982. 'The British Defend their Constitution in Political Cartoons and Literature'. *Studies in Eighteenth Century Culture*. xi, 3-31.
- William Arkins. 1694. *A Discourse Shewing the Nature of the Gout*. London: for T. Fabian.
- John Aubrey. 1972. *Aubrey's Brief Lives*. Ed. Oliver Lawson Dick. Harmondsworth: Penguin.
- ジョン・オーブリー『名士小伝』橋口稔・小池銈訳、富山房、1979年
- John Aubrey. 1932. 'Minutes of the Life of Mr. John Milton'. In Helen Darbishire, ed. *The Early Lives of John Milton*. London: Constable & Co.
- Barbara A. Babcock, ed. 1978. *The Reversible World: Symbolic Inversion in Art and Society*. Ithaca, NY: Cornell University Press.
- バーバラ・A・バブコック編『さかさまの世界——芸術と社会における象徴的逆転』岩崎宗治・井上兼行訳、岩波書店、2000年
- Giorgio Baglivi, *De Praxi Medica*. 1696. Romae: Typis D. A. Herculis. Translated as *The Practice of Physick*. 1704. London: Alexander Bell & Others.
- Miriam Bailin. 1994. *The Sickroom in Victorian Fiction: The Art of Being Ill*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Matthew Baillie. 1797; 1st edn. , 1793. *Morbid Anatomy*, 2nd edn. London: J. Johnson and G. Nicol.
- Guillaume de Baillou. 1642. *Liber de rheumatismo et pleuritide dorsali*. Paris: J. Quesnel. Trans. C. C. Barnard. 1940. *British Journal of Rheumatism*. ii, 141-62.
- Guillaume de Baillou. 1643. *Opuscula medica, de arthritide de calculo de urinarum hypostasi*. Ed. Jacobum Thévert. Paris: J. Quesnel.
- D. Bakan. 1971. *Disease, Pain and Sacrifice: Towards a Psychology of Suffering*. Chicago, Ill. , and Boston, Mass.: Beacon Publications.
- George Baker. 1785. 'Additional Observations Concerning the Colic of Poitou'. *Medical Transactions of London*. iii, 407-47.
- Herschel Baker. 1947. *The Dignity of Man*. Cambridge, Mass.: Harvard University Press.
- Robert Baker, Dorothy Porter and Roy Porter, eds. 1993. *The Codification of Medical Morality*, vol. 1. Dordrecht, Boston, and London: Kluwer Academic Publishers.
- Mikhail M. Bakhtin. 1968. *Rabelais and his World*. Trans. Hélène Iswolsky. Cambridge, Mass.: MIT Press.
- ミハイル・バフチン『「フランソワ・ラブレーの作品と中世・ルネサンスの民衆文化」他』杉里直人

- 訳 (ミハイル・バフチン全著作 第7巻)、水声社、2007年
- R. C. Bald. 1970. *John Donne: A Life*. Oxford: Oxford University Press.
- Katharine C. Balderston, ed. 1951. *Thraliana: The Diary of Mrs. Hester Lynch Thrale 1776-1809*, 2 vols. Oxford: Oxford University Press.
- George William Balfour. 1894. *The Senile Heart*. London: Black.
- M. Balint. 1957. *The Doctor, his Patient, and the Illness*. London: Pitman.
- マイクル・バリント 『実地医家の心理療法』池見西次郎ほか訳、診断と治療社、1967年
- Christophorus Ballista. 1525?, 1st edn.; 1570. *In podagram concertatio. . . Adiectus est dialogus inter Podagram & Christophorum Ballistam*. n. p: n. p.
- Christophorus Ballista. 1577. *The Overthrow of the Gout*. Trans. B. G. [Barnaby Googe?]. London: Abraham Veale.
- J. B. Bamborough. 1952. *The Little World of Man*. London: Longman, Green.
- A. Barbeau, ed. 1904. *Life and Letters at Bath in the Eighteenth Century*. Ed. A. Dobson. London: Heinemann.
- Andrew Whyte Barclay. 1857. *Manual of Medical Diagnosis*. London: Churchill.
- William S. Baring-Gould, ed. 1967. *The Annotated Sherlock Holmes*, vol. ii. New York: Clarkson N. Potter.
- ベアリング - グールド解説と注 『詳注版シャーロック・ホームズ全集』小池滋監訳、ちくま文庫、1997-1998年
- L. Barkan. 1975. *Nature's Work of Art: The Human Body as Image of the World*. New Haven, Conn.: Yale University Press.
- F. J. Barker-Benfield. 1992. *The Culture of Sensibility: Sex and Society in Eighteenth Century Britain*. Chicago: University of Chicago Press.
- Phillip Barrough. 1583; 1590, 2nd edn.; 1596, 3rd edn. *The Method of Phisick, Containing the Causes, Signes, and Cures of Inward Diseases in Mans Bodie from the Head to the Foote*. London: Thomas Vautroullier.
- Jonathan Barry and Colin Jones, eds. 1991. *Medicine and Charity Before the Welfare State*. London and New York: Routledge.
- Benjamin H. Barton and Thomas Castle. 1877. *The British Flora Medica*. London: Chatto & Windus.
- James G. Basker. 1988. *Tobias Smollett: Critic and Journalist*. Newark, NJ: University of Delaware Press.
- Georges Bataille. 1985. *Literature and Evil*. Trans. Alistair Hamilton. London: Marion Boyars.
- ジョルジュ・バタイユ 『文学と悪』山本功訳、ちくま学芸文庫、1998年
- Donald G. Bates. 1977. 'Sydenham and the Medical Meaning of Method'. *Bulletin of the History of Medicine*. li, 324-38.
- Donald G. Bates. 1982. 'Thomas Sydenham: The Development of His Thought, 1666-1676'. Michigan: University Microfilms, Ann Arbor University.
- Michael Baxandall. 1985. *Patterns of Intention: on the Historical Explanation of Pictures*. New Haven, Conn.: Yale University Press.
- Edward Baynard. 1719, 2nd edn. *Health, a poem. Shewing how to procure, perserve, and restore it. To which is annex'd the Doctor's decade*. London: J. Bettenham.
- Alexander G. Bearn. 1993. *Archibald Garrod and the Individuality of Man*. Berkeley, Calif.: University of California Press; Oxford: Clarendon Press.
- E. M. Beck. 1970. 'The Classic — a Treatise on Gout. Alfred Baring Garrod'. *Clinical Orthopaedics*. lxxi, 3-13.

- G. W. Becker. 1808, 2nd edn. *Gicht und Rheumatismus*. . . . [Leipzig].
- G. Becker. 1978. *The Mad Genius Controversy*. Beverly Hills, Calif.: Sage.
- Thomas Beddoes. 1793. *Observations on the Nature and Cure of Calculus, Sea Scurvy, Consumption, Catarrh, and Fever: Together with Conjectures upon Several Other Subjects of Physiology and Pathology*. London: J. Murray.
- Thomas Beddoes. 1802. *Hygēia: or Essays Moral and Medical, on the Causes Affecting the Personal State of our Middling and Affluent Classes*, 3 vols. Bristol: J. Mills.
- Thomas Beddoes. 1806. *Manual of Health: or, the Invalid Conducted Safely Through the Seasons*. London: Johnson.
- Emmett G. Bedford. 1974. *A Concordance to the Poems of Alexander Pope*. Detroit, Mich.: Gale Research Company.
- Evan Bedford. 1974. 'The Story of the Gouty Heart'. *British Heart Journal*. xxxvi, 603-6.
- Isabella Mary Beeton. 1906. new edn. *The Book of Household Management*. London: Ward and Lock.
- E. S. de Beer. 1955. *The Diary of John Evelyn*. 3 vols. Oxford: Oxford University Press.
- Michael H. Begnal. 1971. *Joseph Sheridan Le Fanu*. Lewisburg, Pa: Bucknell University Press.
- L. M. Beier. 1987. *Sufferers and Healers: The Experience of Illness in Seventeenth-Century England*. London: Routledge & Kegan Paul.
- P. Beighton *et al.* 1987. 'Rheumatic Disorders in the South African Negro', pt IV: 'Gout and Hyperuricemia'. *South African Medical Journal*. li, 304-12.
- R. M. Bell. 1985. *Holy Anorexia*. London: University of Chicago Press.
- T. G. Benedek. 1962. 'Doctors and Patients in "The Ship of Fools"'. *Journal of the American Medical Association*. clxxxi, 236-42.
- Thomas G. Benedek. 1969. 'The Gout Encomium of George Fleissner, 1594'. *Bulletin of the History of Medicine*. xliii, 116-37.
- Thomas G. Benedek. 1983. 'The Gout of Desiderius Erasmus and Willibald Pirckheimer: Medical Autobiography and its Literary Reflections'. *Bulletin of the History of Medicine*. lvii, 526-44.
- Thomas G. Benedek. 1987. 'Popular Literature on Gout in the 16th and 17th Centuries'. *Journal of Rheumatology*. xiv, 186.
- Thomas G. Benedek. 1993a. 'Gout'. In Kenneth F. Kiple, ed. *The Cambridge World History of Human Disease*. Cambridge: Cambridge University Press, 763-72.
- Thomas G. Benedek. 1993b. 'Rheumatic Fever and Rheumatic Heart Disease'. In Kenneth F. Kiple, ed. *The Cambridge World History of Human Disease*. Cambridge: Cambridge University Press, 970-7.
- Thomas G. Benedek and Gerald P. Rodnan. 1963a. 'Petrarch on Medicine and the Gout'. *Bulletin of the History of Medicine*. xxxvii, 397-416.
- Thomas G. Benedek and Gerald P. Rodnan. 1963b. "'Podagra" by Gottfried Rogg: An Illustrated Encomium on the Gout'. *Journal of the History of Medicine*. xviii, 349-52.
- Thomas G. Benedek and Gerald P. Rodnan. 1982. 'A Brief History of the Rheumatic Diseases'. *Bulletin on the Rheumatic Diseases*. xxxii, 59-60.
- Christopher Bennet. 1654. *Theatri Tabidorum Vestibulum*. London: S. Thomson.
- Christopher Bennet. 1720. Trans of *Tabidorum theatrum: sive pthisios, a trophiae, et hecticae xenodochium or the Nature and Cure of Consumptions, Whether a Phthisick an Atrophy or an Hectick*. London: W. and J. Innys.
- Timotheus Bennet. 1734. *An Essay on the Gout; in Which a Method is Propos'd to Relieve the*

- Hereditary, and to Cure the Acquir'd.* London: R. Ford.
- Marmaduke Berdoe. 1772. *An Essay on the Nature and Causes of the Gout.* Bath: S. Hazard.
- J. Beresford, ed. 1978-81. *The Diary of a Country Parson: The Rev. James Woodforde, 1758-1802*, 5 vols. London: Oxford University Press.
- J. H. van den Berg. 1974. *Divided Existence and Complex Society: An Historical Approach.* Pittsburgh, Pa: Duquesne University Press.
- J・H・ヴァン・デン・ベルク 『引き裂かれた人間 引き裂く社会』 早坂泰次郎訳、勁草書房、1980年
- Torbern Olaf Bergman. 1784-91. *Physical and Chemical Essays.* Trans. Edmund Cullen. London: J. Murray.
- Torbern Olaf Bergman. 1785. *A Dissertation on Elective Attractions. Translated by the Translator of Spallanzani's Dissertations.* Trans. Thomas Beddoes. London: J. Murray.
- J. Berkenhout. 1772. *Dr. Cadogan's Dissertation on the Gout Examined and Refuted.* London: S. Bladon.
- V. Berridge and G. Edwards. 1981. *Opium and the People.* London: Allen Lane.
- Gian-Paolo Biasin. 1975. *Literary Diseases: Theme and Metaphor in the Italian Novel.* Austin, Tex.: University of Texas Press.
- Jacob Biedermann. 1666. *Ludi teatrales. . . sive opera comica. . .* Ed. Rolf Tarot. Tübingen: Niemeyer.
- Ambrose Bierce. 1911. *The Devil's Dictionary.* New York: Neale; reprinted 1967 Garden City: Doubleday.
- アンブローズ・ビアス 『筒井版悪魔の辞典 完全補注』 筒井康隆訳、講談社+ a 文庫、2009年
- A. ビアス 『新撰・新訳悪魔の辞典』 奥田俊介訳、講談社、2000年
- ビアス 『新編 悪魔の辞典』 西川正身編訳、岩波文庫、1997年
- M. W. Bird. 1957. 'Rings on their Toes. Did the Ancient Britons Suffer from Gout?'. *Practitioner*. clxxix, 312-13.
- P. J. Bishop. 1958. 'Blackmore on Consumption'. *Tubercle*. xxxix, 118-21.
- Jeremy Black. 1992. *Pitt the Elder.* Cambridge: Cambridge University Press.
- Jeremy Black and John. Gregory, eds. 1991. *Culture, Politics and Society in Britain 1660-1800.* Manchester: Manchester University Press.
- W. G. Black. 1883. *Folk Medicine: A Chapter in the History of Culture.* London: Folklore Society.
- Sir Richard Blackmore. 1695. *Prince Arthur. An Heroick Poem. In Ten Books.* London: A. & J. Churchill.
- Sir Richard Blackmore. 1697. *King Arthur. An Heroick Poem. In Twelve Books.* London: A. & J. Churchill; Tonson.
- Sir Richard Blackmore. 1700. *Paraphrase on the Book of job.* London: A. and J. Churchill.
- Sir Richard Blackmore. 1700. *A Satyr Against Wit.* London: S. Crouch.
- Sir Richard Blackmore. 1705. *Eliza. An Epick Poem. In Ten Books.* London: A. & J. Churchill.
- Sir Richard Blackmore. 1706. *Advice to the Poets.* London: A. and J. Churchill.
- Sir Richard Blackmore. 1708. *The Kit-Cats. A Poem.* London: E. Sanger and E. Curll.
- Sir Richard Blackmore. 1709. *Instructions to Vander Bank.* London: Egbert Sanger.
- Sir Richard Blackmore. 1711. *The Nature of Man. A Poem. In Three Books.* London: S. Buckley.
- Sir Richard Blackmore. 1712. *Creation. A Philosophical Poem. In Seven Books.* London: S. Buckley, J. Tonson.
- Sir Richard Blackmore. 1721a. *Just Prejudices Against the Arian Hypothesis.* London: W. Wilkins.
- Sir Richard Blackmore. 1721b. *Moderm Arians Unmasked.* London: J. Clark.

- Sir Richard Blackmore. 1721c. *A New Version of the Psalms of David*. London: J. March.
- Sir Richard Blackmore. 1722. *Redemption: a Divine Poem, in Six Books*. London: A. Bettesworth.
- Sir Richard Blackmore. 1723. *Alfred; An Epick poem. In Twelve Books*. London: James Knapton.
- Sir Richard Blackmore. 1725. *A Treatise of the Spleen and Vapours*. London: Pemberton.
- Sir Richard Blackmore. 1726. *Discourses on the Gout, a Rheumatism, and the King's Evil*. London: J. Pemberton.
- Ralph Blegborough. 1803. *Facts and Observations Respecting the Air-Pump Vapour-Bath in Gout, Rheumatism, Palsy and Other Diseases*. London: Lackington, Allen & Co.
- Edward A. Block. 1954. 'Milton's Gout'. *Bulletin of the History of Medicine*. xxviii, 201-11.
- Edward A. and Lillian D. Bloom, eds. 1978. *The Journals and Letters of Fanny Burney (Madame D's Arblay)*, vol. vii: 1812-1814. Oxford: Clarendon Press.
- Herman Boerhaave. 1715. *Boerhaave's Aphorisms: Concerning the Knowledge and Cure of Diseases*. Translated from the Latin. London: B. Cowse and W. Innys.
- Herman Boerhaave. 1735. *Elements of Chemistry*. Translated from the Dutch. London: J. & J. Pemberton.
- Francois Boissier Sauvages. 1763. *Nosologica methodica sistens morborum classes, genera et species*, 3 vols. Amstelodami: Bros de Tournes.
- F. Boissier de Sauvages. 1808. *A Methodical System of Nosology*. Trans. Eldad Lewis, Stockbridge: Cornelius Sturtevant, jun.
- Donald F. Bond, ed. 1965. *The Spectator*, 5 vols. Oxford: Clarendon Press.
- Richmond Pugh Bond. 1932. *English Burlesque Poetry, 1700-1750*. Cambridge, Massachusetts: Harvard University Press.
- Théophile Bonet. 1684. *A Guide to the Practical Physician*. London: T. Flesher.
- G. A. Bonnard, ed. 1966. *Edward Gibbon: Memoirs of my Life*. London: Nelson.
- エドワード・ギボン『ギボン自伝』中野好之訳、ちくま学芸文庫、1999年
- Andrew Boorde 1562a. *Dyetary of Health*. London: T. Colwel.
- Andrew Boorde 1562b. *The First Booke of the Introduction of Knowledge*. London: W. Copeland.
- Andrew Boorde 1587. *Breviary of Helthe for All Manner of Syckenesses and Diseases*. London: W. Middleton.
- Pierre Borel. 1676. *Historiarum et Observationum Medico-Physicarum Centuriae*. Francofurti & Lipsiae: Laur. Sigism. Cörnerum.
- Giovanni Alphonso Borelli, 1734. *De Motu Animalium*. Naples: Mosca.
- J. Boss. 1978. 'The Medical Philosophy of Francis Bacon (1562-1626)'. *Medical Hypotheses*. iv, 208-20.
- James Boswell, 1934-50. *The Life of Samuel Johnson*. 6 vols. Ed. G. B. Hill. Oxford: Clarendon Press.
- J・ボズウェル『サミュエル・ジョンソン伝』中野好之訳、みすず書房、2011年
- P.-G. Boucé, ed. 1971. *Les Romans de Smollett: étude critique*. Paris: Didier.
- P.-G. Boucé, ed. 1982. *Sexuality in Eighteenth Century Britain*. Manchester: Manchester University Press.
- Samuel Boulton. 1656. *Medicina Magica Tamen Physica: Magical, but Natural Physick*. London: T. C. for N. Brook.
- P. Bourdieu. 1984. *Distinction: A Social Critique of the Judgement of Taste*. Trans. R. Nice. London: Routledge & Kegan Paul.
- ピエール・ブルデュー『ディスタクシオン——社会的判断力批判』石井洋二郎訳、藤原書店、2020年

- Susan Bourgeois. 1986. *Nervous Juices and the Feeling Heart: The Growth of Sensibility in the Novels of Tobias Smollett*. New York: P. Lang.
- Janine Bourriau, ed. 1992. *Understanding Catastrophe*. Cambridge: Cambridge University Press.
- John Bowlby. 1990. *Charles Darwin: A Biography*. London: Hutchinson.
- Julian Boyd, ed. 1958. *The Papers of Thomas Jefferson*, vol. xi: *1 January to 6 August 1787*. Princeton, N. J.: Princeton University Press.
- Mary Boyle 1990. *Schizophrenia; A Scientific Delusion*. London: Routledge.
- Robert Boyle. 1660. *New Experiments Physico-Mechanicall*. Oxford printed by H. Hall for T. Robinson.
- Robert Boyle. 1661. *Certain Physiological Essays*. London: H. Herringman.
- Robert Boyle. 1666. *Origin of Forms and Qualities*. Oxford: R. Davies.
- ボイル『ボイル——形相と質の起源』伊東俊太郎・村上陽一郎共編、赤平清蔵訳（科学の名著、伊東俊太郎ほか編）、朝日出版社、1989年
- Robert Boyle. 1712, 5th edn. *Medicinal Experiments; Or, a Collection of Choice Remedies, for the Most Part Simple, and Easily Prepared*, London, Sam. Smith.
- Henry Bracken. 1737, 1st edn.; 1749, 6th edn. *Farriery Improved*. London: J. Shuckburgh & W. Johnston; in 2 vols, London: J. Clarke.
- Sarah Bradford. 1982. *Disraeli*. London: Weidenfeld & Nicolson.
- Peter Brain. 1986. *Galen on Bloodletting*. New York: Cambridge University Press.
- A. Breckenridge. 1966. 'Hypertension and Hyperuricemia'. *Lancet*. i, 15-18.
- M. Breitenberg, ed. 1996. *Anxious Masculinity in Early Modern England*. Cambridge: Cambridge University Press.
- John Brewer. 1976. *Party Ideology and Popular Politics at the Accession of George III*. Cambridge: Cambridge University Press.
- John Brewer. 1986. *The Common People and Politics, 1750-1790s*. Cambridge: Chadwyck Healey.
- John Brewer and Roy Porter, eds. 1993. *Consumption and the World of Goods*. London: Routledge.
- Derrick Brewerton, MD. 1992. *All About Arthritis: Past, Present, Future*. Cambridge, Mass.: Harvard University Press.
- W. Brock. 1981. 'Liebigiana: Old and New Perspectives'. *History of Science*. xix, 210-18.
- W. Brock. 1985. *From Prototyle to Proton: William Prout and the Nature of Matter, 1785-1985*. Bristol: Hilger.
- W. Brock. 1993. 'The Biochemical Tradition'. In W. F. Bynum and Roy Porter, eds. *Companion Encyclopedia of the History of Medicine*. London: Routledge, 153-68.
- Sir Benjamin Collins Brodie. 1818. *Pathological and Surgical Observations on Diseases of the Joints*. London: Longman, Hurst, Rees, Orme and Brown.
- B. C. Brodie. 1850. *Diseases of the Joints*. London: Longman, Brown, Green and Longman.
- Howard Brody. 1987. *Stories of Sickness*. New Haven, Conn.: Yale University Press.
- Howard Brody. 1992. *The Healer's Power*. New Haven, Conn., and London: Yale University Press.
- Saul Nathaniel Brody. 1974. *The Disease of the Soul: Leprosy in Medieval Literature*. Ithaca, N. Y.: Cornell University Press.
- Een Bronnenstudie. 1977. *Mijpalen uit de geschiedenis van de reumatische ziekten*. Culemborg: Princo Offset Drukkerij b. v.
- Chandler McCuskey Brooks and Paul F. Cranefield, eds. 1959. *The Historical Development of Physiological Thought*. New York: Hafner Pub. Co.
- John Brown. 1780. *The Elements of Medicine*. Edinburgh: C. Elliot.

- Joseph Brown. 1828. *Medical Essay on Fever, Inflammation, Rheumatism, Diseases of the Heart etc.* London: Longman, Rees, Orme, Brown & Green.
- P. S. Brown. 1975. 'The Vendors of Medicines Advertised in Eighteenth-Century Bath'. *Medical History*. xix, 352-69.
- P. S. Brown. 1976. 'Medicines Advertised in the Eighteenth Century Bath Newspapers'. *Medical History*, xx, 152-68.
- Theodore Brown. 1970. 'The College of Physicians and the Acceptance of Iatromechanism in England, 1665-1695'. *Bulletin of the History of Medicine*. xlv, 12-30.
- Theodore Brown. 1974. 'From Mechanism to Vitalism in Eighteenth Century English Physiology'. *Journal of the History of Biology*. vii, 179-216.
- Theodore Brown. 1987. 'Medicine in the Shadow of the *Principia*'. *Journal of the History of Ideas*. xli, 629-48.
- Janet Browne. 1990. 'Spas and Sensibilities: Darwin at Malvern'. In Roy Porter, ed. *The Medical History of Waters and Spas*. London: *Medical History*, Supplement 10, 102-13.
- Sir Thomas Browne. 1964. *Religio Medici and Other Works*. Ed. L. C. Martin. Oxford: Oxford University Press.
- サー・トマス・ブラウン『医師の信仰・壺葬論』生田省悟・宮本正秀訳、松柏社、1998年
- Robert Browning. 1937. *The Complete Poetical Works of Robert Browning*. New York: The Macmillan Company.
- William Brownrigg. 1993. *The Medical Casebook of William Brownrigg, M. D., F. R. S. (1712-1800) of the Town of Whitehaven in Cumberland*, Ed. and trans. Jean E. Ward and Joan Yell. *Medical History*. Supplement xiii.
- William Brownsword. 1739. *Laugh and Lye Down; or, a Pleasant, but Sure, Remedy for the Gout, Without Expence or Danger. . . In a Poem Serio-comic. Humbly Inscribed to Sir Hans Sloane*. London: Lawton Gulliver.
- Thomas Lauder Brunton. 1885. *Textbook of Pharmacology and Therapeutics*. London: Macmillan.
- G. Bryson. 1945. *Man and Society: The Scottish Inquiry of the Eighteenth Century*. Princeton, N. J.: Princeton University Press.
- David Buchan, ed. 1994. *Folk Tradition and Folk Medicine in Scotland. The Writings of David Rorie*. Edinburgh: Canongate Academic.
- W. Buchan. 1769. *Domestic Medicine, or a Treatise on the Prevention and Cure of Diseases by Regimen and Simple Medicines*. Edinburgh: Balfour, Auld & Smellie.
- Guillaume Budaëus. 1539. *De Curandis Articularibus Morbis Comentarius*. Paris: Regnault.
- William Bullein. 1579. *Booke of Simples*. London: Thomas Marsh.
- E. Bullman. 1789. *The Family Physician*. London: for the author.
- Henry William Bunbury. 1787. *An Academy for Grown Horsemen*. London.
- Henry Burdon. 1734. *The Fountain of Health: or a View of Nature*. London.
- Edmund Burke. 1901. *Reflections on the Revolution in France in Works*. London: Bohn's Libraries Edition.
- エドマンド・バーク『新訳フランス革命の省察——「保守主義の父」かく語りき』佐藤健志編訳、PHP文庫、2020年
- エドマンド・バーク『フランス革命についての省察』二木麻里訳、光文社古典新訳文庫、2020年
- Peter Burke. 1992. *The Fabrication of Louis XIV*. New Haven: Yale University Press.
- ピーター・バーク『ルイ14世——作られる太陽王』石井三記訳、名古屋大学出版会、2004年
- Peter Burke. and Roy Porter, eds. 1991. *Language, Self and Society: The Social History of Language*.

- Cambridge: Polity Press.
- Peter Burke. and Roy Porter, eds. 1995. *Social History of Language*, vol. iii. Cambridge: Polity Press.
- J. G. L. Burnby. 1989. *Caricatures and Comments*. Staines, Middlesex: Merrell Dow Pharmaceuticals.
- J. Compton Burnett. 1895. *Gout and its Cure*. Philadelphia: Boericke and Tafel.
- Frances Burney. 1796. *Camilla: Or A Picture of Youth*. Oxford: Oxford University Press.
- Frances Burney. 1814. *The Wanderer; Or, Female Difficulties*. Oxford: Oxford University Press.
- Frances Burney. 1904-5. *Diary and Letters of Madame d'Arblay*. 6 vols. Ed. Austin Dobson.
- J. H. Burton, ed. 1860. *The Autobiography of Alexander Carlyle*. Edinburgh: W. Blackwood.
- J. B. Bury. 1920. *The Idea of Progress: an inquiry into its origin and growth*. New York: Dover and London: Constable and Co., Ltd.
- J・B・ビュアリー『進歩の観念』高里良恭訳、創元社、1953年
- Hermann Busschof. 1676. *Two Treatises, the one Medical, of the Gout, etc*. London.
- Abraham Buzaglo. 1778, 3rd edn. *A Treatise on the Gout: Wherein the Efficacy of the Usual Treatment in That Dreadful Disorder is Demonstrated and the Facility of a Speedy and Radical Cure*. London: T. Bensley.
- Thomas Buzzard 1891. *The Simulation of Hysteria by Organic Disease*. London: J. A. Churchill.
- S. Byl. 1988. 'Rheumatism and Gout in the Corpus Hippocraticum'. *Antiquité Classique*. lvii, 89-102.
- Jerome J. Bylebyl, ed. 1978. *William Harvey and His Age: The Professional and Social Context of the Discovery of the Circulation*. Baltimore: Johns Hopkins University Press.
- W. F. Bynum. 1981. 'Cullen and the Study of Fevers in Britain 1760-1820'. In W. F. Bynum and Vivian Nutton, eds. *Theories of Fever from Antiquity to the Enlightenment*. London: *Medical History*. Supplement 1, 135-48.
- W. F. Bynum. 1983. 'Darwin and the Doctors: Evolution, Diathesis, and Germs in 19th-century Britain'. *Gesnerus*. xl. 43-53.
- W. F. Bynum. 1993. 'Nosology'. In W. F. Bynum and Roy Porter, eds. *Companion Encyclopedia of the History of Medicine*. London: Routledge, 335-56.
- W. F. Bynum. 1994. *Science and the Practice of Medicine in the Nineteenth Century*. New York: Cambridge University Press.
- W. F. Bynum. and Vivian Nutton, eds. 1981. *Theories of Fever, Antiquity to the Enlightenment*. London: *Medical History*. Supplement 1.
- W. F. Bynum. and Roy Porter, eds. 1988. *Brunonianism in Britain and Europe*. London: *Medical History*. Supplement 8.
- W. F. Bynum. and Roy Porter, eds. 1993. *Companion Encyclopedia of the History of Medicine*. London: Routledge.
- E. G. L. Bywaters. 1962. 'Gout in the Time and Person of George IV: a Case History'. *Annals of the Rheumatic Diseases*. xxi, 325-38.
- E. G. L. Bywaters. 1972. 'Gout'. *Teach-In*. v, 459-69.
- William Cadogan, MD. 1748. *An Essay upon Nursing, and the Management of Children*. London: J. Roberts.
- William Cadogan, MD. 1771, 3rd edn. *A Dissertation on the Gout and All Chronic Diseases*. London: J. Dodsley.
- Thomas Cadwalader. 1745. *An Essay on the West-India Dry-Gripes: with the Method of Preventing and Curing that Cruel Distemper. To Which is Added, an Extraordinary Case in Physick*. Philadelphia: Frankin.
- Jonathan Cadwallader. 1721. *The Physicians Outdone, or the Gout Curable*. London: Nath. Dodd.

- Giulia Calvi. 1989. *Histories of a Plague Year: The Social and the Imaginary in Baroque Florence*. Trans. Dario Biocca and Bryant T. Ragan Jr, with a Foreword by Randolph Starn. Berkeley and Los Angeles: University of California Press.
- Joseph Cam. 1722. *A Miscellaneous Essay on the Rheumatism, Gout, and Stone in which the Causes of Those Diseases are Proved to Arise from the Same Origin*. . . . London: John Clarke.
- M. L. Cameron. 1993. *Anglo-Saxon Medicine*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Charles Camic. 1983. *Experience and Enlightenment: Socialization for Cultural Change in Eighteenth-Century Scotland*. Chicago Ill.: University of Chicago Press; Edinburgh: Edinburgh University Press.
- R. Campbell. 1969; 1747, 1st edn. *The London Tradesman*. London: David & Charles.
- Georges Canguilhem. 1989. *The Normal and the Pathological*. Trans. Carolyn R. Fawcett. New York: Zone Books.
- ジョルジュ・カンギレム 『正常と病理』 滝沢武久訳、法政大学出版局、2017年
- David Cantor. 1990. 'The Contradictions of Specialization: Rheumatism and the Decline of the Spa in Inter-War Britain'. In Roy Porter, ed. *The Medical History of Waters and Spas*. London: *Medical History*, Supplement 10, 127-44.
- David Cantor. 1991. 'The Aches of Industry: Philanthropy and Rheumatism in Inter-War Britain'. In Jonathan Barry and Colin Jones, eds. *Medicine and Charity before the Welfare State*. London and New York: Routledge, 225-45.
- David Cantor. 1993a. 'Cancer'. In W. F. Bynum and Roy Porter, eds. *Companion Encyclopedia of the History of Medicine*. London: Routledge, 561-83.
- David Cantor. 1993b. 'Cortisone and the Politics of Empire: Imperialism and British Medicine, 1918-1955'. *Bulletin of the History of Medicine*. lxxvii, 463-93.
- Geronimo Cardano. 1639, 2nd edn. *Podagra Encomium*. Issued with J. Loesel the Elder, *De Podagra Tractatus*, Lugduni Batavorum: Ex Officina Joannis Maire.
- Arthur L. Caplan, et al, eds. 1981. *Concepts of Health and Disease: Interdisciplinary Perspectives*. Massachusetts: Addison-Wesley.
- Arthur L. Caplan. 1993. 'The Concepts of Health, Illness, and Disease'. In W. F. Bynum and Roy Porter, eds. *Companion Encyclopedia of the History of Medicine*. London: Routledge, 233-48.
- J. F. I. Caplin. 1870. *The Philosophy of Rheumatism, and Gout; and a New Method of Radically Curing those Distressing Maladies, Without the Use of Internal Medicine*. London: Trübner & Co., Paternoster-Row.
- Geronimo Cardano. 1639, 2nd edn. *Podagra Encomium*. Issued with J. Loesel the Elder, *De Podagra Tractatus*, Lugauni Batavorum: Ex Officina Joannis Maire.
- Girolamo Cardano. 1545. *Artis Magnae, Sive Regulis Algebraicis Liber Unus*. Nuremberg: h. Petreium Excusum.
- Girolamo Cardano. 1653. *In aphorismos Hippocratis commentaria*. Ed. Paulus Frambottus. Padua: Apud Paulum Frambottum.
- John Carey. 1981. *John Donne: Life, Mind and Art*. Oxford: Oxford University Press.
- Charles Carlton. 1992. *Going to the Wars*. London: Routledge.
- Thomas Carlyle. 1916. *Frederick the Great*. Ed. A. M. D. Hughes. Oxford: Clarendon Press.
- Mark C. Carnes and Clyde Griffen, eds. *Constructions of Masculinity in Victorian America*. Chicago: University of Chicago Press, 1993.
- K. J. Carpenter. 1986. *The History of Scurvy and Vitamin C*. Cambridge: Cambridge University Press.

- ケニス・J・カーペンター『壊血病とビタミンCの歴史——「権威主義」と「思いこみ」の科学史』
北村二郎・川上倫子訳、北海道大学出版会、1998年
- K. J. Carpenter. 1993. 'Nutritional Diseases'. In W. F. Bynum and Roy Porter, eds. *Companion Encyclopedia of the History of Medicine*. London: Routledge, 463-82.
- Vincent Carretta. 1983. *The Snarling Muse: Verbal and Visual Political Satire from Pope to Churchill*. Philadelphia: University of Pennsylvania Press.
- Vincent Carretta. 1991. *George III & Satirists from Hogarth to Byron*.
- H. B. Carter. 1988. *Sir Joseph Banks: 1743-1820*. London: British Museum, Natural History.
- William Carter. 1772. *A Free and Candid Examination of Dr. Cadogan's Dissertation on the Gout, and Chronic Diseases*. Canterbury: Simmons and Kirkby.
- Kathryn Cave, ed. 1983. *The Diary of Joseph Farington*, vol. xi. New Haven, Conn., and London: Yale University Press.
- John Caverhill. 1769. *A Treatise on the Cause and Cure of the Gout*. London: G. Scott.
- Louis Cazamian. 1973. *The Social Novel in England 1830-1850: Dickens, Disraeli, Mrs. Gaskell Kingsley*. London: Routledge and Kegan Paul.
- ルイ・カザミアン『イギリスの社会小説——1830-1850』石田憲次・白田昭訳、研究社出版、1958年
- Celsus. 1756. *Of Medicine in Eight Books*. Trans. with notes critical and explanatory by James Greive. London: D. Wilson and T. Durham.
- Mary Chamberlain. 1981. *Old Wive's Tales: Their History, Remedies and Spells*. London: Virago.
- J. E. Chamberlin and Sander L. Gilman, eds. 1985. *Degeneration: The Dark Side of Progress*. New York: Columbia University Press.
- R. W. Chapman, ed. 1984. *The Letters of Samuel Johnson*, 3 vols. Oxford: Clarendon Press.
- Walter Charleton. 1661. *Exercitationes Pathologicae*. London.
- Louis Chauvois. 1957. *William Harvey*. London: Hutchinson Medical Publications.
- John Cheshire. 1723. *A Treatise upon the Rheumatism*. London: Rivington.
- John Cheshire. 1747. *The Gouty Man's Companion, or a Dietetical and Medicinal Regimen: As Well On the Approach, as in the State, and In the Declination of the Gout: With Preventative Directions, in the Intervals of the Paroxysms*. Nottingham: G. Ayscough.
- G. Cheyne. 1720. *Observations Concerning the Nature and Method of Treating the Gout; For the Use of my Worthy Friend, Richard Tennison, Esq.: Together with an account of the Nature and Qualities of the Bath Waters*. London: G. Strahan.
- G. Cheyne 1722. *An Essay on the True Nature and Due Method of Treating the Gout*. London: G. Strahan.
- G. Cheyne. 1733; 1990. *The English Malady; or, A Treatise of Nervous Diseases*. London: G. Strahan; London: Routledge.
- G. Cheyne. 1724, 1st edn. 1734, 8th edn.; *An Essay on Health and Long Life*. London: Strahan & Leake.
- G. Cheyne. 1742. *The Natural Method of Cureing Diseases of the Body and the Disorders of the Mind*. London: G. Strahan.
- G. Cheyne. 1743. *Dr. Cheyne's Own Account of Himself and his Writings, Faithfully Extracted from his Various Works*. London: J. Wilford.
- G. Cheyne. 1770. *Rules and Observations for the Enjoyment of Health and Long Life*. Leeds: G. Wright.
- John Christie and Sally Shuttleworth, eds. 1989. *Nature Transfigured*. Manchester: Manchester University Press.

- John Willis Clark. 1904. *Endowments of the University of Cambridge*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Ronald W. Clark. 1983. *Benjamin Franklin: A Biography*. London: Weidenfeld & Nicolson.
- E. S. Clarke and L. S. Jacyna. 1987. *Nineteenth Century Origins of Neuroscientific Concepts*. Berkeley, Calif.: University of California Press.
- William M. Clarke. 1988. *The Secret Life of Wilkie Collins*. London: Alison & Busby.
- Richard Cobbold. 1865. *Geoffrey Gambado: or, A Simple Remedy for Hypochondriacism and Melancholy Splenetic Humours. By a Humouralist Physician*. London: printed by Dean.
- Rev. Thomas Oswald Cockayne, ed. 1864. *Leechdoms, Wortcunning and Starcraft of Early England*. London: Holland Press.
- Aidan Cockburn and Eve Cockburn. 1980. *Mummies, Disease, and Ancient Cultures*. Cambridge and New York: Cambridge University Press.
- A. I. Coffin. 1850. *Botanic Guide to Health, and the Natural Pathology of Disease*. Manchester: British Medico-Botanic Press.
- Thomas Cogan. 1577. *The Well of Wisedome, Conteyning Chiefe and Chosen Sayinges. . . Gathered out of the Five Bookes of the Olde Testament*. London: T. Vstroullier.
- Thomas Cogan. 1584. *The Haven of Health Made for the Comfort of Students*. London: Henrie Midleton for William Norton.
- Henry Cohen. 1961. 'The Evolution of the Concept of Disease'. In Brandon Lush, ed. *Concepts of Medicine*. Oxford: Pergamon Press, 159-69.
- I. Bernard Cohen. 1985. *Revolution in Science*. Cambridge, Massachusetts: Belknap Press of Harvard University Press.
- John Colbatch. 1695. *Novum Iumen Chirurgicum*. London: D. Brown.
- John Colbatch. 1697. *A Treatise of the Gout: Wherein both its Cause and Cure are Demonstrably Made Appear. To which are Added, Some Medicinal Observations Concerning the Cure of Fevers, & by the Means of Acids*. London: Roger Clavel.
- John Colbatch. 1700, 1st edn. *A Collection of Tracts, Chirurgical and Medical*. London: D. Brown.
- L. J. M. Coleby. 1954. 'Isaac Milner and the Jacksonian Chair of Natural Philosophy'. *Annals of Science*. 234-57.
- Rosalie L. Colie. 1976. *Paradoxia Epidemica: The Renaissance Tradition of Paradox*. Hampden, Conn.: Archon Books.
- ロザリー・L・コリー『パラドクシア・エピデミカ——ルネサンスにおけるパラドックスの伝統』高山宏訳、白水社、2011年
- Wilkie Collins. 1890; 1866, 1st edn. *Armadale*. London: Chatto & Windus.
- ウィルキー・コリンズ『アーマデイル 上・中・下』横山茂雄訳（ウィルキー・コリンズ傑作選）、臨川書店、2000-2001年
- Wilkie Collins. 1966; 1862, 1st edn. *No Name*. London: Anthony Blond, Limited.
- ウィルキー・コリンズ『ノー・ネーム 上・中・下』小池滋訳（ウィルキー・コリンズ傑作選）、臨川書店、1999年
- Wilkie Collins. 1990; 1860, 1st edn. *The Woman in White*. New York and London: Bantam Books.
- ウィルキー・コリンズ『白衣の女』中島賢二訳、岩波文庫、1996年
- ウィルキー・コリンズ『白衣の女』中西敏一訳、国書刊行会、1994年
- R. Colp. 1977. *To Be an Invalid: The Illness of Charles Darwin*. Chicago, Ill.: Chicago University Press.
- John D. Comrie, ed. 1922. *Selected Works of Thomas Sydenham MD With a Short Biography and*

- Explanatory Notes*. London: John Bale, Sons & Danielsson.
- Lawrence Conrad, Michael Neve, Vivian Nutton, Roy Porter and Andrew Wear. 1995. *The Western Medical Tradition: 800BC to AD1800*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Harold J. Cook. 1986. *The Decline of the Old Medical Regime in Stuart London*. Ithaca, NY: Cornell University Press.
- W. S. C. Copeman. 1957. 'The Gout of William Cecil — First Lord Burghley (1520-98)'. *Medical History*. i, 262-4.
- W. S. C. Copeman. 1960. *Doctors and Disease in Tudor Times*. London: William Dawson & Sons.
- W. S. C. Copeman. 1964. *A Short History of the Gout and the Rheumatic Diseases*. Berkeley, Calif.: University of California Press.
- W. S. C. Copeman, ed. 1964, 3rd edn. *Textbook of the Rheumatic Diseases*. Edinburgh and London: Livingstone.
- W. S. C. Copeman and Marianne Winder. 1969. 'The First Medical Monograph on the Gout'. *Medical History*. xiii, 288-93.
- George W. Corner and Willard E. Goodwin. 1953. 'Benjamin Franklin's Bladder Stone'. *Journal of the History of Medicine*. October: 363-77.
- F. M. Cornford. 1993. *Microcosmographia Academica: Being a Guide for the Young Academic Politician*. Cambridge, Mass.: Main Sail.
- M. Coste. 1768, 3rd edn. *Traité-Pratique de la Goutte, Ou l'on Indique les Moyens de Guérir Cette Maladie*, Paris: Herissant fils.
- Patricia B. Craddock. 1982. *Young Edward Gibbon: Gentlemen of Letters*. Baltimore, Md, and London: Johns Hopkins University Press.
- Patricia B. Craddock. 1989. *Edward Gibbon: Luminous Historian 1772-1794*. Baltimore, Md, and London: Johns Hopkins University Press.
- J. B. Craven. 1910, 1968. *Count Michael Maier: Doctor of Philosophy and of Medicine, Alchemist, Rosicrucian, Mystic, 1568-1622: Life and Writing*. Kirkwall: W. Peace; reprinted London: Dawsons.
- Thomas Crawford. 1992. *The Devolution of English Literature*. Oxford: Oxford University Press.
- John K. Crellin and Jane Philpott. 1991. *Herbal Medicine Past and Present*, 2 vols. Durham, NC: Duke University Press.
- George Crine. 1758, 3rd edn. *The Management of the Gout*. . . London: Baldwin.
- Critical Review*. 1758. 'Review of the Management of the Gout'. April: 347.
- Critical Review*. 1768. 'Remarks on the Rev. Dr. Warner's Full and Plain Account of the Gout'. September: 226-7.
- Critical Review*. 1770. 'A Pamphlet: A Candid and Impartial State of the Evidence of the very great Improbability that there is discovered by M. Le Fevre from Liege in Germany, a Specific for the Gout'. June: 479.
- Critical Review*. 1771. 'A Dissertation on the Gout, and all Chronic Diseases. . .'. May: 398.
- Critical Review*. 1771. 'Review of Cadogan's *A Dissertation on the Gout*'. May: 398.
- Critical Review*. 1771. 'An Address to Doctor Cadogan'. August: 159.
- Critical Review*. 1780. 'Histories of Gouty Biliious, and Nervous Cases. . . related by the Patients Themselves to John Scat, M. D.'. October: 318-19.
- T. Crofton Croker. 1848. *Autobiography of Mary Countess of Warwick*, vol. xxii. London: for the Percy Society.
- Maurice Croiset. 1882. *La Vie et les oeuvres de Lucien*. Paris: Hachette.
- A. C. Crombie. 1961. *Scientific Change*. London: Heinemann.

- A. W. Crosby Jr. 1976. *Epidemic and Peace 1918*. Westport, Conn., and London: Greenwood Press.
 アルフレッド・W・クロスビー 『史上最悪のインフルエンザ——忘れられたパンデミック 新装版』
 西村秀一訳、みすず書房、2009年
- Bryan Crowther. 1797. *Practical Observations on the Diseases of the Joints, Commonly called White-swellings*. London.
- Jean Cruveilhier. 1829-35, vol. 1; 1835-42, vol. 2. *Pathological Anatomy of the Human Body*, 2 vols. Paris: J. Ballière.
- John Cule. 1990. 'The Rev. John Wesley: The Naked Empiricist and Orthodox Medicine'. *Journal of the History of Medicine*. xlv, 41-63.
- William Cullen. 1769. *Synopsis Nosologiae Methodicae*. Edinburgh: s. n.
- William Cullen. 1776-84. *First Lines of the Practise of Physic*. Edinburgh: W. Creech.
- William Cullen. 1785. *Institutions of Medicine*. London: T. Cadell.
- William Cullen. 1808. *A Methodical System of Nosology*. Trans. Eldad Lewis. Stockbridge: Cornelius Sturtevant, for the translator.
- Jonathan Culler. 1981. *The Pursuit of Signs*. Ithaca, N. Y.: Cornell University Press.
- Nicholas Culpeper. 1652. *The English Physician; or An Astro-Physical Discourse of the Vulgar Herbs of this Nation*. London: P. Cole.
- Nicholas Culpeper. 1789. *Culpeper's English Physician; and Complete Herbal*. London: P. McQueen.
- Richard Cumberland. 1807. *Memoirs of Richard Cumberland*. London: Lackington, Allen & Co.
- S. L. Cummins. 1949. *Tuberculosis in History from the 17th Century to our Own Times*. London: Baillière, Tindall & Cox.
- Andrew Cunningham. 1987. 'William Harvey: The Discoverer of the Circulation of the Blood'. In Roy Porter, ed. *Man Masters Nature*. London: BBC Publications, 65-76.
- Andrew Cunningham. 1988. 'Getting the Game Right: Some Plain Words on the Identity and Invention of Science'. *Studies in History and Philosophy of Science*. xix, 365-89.
- Andrew Cunningham. 1989. 'Thomas Sydenham: Epidemics, Experiment and the "Good Old Cause"'. In Roger French and Andrew Wear, eds. *The Medical Revolution of the Seventeenth Century*. Cambridge: Cambridge University Press, 164-90.
- Peter Cunningham, ed. 1900. *The Works of Oliver Goldsmith, Illustrated*. New York: Harper and Brothers.
- Caroline Curren and Meg Stacey, eds. 1986. *Concepts of Health, Illness and Disease: A Comparative Perspective*. Leamington Spa, Hamburg and New York: Berg.
- W. J. Currie. 1979. 'Prevalence and Incidence of the Diagnosis of Gout in Great Britain'. *Annals of Rheumatic Diseases*. xxxviii, 101-6.
- Lewis Perry Curtis, ed. 1967. *Letters of Laurence Sterne*. London: Oxford University Press.
- J. C. Dagnall. 1971. 'A Gout Stool'. *British Journal of Chiropractic*. xxxvi, 76.
- Ann Dally. 1993. 'Fantasy Surgery with Special Reference to Sir William Arbuthnot Lane'. MD thesis. University of London.
- Helen Darbishire, ed. 1932. *The Early Lives of Milton*. London: Constable.
- Robert Darnton. 1984. *The Great Cat Massacre*. New York: Basic Books.
 ロバート・ダーントン 『猫の大虐殺』 海保真夫・鷺見洋一訳、岩波現代文庫、2007年
- Erasmus Darwin. 1791. *The Botanic Garden*. London: J. Johnson.
- E・ダーウィン他 『英国ロマン派幻想集』 荒俣宏編訳（世界幻想文学大系 第35巻）、国書刊行会、1984年
- Scott F. Davies. 1993. 'Histoplasmosis'. In Kenneth F. Kiple, ed. *The Cambridge World History of*

- Human Disease*. Cambridge: Cambridge University Press, 779-83.
- Lloyd Davis, ed. 1993. *Virginal Sexuality and Textuality in Victorian Literature*. Albany State University of New York Press.
- Thomas Dawson, MD. 1771. 'Review of A Dissertation on the Gout and all Chronic Diseases. . .'. *Monthly Review*. August: 124-30.
- Thomas Dawson, MD. 1774; 1775. 2nd edn. *Cases in the Acute Rheumatism and the Gout*. London: J. Johnson.
- W. H. Dawson. 1938. *Cromwell's Understudy: Life and Times of General John Lambert*. London: William Hodge and Co.
- Vinton A. Dearing, ed. 1974. *John Gay: Poetry and Prose*. 2 vols. Oxford: Clarendon Press.
- Allen G. Debus. 1965. *The English Paracelsians*. London: Oldbourne.
- Allen G. Debus. 1977. *The Chemical Philosophy: Paracelsian Science and Medicine in the Sixteenth and Seventeenth Centuries*. New York: Science History Publications.
- Allen G. Debus. 1991. *The French Paracelsians: The Chemical Challenge to Medical and Scientific Tradition in Early Modern France*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Daniel Defoe. 1965. *The Life and Adventures of Robinson Crusoe*. Ed. Angus Ross. Baltimore, Md: Penguin Books.
- デフォー『ロビンソン・クルーソー』武田将明訳、河出文庫、2011年
- Paul De Kruif. 1926. *Microbe Hunters*. New York: Harcourt, Brace & Company.
- クライフ『微生物を追う人々』秋元寿恵夫訳（科学入門名著全集）、国土社、1991年
- D. De Moulin 1974. 'A Historical-Phenomenological Study of Bodily Pain in Western Medicine'. *Bulletin of the History of Medicine*. xlviii, 540-70.
- Charles W. Denko. 1993. 'Osteoarthritis'. In Kenneth F. Kiple, ed. *The Cambridge World History of Human Disease*. Cambridge: Cambridge University Press, 906-8.
- Warren Derry, ed. 1982. *The Journals and Letters of Fanny Burney (Madame D'Arblay)*. Oxford: Clarendon Press.
- Pierre Desault. 1738. *Dissertation sur la Goutte, et la methode de la guérir radicalement; avec un Recueil d'observations sur les maladies dépendantes de la perspiration. . .* Paris: J. Guerin.
- Adrian Desmond and James Moore. 1991; 1992. *Darwin*. London: Michael Joseph; London: Penguin Books.
- A・デズモンド、J・ムーア『ダーウィン——世界を変えたナチュラリストの生涯』渡辺政隆訳、工作舎、1999年
- André Devries and Abraham Weinberger. 1974. 'King Asa's Presumed Gout'. *Koroth*. vi, 561-7 (Hebrew); cxcv-cciii (English).
- K. Dewhurst. 1963. *John Locke (1632-1704), Physician and Philosopher*. London: Wellcome Historical Medical Library.
- Kenneth Dewhurst, ed. 1966. *Dr. Thomas Sydenham (1624-1689): His Life and Original Writings*. Berkeley, Calif.: University of California Press.
- Charles Dickens. 1972a. *Bleak House*. Ed. Robert L. Patten. Harmondsworth: Penguin.
- ディケンズ『荒涼館』佐々木徹訳、岩波文庫、2017年
- C・ディケンズ『荒涼館』青木雄造・小池滋訳、ちくま文庫、1989年
- Charles Dickens. 1972b. *Pickwick Papers*. Ed. Robert L. Patten. Harmondsworth: Penguin.
- チャールズ・ディケンズ『新訳 ピクウィックペーパーズ』田辺洋子訳、あぼろん社、2002年
- C・ディケンズ『ピクウィック・クラブ』北川悌二訳、ちくま文庫、1990年
- S. E. Dicker. 1951. 'Renal Effects of Urethan and Colchicine in Adult Rats'. *British Journal of*

- Pharmacology*. vi, 169-81.
- H. T. Dickinson. 1977. *Liberty and Property. Political Ideology in Eighteenth Century Britain*. London: Weidenfeld & Nicolson.
- H・T・ディキンソン『自由と所有——英国の自由な国制はいかにして創出されたか』中澤信彦ほか訳、ナカニシヤ出版、2006年
- James C. Dickinson. 1873. *Suppressed Gout: Its Dangers, Varieties, and Treatment; With an Appendix of the Medicinal Uses of the Vals Waters in Gout*. London: Baillière, Tindall & Cox.
- Dictionnaire Encyclopédiques des Sciences Médicales*. 1864-89. Paris: Asselin.
- Anne Digby. 1994. *Making a Medical Living: Doctors and Patients in the English Market for Medicine, 1720-1911*. Cambridge: Cambridge University Press.
- J. H. Dirckx. 1983. *The Language of Medicine: Its Evolution, Structure, and Dynamics*. New York: Praeger.
- Benjamin Disraeli. 1926; 1826, 1st edn. *Vivian Grey*. London: Peter Davies.
- Isaac D'Israeli. 1795. *An Essay on the Manners and Genius of the Literary Character*. London: T. Cadell, Junr., and Paul Davies.
- Isaac D'Israeli. 1812. *Calamities and Quarrels of Authors; including some inquiries respecting their moral and literary characters*. London: John Murray.
- C. Dobell. 1960. *Anthony van Leeuwenhoek and his 'Littelle Animals'*. New York: Dover.
- クリフォード・ドーベル『レーベンフックの手紙』天児和暢訳、九州大学出版会、2003年
- Bonamy Dobrée, ed. 1932. *The Letters of Philip Dormer Stanhope, 4th Earl of Chesterfield*. 6 vols. London: Eyre & Spottiswoode.
- Robert Dodsley. 1743. *Pain and Patience*. London: R. Dodsley.
- Francis Doherty. 1992. *A Study in Eighteenth-Century Advertising Methods: The Anodyne Necklace*. Lewiston, Me: E. Mellen Press.
- A. Doig, J. P. S. Ferguson, I. A. Milne and R. Passmore, eds. 1993. *William Cullen and the Eighteenth Century Medical World*. Edinburgh: Edinburgh University Press.
- Johann Dolaeus. 1684. *Encyclopaedea Medicinae Theoretico-Practicae*. Francof. ad Moenum, F. Knochii.
- Johann Dolaeus. 1732. *Upon the Cure of the Gout by Milk Diet: & An Essay upon Diet by William Stephens*. London: Smith & Bruce.
- John Donne. 1959. *Devotions upon Emergent Occasions, together with Death's Duel*. Ann Arbor, Mich.: University of Michigan Press.
- Carl Van Doren. 1938. *Benjamin Franklin*. New York: The Viking Press.
- David Douglas. 1939. *English Scholars, 1660-1730*. London: Cape.
- J. Douglas. 1741. *A Short Dissertation on the Gout*. London: for the author.
- Mary Douglas. 1966. *Purity and Danger: An Analysis of Concepts Pollution and Taboo*. Harmondsworth: Penguin.
- メアリ・ダグラス『汚穢と禁忌』塚本利明訳、ちくま学芸文庫、2009年
- Thomas Dover. 1732. *The Ancient Physician's Legacy to his Country*. London: Bettesworth.
- Kerry Downes. 1987. *Sir John Vanbrugh: a Biography*. London, Sidgwick & Jackson.
- Arthur Conan Doyle. 1986. *Letters to the Press*. London: Secker and Warburg.
- R. Drake. 1758. *An Essay on the Nature and Manner of Treating the Gout*. London: for the author.
- R. Drake. 1771. *A Candid Account of the Probability that there is Discovered a Specific for the Gout*. London: for the author.
- F. Drinka. 1984. *The Birth of Neurosis: Myth, Malady, and the Victorians*. New York: Simon and

- Schuster.
- J. Dubois. 1761. *Relation de la maladie, de la confession, de la fin de M. de Voltaire*. Geneva.
- Sir Dyce Duckworth. 1889. *A Treatise on Gout*. London: Charles Griffin.
- Barbara Duden. 1991. *The Woman Beneath the Skin: A Doctor's Patients in Eighteenth-Century Germany*. Trans. Thomas Dunlap. Cambridge, Mass., and London: Harvard University Press.
- バーバラ・ドゥーデン『女の皮膚の下——十八世紀のある医師とその患者たち』井上茂子訳、藤原書店、2001年
- John Duffy. 1966. *The Sword of Pestilence: The New Orleans Yellow Fever Epidemic of 1853*. Baton Rouge: Louisiana State University press.
- Howard Duncan and James C. C. Leison. 1993. 'Arthritis (Rheumatoid)'. In Kenneth F. Kiple, ed. *The Cambridge World History of Human Disease*. Cambridge: Cambridge University Press, 599-602.
- William Eamon. 1981. 'The Tale of Monsieur Gout'. *Bulletin of the History of Medicine*. lv, 564-7.
- William Eamon. 1994. *Science and the Secrets of Nature: Books of Secrets in Medieval and Early Modern Culture*. Princeton: Princeton University Press, 1994.
- W. Ebstein. 1885. *The Regimen to be Adopted in Cases of Gout*. London: J. A. Churchill.
- W. Ebstein. 1886. *Nature and Treatment of Gout*. London: Ballière Tindall & Cox.
- Willebad P. Eckert and Christoph von Imhoff. 1971. *Willibald Pirckheimer: Dürers Freund im Spiegel seines Lebens, seiner Werke und seiner Umwelt*. Cologne: Wienand.
- Leon Edel. 1977. *The Life of Henry James*. Harmondsworth: Penguin.
- Ludwig Edelstein. 1967. *Ancient Medicine*. Ed. Owsei Temkin and C. Lilian Temkin. Baltimore, Md: Johns Hopkins University Press.
- Jacques Ehrmann, ed. 1968. *Game, Play, Literature*. New Haven, Conn.: Yale University Press.
- Elizabeth L. Eisenstein. 1979. *The Printing Press as an Agent of Change*, 2 vols. Cambridge: Cambridge University Press.
- G. Eland. 1931. *Purefoy Letters 1735-1753*, 2 vols. London: Sidgwick & Jackson.
- Norbert Elias. 1978, vol. 1; 1982, vol. 2; 1983, vol. 3. *The Civilizing Process: The History of Manners*. New York: Pantheon; *Power and Civility*. New York: Pantheon; *The Court Society*. New York: Pantheon.
- ノルベルト・エリアス『文明化の過程 上——ヨーロッパ上流階層の風俗の変遷』赤井慧爾・中村元保・吉田正勝訳、法政大学出版局、2004年
- ノルベルト・エリアス『文明化の過程 下——社会の変遷／文明化の理論のための見取図』波田節夫ほか訳、法政大学出版局、2010年
- Havelock Ellis. 1904; 1927, rev. edn. *A Study of British Genius*. London: Hurst & Blackett; London: Constable.
- George H. Ellwanger. 1897. *Meditations on Goat*. New York: Donald Mead.
- Sir T. Elyot. 1541, 1937. *The Castel of Health*. London: T. Berthelet; Reprint Ed. S. A. Tannenbaum, New York; Scholars Facimiles and Reprints.
- Antoinette Emch-Dériaz. 1992. *Tissot: Physician of the Enlightenment*. New York: Peter Lang.
- Encyclopaedia Britannica*. 1797, 3rd edn; 1768, 1st edn. Edinburgh: A. Bell and C. Macfarquhar.
- Dietrich von Engelhardt, ed. 1989. *Diabetes. Its Medical and Cultural History: Outlines, Texts, Bibliography*. Berlin: Springer-Verlag.
- H. Tristram Engelhardt. 1975. 'The Concepts of Health and Disease'. In H. T. Engelhardt and S. Spicker, eds. *Evaluation and Explanation in the Biomedical Sciences*. Dordrecht and Boston, Mass.: Reidel, 125-41.

- H. Tristram Engelhardt and S. Spicker, eds. 1975a. *Explanation in the Biomedical Sciences*. Dordrecht and Boston: Reidel.
- H. Tristram Engelhardt and S. Spicker, eds. 1975b. *Philosophy and Medicine*. Dordrecht and Boston: Reidel.
- Peter C. English. 1992. 'Emergence of Rheumatic Fever in the Nineteenth Century'. In Charles E. Rosenberg and Janet Golden, eds. *Framing Disease: Studies in Cultural History*. New Brunswick, NJ: Rutgers University Press, 20-32.
- Richard Epps. 1863. *The Homoeopathic Family Instructor*. London: James Epps and Co.
- Desiderius Erasmus. 1517. *Adagia*. Strassburg: M. Schurer.
- Desiderius Erasmus. 1518. *Encomium Artis Medicae*. Basel: J. Froben.
- Desiderius Erasmus. 1519. *In Novam Testamentum ab Eodem Denuo Recognitum*. Basel: Froben.
 エラスムス 『エラスムス神学著作集』 金子晴勇訳、教文館、2016年
- Desiderius Erasmus. 1569. *In Praise of Folly*. Trans. Sir T. Chaloner. London: T. Berthle.
 エラスムス 『痴愚神礼讃——ラテン語原典訳』 沓掛良彦訳、中公文庫、2014年
- Hugo Erichsen. 1884. *Medical Rhymes: A Collection of Rhymes. . . Selected and Compiled from a Variety of Sources*. Chicago: Chambers.
- David d'Escherny. 1760. *An Essay on the Causes and Effects of the Gout*. London: R. Griffiths.
- J. Worth Estes. 1990. *Dictionary of Protopharmacology: Therapeutic Practices, 1700-1850*. Canton, Mass.: Science History Publications and Watson Publishing International.
- J. Worth Estes. 1993. 'Dropsy'. In Kenneth F. Kiple, ed. *The Cambridge World History of Human Disease*. Cambridge: Cambridge University Press, 689-95.
- Elizabeth W. Etheridge. 1972. *The Butterfly Caste: A Social History of Pellagra in the South*. Westport, CT.: Greenwood press.
- Elizabeth W. Etheridge. 1993. 'Pellagra'. In Kenneth F. Kiple, ed. *The Cambridge World History of Human Disease*. Cambridge University Press, 918-23.
- Michael Etmuller. 1699. *Etmullerus Abridg'd: or A Compleat of the Theory and Practice of Physic*. London: E. Harris.
- M. Evans, ed. 1888. *The Letters of Richard Radcliffe and John James*. Oxford: Oxford Historical Society.
- Richard J. Evans. 1987. *Death in Hamburg: Society and Politics in the Cholera Years 1830-1910*. Oxford: Clarendon Press.
- Richard J. Evans. 1988. 'Epidemics and Revolutions: Cholera in Nineteenth-Century Europe'. *Past and Present*. cxx, 123-219.
- W. Ewart. 1894. *Heart Studies, Chiefly Clinical*. London: Baillière, Tindall & Cox.
- W. Ewart. 1896. *Gout and Goutiness: and Their Treatment*. London. Baillière, Tindall & Cox.
- Knud Faber. 1930. *Nosography: A History of Clinical Medicine*. New York: Hoeber.
- Alice Fairfax-Lucy, ed. 1983. *Mistress of Charlecote: The Memoirs of Mary Elizabeth Lucy*. London: Gollancz.
- William Falconer. 1770. *An Essay on the Bath Waters*. London: G. G. J. & J. Robinson.
- William Falconer. 1772. *Observations on Dr. Cadogan's Dissertation on the Gout*. London: T. Newbery.
- William Falconer. 1788. *A Dissertation on the Influence of the Passions Upon Disorders of the Body*. London: C. Dilly.
- Family Companion for Health*. 1729. London: F. Fayram & Leake.
- Family Guide to Health*. 1767. London: J. Fletcher.

- Mike Featherstone, Mike Hepworth and Bryan S. Turner, eds. 1991. *The Body. Social Process and Cultural Theory*. London: Sage.
- Elizabeth Fee and Daniel M. Fox, eds. 1988. *AIDS : The Burdens of History*. Berkeley and Los Angeles, Calif., and London: University of California Press.
- Elizabeth Fee and Daniel M. Fox, eds. 1992. *AIDS: The Making of a Chronic Disease*. Berkeley and Los Angeles, Calif., and London: University of California Press.
- M. Feher, ed. 1989. *Fragments for a History of the Human Body*, 3 vols. New York: Zone.
- Charlotte Fell-Smith. 1901. *Mary Rich, Countess of Warwick (1625-1678)*. London: Routledge.
- E. M. Fenton. 1706. *On the First Fit of the Gout*. London: John Morphew.
- J. A. Lopez Ferez. 1987. 'Rheumatism, Arthritis and Gout in Galen'. In Thierry Appelboom, ed. *Art, History and Antiquity of Rheumatic Diseases*. Bruxelles: Elsevier, 84-7.
- Jean Fernel. 1678. *Select Medicinal Counsels of John Fernelius. . . Being Pick'd and Chosen Out of Four Hundred Consultations and Advices for Sick People; Of Which, These Are the Flower and Cream*. London: G. Sawbridge.
- Marsilio Ficino. 1989. *Three Books on Life*. Trans. Carol V. Kaske and John R. Clark. Binghamton, NY: Renaissance Society of America.
- C. N. Fifer, ed. 1976. *The Correspondence of James Boswell with Certain Members of the Club*. London: Heinemann.
- Karl M. Figlio. 1977. 'The Historiography of Scientific Medicine: An Invitation to the Human Sciences'. *Comparative Studies in Society and History*. xix, 262-86.
- Valerie Fildes. 1985. *Breasts, Bottles and Babies: A History of Infant Feeding*. Edinburgh: Edinburgh University Press.
- Valerie Fildes. 1988. *Wet Nursing: A History from Antiquity to the Present*. Oxford: Basil Blackwell.
- Valerie Fildes, ed. 1990. *Women as Mothers in Pre-Industrial England: Essays in Memory of Dorothy McLaren*. London & New York: Routledge.
- Valerie Fildes, Lara Marks and Hilary Marland, eds. 1992. *Women and Children First: International Maternal and Infant Welfare, 1870-1995*. London: Routledge.
- Anne Finch, Countess of Winchilsea. 1713. *Miscellany Poems. . . Written by a Lady*. London.
- Mary E. Fissell. 1992. 'Readers, Texts and Contexts: Vernacular Medical Works in Early Modern England'. In Roy Porter, ed. *The Popularization of Medicine*. London and New York: Routledge, 72-96.
- Roy Flannagan. 1981. 'Milton's Gout'. *Milton Quarterly*. xv, 123-4.
- Thomas Fleming, ed. 1972. *Benjamin Franklin: A Biography in his Own Words*. New York: Newsweek.
- L. F. Flick. 1925. *Development of our Knowledge of Tuberculosis*. Philadelphia, Pa: for the author.
- Henry Flower. 1766. *Observations on the Gout and Rheumatism, Exhibiting Instances of Persons. . . Relieved. . . by Medicines Discovered in America*. London: E. Cooke.
- Friedrich A. Flückinger and Daniel Hanbury. 1879. *Pharmacographia. A History of the Principal Drugs of Vegetable Origin Met With in Great Britain and British India*. London: Macmillan.
- Carol Houlihan Flynn. 1990. *The Body in Swift and Defoe*. Cambridge, England; New York: Cambridge University Press.
- Duncan Forbes. 1975. *Hume's Philosophical Politics*. Cambridge: Cambridge University Press.
- ダンカン・フォーブズ『ヒュームの哲学的政治学』田中秀夫監訳、昭和堂、2011年
- Murray Forbes. 1793. *A Treatise upon Gravel and upon Gout*. London: T. Cadell.
- William Forster. 1746. *A Treatise on the Causes of Most Diseases*. London.

- J. Milner Fothergill. 1872; 1881, 2nd edn. *Indigestion, Bilioussness, and Gout in its Protean Aspects*, pt I: *Indigestion and Bilioussness*. London: H. K. Lewis.
- J. Milner Fothergill. 1879, 2nd edn. *The Heart and its Diseases with their Treatment: Including the Gouty Heart*. London: H. K. Lewis.
- Clifford M. Foust. 1992. *Rhubarb: The Wonder Drug*. Princeton, N. J.: Princeton University Press.
- Girolamo Fracastoro. 1530. *Syphilis, Sive Morbus Gallicus*. Verona: S. Nicolini da Sabbio.
- Girolamo Fracastoro. 1984. *Fracastoro's Syphilis*. Introduction, text, trans and notes Geoffrey Eatough. Liverpool: F. Cairns.
- Arthur W. Frank. 1991. 'For a Sociology of the Body: An Analytical Review'. In Mike Featherstone, Mike Hepworth and Bryan S. Turner, eds. *The Body: Social Process and Cultural Theory*. London: Sage, 36-102.
- Robert G. Frank. 1980. *Harvey and the Oxford Physiologists: Scientific Ideas and Social Interaction*. Berkeley, Calif.: University of California Press.
- Kevin Fraser. 1992. 'William Stukeley and his Regimen for Gout'. *Medical History*. xxxv, 160-86.
- Sir William Fraser. 1891. *Disraeli and his Day*. London: Kegan Paul, Trench, Trübner, & Co.
- James George Frazer. 1935. *The Golden Bough*. New York: The MacMillan Company.
- J・G・フレイザー『金枝篇——呪術と宗教の研究』神成利男訳、国書刊行会、2004年
- J・G・フレイザー『初版 金枝篇』吉川信訳、ちくま学芸文庫、2003年
- A. Freake. 1806. *Observations and Experiments on the Humulus Lupulus of Linnaeus: With an Account of its Use in Gout, and Other Diseases. With Case and Communications*. London: Hansard.
- John Freke, Surgeon. 1748. *An Essay on the Art of Healing*. London.
- Roger French. 1969. *Robert Whytt, the Soul and Medicine*. London: Wellcome Institute for the History of Medicine.
- Roger French. 1993a. 'The Anatomical Tradition'. In W. F. Bynum and Roy Porter, eds. *Companion Encyclopedia of the History of Medicine*. London: Routledge, 1993, 81-101.
- Roger K. French. 1993b. 'Catarrh'. In Kenneth F. Kiple, ed. *The Cambridge World History of Human Disease*. Cambridge: Cambridge University Press, 635-6.
- Roger French. 1994. *William Harvey's Natural Philosophy*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Roger French and Andrew Wear, eds. 1989. *The Medical Revolution of the Seventeenth Century*. Cambridge and New York: Cambridge University Press.
- Lorenz Fries. 1519. *Spiegel der Artzny*. Strassburg: J. Grieninger.
- N. Fruman. 1971. *Coleridge, the Damaged Archangel*. London: Allen & Unwin.
- Northrop Frye. 1957. *Anatomy of Criticism: Four Essays*. Princeton, N. J.: Princeton University Press.
- ノースロップ・フライ『批評の解剖 新装版』海老根宏・中村健二・出淵博・山内久明訳、法政大学出版局、2013年
- Francis Fuller. 1704. *Medicina gymnastica*. London.
- D. Furst. 1974. 'Sterne and Physick: Images of Health and Disease in *Tristram Shandy*'. ph. D. thesis, Columbia University.
- Lillian R. Furst. 1993. 'Struggling for Medical Reform in Middlemarch'. *Nineteenth-Century Literature*, 341-61.
- Paul Fussell. 1969. *The Rhetorical World of Augustan Humanism: Ethics and Imagery from Swift to Burke*. London: Oxford University Press.
- R. E. Gaebel and J. O. Nriagu. 1983. 'Saturnine Gout among Roman Aristocrats (Discussion)'. *New*

- England Journal of Medicine*, cccix, 431.
- W. Gairdner. 1849; 1851, 2nd edn. *On Gout: Its History, its Causes and its Cure*. London: J. Churchill.
- Galen. 1533, 1968. *De Usu Partium Corporis Humani Libri xvii*. Basle: A. Cratander and J. Bebelius; Trans. by M. T. May as *Galen on the Usefulness of the Parts of the Body*, 2 vols. Ithaca, NY: Cornell University Press.
- Galen. 1821-33; 1965. *Commentary on Hippocrates' Aphorisms*. In C. G. Kühn, ed. *Claudii Galeni Opera Omnia*, 20 vols. Leipzig; reprinted Hildesheim, xi, 275.
- John Gardiner. 1792. *An Inquiry Into the Nature, Cause and Cure of the Gout and of Some of the Diseases with Which it is Connected*. Edinburgh: Bell & Bradfute.
- M. J. Gardner, et al. 1982. 'The Prevalence of Gout in Three English Towns'. *International Journal of Epidemiology*. xi, 71-5.
- Thomas Garlick. 1729. *An Essay on the Gout*. London: T. Warner.
- Sir Alfred Baring Garrod. 1854. 'On the Blood and Effused Fluids of Gout, Rheumatism and Bright's Disease'. *Transactions of the Medico-Chirurgical Society*, xxxvii, 49-60.
- Sir Alfred Baring Garrod. 1855. *The Essentials of Materia Medica, Therapeutics and the Pharmacopoeias*. London: Walton and Maberly.
- Sir Alfred Baring Garrod. 1848. 'Observations on Certain Pathological Conditions of the Blood and Urine in Gout, Rheumatism and Bright's Disease'. *Transactions of the Medico-Chirurgical Society*. xxxi, 83-98.
- Sir Alfred Baring Garrod. 1859; 1863, 2nd edn.; 1876, 3rd edn. *The Nature and Treatment of Gout and Rheumatic Gout*. London: Walton & Maberly; London: Walton & Maberly; London: Longmans, Green.
- Sir Alfred Baring Garrod. 1861. *Die Nature und Behandlung der Gicht und der Rheumatischen Gicht*. Trans. Dr. Weisenmann. Würzburg: Richter.
- Sir Alfred Baring Garrod. 1867. *La Goutte: Sa Nature, Son Traitment et le Rheumatisme Goutteux*. Trans. A. Ollivier. Paris: A. Delahaye.
- Archibald E. Garrod. 1890. *A Treatise on Rheumatism and Rheumatoid Arthritis*. London: Charles Griffin.
- Archibald Garrod. 1897. 'Rheumatoid Arthritis'. In T. C. Allbutt, ed. *A System of Medicine*, vol. iii. London: Macmillan, 73-102.
- Archibald Garrod. 1923-4. 'Discussion on "The Aetiology and Treatment of Osteo-Arthritis and Rheumatoid Arthritis"'. *Proceedings of the Royal Society of Medicine*. xvii, parts 1 and 2, pp. 1-4.
- John Gascoigne. 1994. *Joseph Banks and the English Enlightenment*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Barbara T. Gates. *Victorian Suicide: Mad Crimes and Sad Histories*. Princeton: Princeton University Press.
- バーバラ・T・ゲイツ『世紀末自殺考——ヴィクトリア朝文化史』桂文子ほか訳、英宝社、1999年
- Alan Gauld. 1992. *A History of Hypnotism*. Cambridge and New York: Cambridge University Press.
- Gordon E. Geddes. 1981. *Welcome Joy: Death in Puritan New England*. Ann Arbor, Michi.: UMI Research Press.
- Gentleman's Magazine*. 1752. 'Extract from Dr. [William] Oliver's Practical Essay on the use and abuse of warm bathing in gouty cases'. January: 18-20.
- M. D. George. 1959. *English Political Caricature 1793-1832*. Oxford: Clarendon Press.
- M. D. George. 1967a. *English Political Caricature: A Study of Opinion and Propaganda*, 2 vols. Oxford: Clarendon Press.

- M. D. George. 1967b. *From Hogarth to Cruikshank: Social Change in Graphic Satire*. London: Viking.
- John Gerard. 1596. *Catalogus Arborum, Fruticum, ac Plantarum*. London: R. Robinson.
- John Gerard. 1597. *The Herball or, Generall Historie of Plantes*. London: E. Bollifant for B. & John Norton.
- Uta Gerhardt. 1989. *Ideas about Illness: An Intellectual and Political History of Medical Sociology*. New York: New York University Press.
- Winfred Gérin. 1967. *Charlotte Brontë: The Evolution of Genius*. Oxford: Clarendon Press.
- Faye Marie Getz, ed. 1991. *Healing and Society in Medieval England: A Middle English Translation of the Pharmaceutical Writings of Gilbertus Anglicus*. Madison, Wis.: University of Wisconsin Press.
- Norman Gevitz. 1993. 'Unorthodox Medical Theories'. In W. F. Bynum and Roy Porter, eds. *Companion Encyclopedia of the History of Medicine*. London: Routledge, 603-33.
- Johanna Geyer-Kordesch. 1985. 'The Cultural Habits of Illness: The Enlightened and the Pious in Eighteenth-Century Germany'. In R. Porter, ed. *Patients and Practitioners*. Cambridge: Cambridge University Press, 177-204.
- Johanna Geyer-Kordesch. 1993. 'Women and Medicine'. In W. F. Bynum and Roy Porter, eds. *Companion Encyclopedia of the History of Medicine*. London: Routledge, 884-910.
- Edward Gibbon. 1776-88. *The History of the Decline and Fall of the Roman Empire*, 6 vols. London: W. Strahan T. Cadell.
- エドワード・ギボン 『「新訳」ローマ帝国衰亡史』中倉玄喜編訳、PHP文庫、2020年
- エドワード・ギボン 『ローマ帝国衰亡史』中野好夫訳、ちくま学芸文庫、1995-1996年
- Sandra M. Gilbert and Susan Gubar. 1979. *The Madwoman in the Attic: The Woman Writer and the Nineteenth-Century Literary Imagination*. New Haven: Yale University Press. Chapter "Infection in the Sentence: The Woman Writer and the Anxiety of Authorship," 45-92.
- サンドラ・ギルバート、スーザン・グーバー 『屋根裏の狂女——ブロンテと共に』山田晴子・藺田美和子訳、朝日出版社、1986年
- G. Gilfillan, ed. 1877. *The Poetical Works of Armstrong, Dyer, Greene. With Memoirs and Critical Dissertations*. Edinburgh: James Nichol.
- C. C. Gillispie. 1960. *The Edge of Objectivity: An Essay in the History of Scientific Ideas*. Princeton N. J.: Princeton University Press.
- チャールズ・C・ギリスピー 『客観性の刃』島尾永康訳、みすず書房、2011年
- J. Gillow and A. Hewitson, eds. 1873. *The Tyldesley Diary*. Preston: A. Hewitson.
- Sander L. Gilman. 1982. *Seeing the Insane*. New York: Brunner, Mazel.
- Sander L. Gilman. 1985. *Difference and Pathology*. Ithaca and London: Cornell University Press.
- Sander L. Gilman. 1988. *Disease and Representation: From Madness to AIDS*. Ithaca: Cornell University Press.
- サンダー・L・ギルマン 『病気と表象——狂気からエイズにいたる病のイメージ』本橋哲也訳、ありな書房、1996年
- Sander L. Gilman. 1989. *Sexuality: An Illustrated History*. New York: Wiley.
- サンダー・L・ギルマン 『「性」の表象』大瀧啓裕訳、青土社、1996年
- Sander L. Gilman, Helen King, Roy Porter, G. S. Rousseau and Elaine Showalter. 1993. *Hysteria beyond Freud*. Berkeley, Calif.: University of California Press.
- Ian Gilmour. 1992. *Riot, Risings and Revolution: Governance and Violence in Eighteenth-Century England*. London: Hutchinson.
- Robin Gilmour. 1981. *The Idea of the Gentleman in the Victorian novel*. London: Allen and Unwin.

- Robin Gilmour. 1986. *The Novel in the Victorian Age: a modern introduction*. London: Arnold.
- René Girard. 1965. *Deceit, Desire and the Novel*. Trans. Yvonne Freccero. Baltimore, Maryland: Johns Hopkins University Press.
- ルネ・ジラルール『欲望の現象学——ロマンティックの虚偽とロマネスクの真実』古田幸男訳、法政大学出版局、2010年
- Stephen H. Goddard. 1988. *The World in Miniature: Engravings by the German Little Masters, 1500-1550*. Exhibition catalogue. Spencer Museum of Art. University of Kansas.
- Jonathan Goldberg. 1990. *Writing Matter: From the Hands of the English Renaissance*. Stanford, Calif.: Stanford University Press.
- Laurence Goldstein, ed. 1994. *The Male Body: Features, Exploits, Conclusions*. Ann Arbor, Mich.: University of Michigan Press.
- Nicholas Goodrick-Clarke. 1990. *Paracelsus: Artsen, State & Volksgezondheid in Nederland, 1840-1890*. London: Crucible.
- Nicholas Goodrick-Clarke, trans. 1990. *Paracelsus: Essential Readings*. London: Crucible.
- Barnaby Googe. 1990. *The Overthrow of the Gout, and A Dialogue Betwixt the Gout and Christopher Ballista*. Ed. and introduced by Simon McKeown. London: Indelible Inc.
- Jan B. Gordon. 1993. “‘The Key to Dedlock’s Gait’: Gout as Resistance”. In David Bevan, ed. *Literature and Sickness*. Amsterdam: Rodopi, 25-52.
- P. Gosse. 1952. *Dr. Viper: The Querulous Life of Philip Thicknesse*. London: Cassell.
- P. W. Graham and Fritz H. Oehlschlager. 1992. *Articulating the Elephant Man: John Merrick and His Interpreters*. Baltimore: Johns Hopkins University Press.
- Wallace Graham and K. M. Graham. 1955. ‘Men and Books. Our Gouty Past’. *The Canadian Medical Association Journal*. lxxiii, 485-93.
- Wallace Graham and K. M. Graham. 1957. ‘Symposium on Gout. Martyrs to the Gout’. *Metabolism*. vi, 209-17.
- William Grant. 1776. *A Short Account of the Present Epidemic Cough and Fever*. London: T. Cadell.
- William Grant. 1779. *Some Observations on the Origins, Progress, and Method of Treating the Atrabilious Temperament and Gout*. London: T. Cadell.
- J. Mortimer Granville. 1885. *Gout in its Clinical Aspects: An Outline of the Disease and its Treatment for Practitioners. Part I. Facts and Indications. Part II. Treatment and Formulae*. London: J. & A. Churchill.
- Mortimer Granville. 1894. *Notes and Conjectures on Gout*. London: Ballière, Tindall and Cox.
- John Graunt. 1662. *Natural and Political Observations Made Upon the Bills of Morality*. London.
- グラント『死亡表に関する自然のおよび政治的諸観察』久留間鮫造訳、栗田出版会、1968年
- Roger Lancelyn Green, ed. 1965. *The Works of Lewis Carroll*. London: Paul Hamlyn.
- Stephen Greenblatt. 1980. *Renaissance Self-Fashioning: from More to Shakespeare*. Chicago: University of Chicago Press.
- スティーヴン・グリーンブラット『ルネサンスの自己成型——モアからシェイクスピアまで』高田茂樹訳、みすず書房、1992年
- Joseph Grego. *Rowlandson the Caricaturist*. 2 vols. London: n. p.
- John Gregory. 1790. *Lectures on the Practice of Physic as Delivered in Edinburgh A. D. 1770*. n. p.
- James Greig, ed. 1926. *The Diaries of a Duchess—Elizabeth Duchess of Northumberland (1716-1776)*. London: Hodder and Stoughton Limited.
- J. Y. T. Greig, ed. 1969. *The Letters of David Hume*, 2 vols. Oxford: Clarendon Press.
- H. J. C. Grierson, ed. 1933. *The Letters of Sir Walter Scott: 1815-1817*. London: Constable & Co. Ltd.

- H. J. C. Grierson, ed. 1935. *The Letters of Sir Walter Scott: 1823-1825*. London: Constable & Co. Ltd.
- Sir Herbert Grierson. 1938. *Sir Walter Scott, Bart.: A New Life*. London: Constable and Company, Limited.
- H. J. C. Grierson, ed. 1963; 1912, 1st edn. *The Poems of John Donne*, 2 vols. Oxford: Oxford University Press.
- B. Griggs. 1981. *Green Pharmacy: A History of Herbal Medicine*. London: Jill Norman & Hobhouse.
- E. L. Griggs, ed. 1956-68. *Collected Letters of Samuel Taylor Coleridge*, 6 vols. Oxford: Clarendon Press.
- Mirko D. Grmek. 1989. *Diseases in the Ancient Greek World*. Trans. Mireille Muellner and Leonard Muellner. Baltimore, Md, and London: Johns Hopkins University Press.
- Mirko D. Grmek. 1992. *Histoire du Sida: Début et Origine d'une Pandémie Actuelle*. Paris: Payot. Translated as *History of Aids: Emergence and Origin of a Modern Pandemic*. 1994. Trans. Russell C. Maulitz and Jacalyn Duffin. Princeton: Princeton University Press.
- ミルコ・D・グルメク 『エイズの歴史』 中島ひかる・中山健夫訳、藤原書店、1996年
- John Groenevelt. 1691. *Arthritology: Or, a Discourse of the Gout*. London: for the author.
- Thomas Guidott. 1724. *The Lives and Characters of the Physicians of Bath*. London.
- Gerald J. Gruman. 1966. *A History of Ideas about the Prolongation of Life: The Evolution of Prolongevity Hypotheses to 1800*. *Transaction of the American Philosophical Society*, n. s. 56, pt 9, Philadelphia, Pa.: American Philosophical Society.
- O. Cameron Gruner. 1938. *A Treatise on the Canon of Medicine of Avicenna, Incorporating a Translation of the First Book*. London: Luzac & Co.
- Anita Guerrini. 1985. 'James Keill, George Cheyne, and Newtonian Physiology, 1690-1740'. *Journal of the History of Biology*. xviii, 247-66.
- Anita Guerrini. 1986. 'The Tory Newtonians: Gregory, Pitcairne and their Circle'. *Journal of British Studies*. xxv, 288-311.
- Anita Guerrini. 1987. 'Archibald Pitcairne and Newtonian Medicine'. *Medical History*. xxxi, 70-83.
- Anita Guerrini. 1989. 'Isaac Newton, George Cheyne, and the "Principia Medicinæ"'. In Andrew Wear and Roger French, eds. *The Medical Revolution of the Seventeenth Century*. Cambridge: Cambridge University Press, 222-45.
- Anita Guerrini. 1993. "'A Club of Little Villains": Rhetoric, Professional Identity and Medical Pamphlet Wars'. In Marie Mulvey Roberts and Roy Porter, eds. *Literature and Medicine during the Eighteenth Century*. London: Routledge, 226-44.
- James Manby Gully. 1846. *The Water Cure in Chronic Disease*. London: J. Churchill.
- J. A. W. Gunn, et al, eds. 1982-7. *Benjamin Disraeli Letters: 1815-1841*. 3 vols. Toronto: University of Toronto Press.
- J. A. W. Gunn. 1983. *Beyond Liberty and Property: The Process of Self-Recognition in Eighteenth-Century Political Thought*. Kingston: McGill-Queen's University Press.
- Robert T. Gunther, ed. 1928. *Further Correspondence of John Ray*. London: The Ray Society.
- Robert T. Gunther, ed. 1934. *The Greek Herbal of Dioscorides*. Oxford: J. Johnson.
- S. L. Gwynn. 1932. *The Life of Horace Walpole*. London: Butterworth.
- E. T. Haden. 1820. *Practical Observations on the Colchicum Autumnale as a General Remedy of Great Power, in the Treatment of Inflammatory Diseases*. London: Burgess & Hill.
- Alexander Haig. 1901. *Causation, Prevention and Treatment of Gout*. London: John Bale, Sons & Co.
- Alexander Haig. 1902. *Diet and Food*. London: Churchill.
- Alexander Haig. 1903. 'The Causation, Prevention and Treatment of Gout'. *The Practitioner*. lxxi,

40-60.

- Alexander Haig. 1908. *Uric Acid as a Factor in the Causation of Disease: A Contribution to the Pathology of High Blood Pressure, Headache, Epilepsy, Nervousness, Mental Disease, Asthma, Hay Fever, Paroxysmal Haemoglobinuria, Anaemia, Bright's Disease, Diabetes, Gout, Rheumatism, Bronchitis, and Other Disorders*. London: J. & A. Churchill.
- Gordon S Haight. 1968. *George Eliot: A Biography*. Oxford: Clarendon Press.
- B. Haley. 1978. *The Healthy Body and Victorian Culture*. Cambridge, Mass.: Harvard University Press.
- Sir Henry Hallford. 1831. *Essays and Orations, Read and Delivered at the Royal College of Physicians*. London: J. Murray.
- L. A. Hall. 1991. "Forbidden by God, Despised by Men: Masturbation, Medical Warnings, Moral Panic, and Manhood in Great Britain," 1850-1950'. *Journal of the History of Sexuality*, 2, 365-87.
- Mark Haller. 1984. *Eugenics: Hereditarian Attitudes in American Thought*. New Brunswick: N. J., Rutgers University Press.
- John Halperin. 1984. *The Life of Jane Austen*. Brighton: Harvester Press.
- Robert Halsband, ed. 1965. *The Complete Letters of Landy Mary Wortley Montagu*, 3 vols. Oxford: Clarendon Press.
- Sir David Hamilton. 1975. *The Diary of Sir David Hamilton*. Ed. And Intro. Philip Roberts. Oxford: Clarendon Press.
- C. Hannaway. 1993. 'Environment and Miasmata'. In W. F. Bynum and Roy Porter, eds. *Companion Encyclopedia of the History of Medicine*. London: Routledge, 292-334.
- O. B. Hardison. 1962. *The Enduring Monument: a Study of the Idea of Praise in Renaissance Literary Theory and Practice*. Westport: Conn. 1962.
- James Hardy. 1778. *A Candid Examination of what has been Advanced as the Colic of Poitou and Devonshire, with Remarks on the Most Probable Causes and Experiments Intended to Ascertain the True Cause of Gout*. London: T. Cadell.
- James Hardy. 1780. *An Answer to the Letter Addressed by Francis Riollay, Physician of Newbury to Dr. Hardy, on the Hints Given Concerning the Origin of the Gout, in his Publication on the Colic of Devon*. London: T. Cadell.
- M. Hardy. 1860. *Lecons sur les Maladies de la Peau*. . . . Paris: Delahaye.
- David Harley. 1993. 'Ethics and Dispute Behaviour in the Career of Henry Bracken of Lancaster: Surgeon, Physician and Manmidwife'. In Robert Baker, Dorothy Potter and Roy Porter, eds. *The Codification of Medical Morality*, vol. 1. Dordrecht, Boston and London: Kluwer Academic Publishers, 47-72.
- Walter Harris. 1683. *Pharmacologia antiempirica*. London: Richard Chiswell.
- Walter Harris. 1689. *De morbis acutis infantum*. London: Samuel Smith.
- F. Dudley Hart. 1976. 'History of the Treatment of Rheumatoid Arthritis'. *British Medical Journal*. i, 763-5.
- F. Dudley Hart. 1984. 'William Harvey and his Gout'. *Annals of Rheumatic Diseases*. xliii, 125-7.
- A. Hartshorne, ed. 1905. *Memoirs of a Royal Chaplain, 1729-1763: The Correspondence of Edmund Pyle, D. D. Chaplain in Ordinary to George II, with Samuel Kerrich D. D., Vicar of Dersingham, Rector of Wolferton and Rector of West Newton*. London and New York: John Lane, Bodley Head.
- Edward P. Hartung. 1954. 'History of the Use of Colchicum and Related Medicaments in Gout'. *Annals of Rheumatic Diseases*. xiii, 190-200.
- Edward P. Hartung. 1957. 'Symposium on Gout. Historical Considerations'. *Metabolism*. vi, 196-208.

- A. D. Harvey. 1994. *Sex in Georgian England*. London: Duckworth.
- Gideon Harvey. 1672a. *Great Venus Unmasked*. London: N. Brook.
- Gideon Harvey. 1672b. *Morbus Anglicus, or a Theoretick and Practical Discourse of Consumptions and Hypochondriack Melancholy*. London: Thackeray.
- Gideon Harvey. 1675. *The Disease of London, or a New Discovery of the Scorvey*. London: Thackeray.
- William Harvey. 1628. *De Motu Cordis*. Francofurti: G. Fitzen.
- ハーヴェイ 『動物の心臓ならびに血液の運動に関する解剖学的研究』暉峻義等訳、岩波文庫、1961年
- ウィリアム・ハーヴェイ 『心臓の動きと血液の流れ』岩間吉也訳、講談社学術文庫、2005年
- William Harvey. 1961. *Lectures on the Whole of Anatomy*. Trans. C. D. O'Malley, F. N. L. Poynter and K. F. Russell. Berkeley, Calif.: University of California Press.
- William Harvey. 1976. *An Anatomical Disputation Concerning the Movement of the Heart and Blood in Living Creatures*. Trans. G. Whitteridge. Oxford: Blackwell Scientific.
- Clopton Havers. 1691. *Osteologia Nova*. London: Samuel Smith.
- Richard Hawes. 1634. *The Poore-Mans Plaster-Box. Furnished with Diverse Excellent Remedies for Sudden Mischances, and Usual Infirmities, Which Happen to Men, Women, and Children in this Age*. London: Thomas Cotes For Francis Grove.
- Francis Hawkins. 1826. *Rheumatism and Some Diseases of the Heart and Other Internal Organs*. London: Burgess & Till.
- John T. Hayes. 1972. *Rowlandson*. London: Phaidon.
- John Haygarth. 1793. *A Sketch Plan to Exterminate the Casual Smallpox, and to Introduce General Inoculation*, 2 vols. London: J. Johnson.
- John Haygarth. 1801. *A Letter to Dr Percival on the Prevention of Infectious Fevers*. London: Cadell and Davies.
- John Haygarth. 1805. *A Clinical History of Diseases: Part First Being 1. A Clinical History of the Acute Rheumatism. 2. A Clinical History of the Nodosity of the Joints*. London: Cadell & Davies.
- William Hayley. 1794. *The Triumphs of Temper*. Newburyport, Massachusetts.
- Alan Haynes. 1989. *Robert Cecil, Earl of Salisbury, 1563-1612: Servant of Two Sovereigns*. London: Peter Owen.
- L. A. Healey, M. D. 1971. 'Gout and Gluttony, Yesterday and Today'. *Medical Opinion and Review*. February: 46-55.
- L. A. Healey, M. D. 1975. 'Port Wine and the Gout'. *Arthritis and Rheumatism*. xviii. 6 Supplement, 659-62.
- Ernest Heberden. 1989. *William Heberden 1710-1801: Physician of the Age of Reason*. London and New York: Royal Society of Medicine Services.
- W. Heberden. 1962; 1802, 1st edn. *Commentaries on the History and Cure of Diseases*. London: T. Payne; facsimile reprint. New York: Academy of Medicine/Hafner Publishing.
- H. O. Hebert. 1802. *Hebert's Air Pump Vapour Bath*. New York and Philadelphia.
- Ferdinand Hebra. 1866-80. *On Diseases of the Skin*. London: New Sydenham Society.
- W. H. Helfand. 1978. *Medicine and Pharmacy in American Political Prints (1765-1870)*. Madison, Wis.: American Institute of the History of Pharmacy.
- C. D. Hellman, ed. 1931. 'An Unpublished Diary, 1810-1812, by E. Jenner'. *Annals of Medical History*. n. s. iii, 412-38.
- J. Baptista van Helmont. 1648. *Ortus Medicinæ*. Amsterdam: L. Elzevirium.

- John Baptista van Helmont. 1662. *Oriatrike or Physick Refined*. Trans. J. Chandler. London: Lodowick Lloyd.
- Phyllis Hembry. 1990. *The English Spa 1560-1815: A Social History*. London: Athlone.
- Ernest Hemingway. 1963. *A Farewell to Arms*. Harmondsworth: Penguin.
- ヘミングウェイ 『武器よさらば』 金原瑞人訳、光文社古典新訳文庫、2007年
- ヘミングウェイ 『武器よさらば』 高見浩訳、新潮文庫、2006年
- Lord Herbert, ed. 1950. *Pembroke Papers*. London: Cape.
- Audrey Heywood. 1990. 'A Trial of the Bath Waters: The Treatment of Lead Poisoning'. In Roy Poter, ed. *The Medical History of Waters and Spas*. London: *Medical History*, Supplement 10, 82-101.
- Nathaniel Highmore. 1660. *Exercitationes duae, quarum prior de Passione Hysterica, altera de Affectione Hypochondriaca*. Oxonii.
- Nathaniel Highmore. 1670. *Epistola Responsoria ad T. Willis de Passione Hysteria, et Hypochondriaca Affectione*. Londini.
- Aaron Hill. 1709. *A Full and Just Account of the State of the Ottoman Empire in All its Branches*. London: John Mayo.
- John Hill. 1754. *The Useful Family Herbal*. London: W. Johnston.
- John Hill. 1758a, 2nd edn. *The Management of the Gout, by a Physician From his Own Case. With the Virtues of an English Plant Bardana, Not Regarded in the Present Practice, but Safe and Effected in Alleviating that Disease, by George Crine*. London: R. Baldwin.
- John Hill. 1758b, 6th edn. *The Management of the Gout, with the Virtues of Burdock Root, First Us'd in the Author's Own Case, and Since in Many Other Successful Instances*. London: R. Baldwin.
- John Hill. 1771, 8th edn. *The Management of the Gout in Diet, Exercise and Temper: with the Virtues of BURDOCK Root, Taken in the Manner of Tea: First Us'd in the Year 1760; in the Author's Own Case; And Since in Many Other Successful Instances, to the Present Time. By J. Hill, M. D. Member of the Imperial Academy*. London: R. Baldwin.
- Hippocrates. 1839-61. *Oeuvres Complètes d'Hippocrate*, 10 vols. Ed. E. Littré. Paris: Ballière.
- Hippocrates. 1923-31. *Aphorisms*. Ed. W. H. S. Jones and E. T. Withington. In vol. 4 of *Hippocrates*. London: Heinemann, Loeb Edition.
- A. D. Hodgkiss. 1991. 'Chronic Pain in Nineteenth-Century British Medical Writings'. *History of Psychiatry*. ii, 27-40.
- F. David Hoeniger. 1992. *Medicine and Shakespeare in the English Renaissance*. Newark, Del.: University of Delaware Press.
- Friedrich Hoffman. 1754, 1st edn. *A Treatise of the Extraordinary Virtues and Effects of Asses Milk. . . In the Cure of Various Diseases, Particularly the Gout. . .* London: Whiston & White.
- Lady Holland, ed. 1855. *A Memoir of the Reverend Sydney Smith*. 2 vols. London: Longman, Brown, Green & Longmans.
- Sir Henry Holland. 1839. *Medical Notes and Reflections*. London: Longman, Orme, Brown, Green and Longmans.
- Sir Henry Holland. 1852. *Chapters on Mental Physiology*. London: Longman, Brown, Green and Longmans.
- Michael Hollington. 1984. *Dickens and the Grotesque*. London: Croom Helm.
- Richard Holmes. 1989. *Coleridge: Early Visions*. London: Hodder & Stoughton.
- Michael Holquist, ed. 1981. *The Dialogic Imagination: Four Essays by M. M. Bakhtin*. Trans. Caryl

- Emerson and Michael Holquist. Austin, Tex.: University of Texas Press.
- Thomas Hood. 1935. 'Lieutenant Lough'. In Walter Jerrold, ed. *The Complete Poetical Works of Thomas Hood*. London: Oxford University Press, 204.
- Robert Hopkins. 1969. 'The Function of the Grotesque in *Humphrey Clinker*'. *HLQ*. 32. February: 163-77.
- J. Huizinga. 1949; 1944, 1st edn. *Homo Ludens: A Study of the Play-Element in Culture*. London: Routledge & Kegan Paul.
- ホイジンガ『ホモ・ルーデンス』高橋英夫訳、中公文庫、2019年
- ヨハン・ホイジンガ『ホモ・ルーデンス——文化のもつ遊びの要素についてのある定義づけの試み』里見元一郎訳、講談社学術文庫、2018年
- Charles H. Hull. 1899. *The Economic Writings of Sir William Petty*, 2 vols. Cambridge: Cambridge University Press.
- Nathaniel Hulme, M. D. 1778. *The Stone and Gout*. London.
- David Hume. 1963. *Essays Moral, Political and Literary*. London: Oxford University Press.
- ヒューム『道徳・政治・文学論集』、田中敏弘訳、名古屋大学出版会、2011年
- Tony Hunt. 1990. *Popular Medicine in Thirteenth-Century England*. Cambridge: D. S. Brewer.
- Kathryn Montgomery Hunter. 1991. *Doctor's Stories: The Narrative of Medical Knowledge*. Princeton, N. J.: Princeton University Press.
- キャサリン・モンゴメリー『ドクターズ・ストーリーズ——医学の知の物語的構造』斎藤清二・岸本寛史監訳、新曜社、2016年
- N. Husson. 1783. *Collection de faits et recueil d'expériences sur le spécifique et les effets de l'eau médicinale*. Bouillon: J. Brasseur.
- N. Husson. 1807, 2nd edn. *Recit Historique de la decouvert, du progrès et publicité de l'eau médicinale. . . Proces-verbal de l'analyse. . . faite par MM. Cadet et Parmentier*. Paris: J. Grafiot.
- F. E. Hutchinson, ed. 1941. *The Works of George Herbert*. Oxford: Clarendon Press.
- Jonathan Hutchinson. 1884a. 'On the Relation of Certain Diseases of the Eyes to Gout'. Bowman Lecture. *British Medical Journal*. ii, 995-1000.
- Jonathan Hutchinson. 1884b. *The Pedigree of Disease*. London: Churchill.
- Jonathan Hutchinson. 1891. 'Gout and Longevity'. *Archives of Surgery*. III: 363.
- Robert Hutchinson, M. D. 1934. 'Medicine in Horace Walpole's Letters'. *Annals of Medical History*. vi: 57-61.
- Ulrich von Hutten. 1536, 2nd edn. *Of the Wood Called Guaiacum, that Healeth the Frenche Pocks and also Helpeth the Goute in the Feet, the Stoone, the Palsey and Other Dyseases*. London: Berthelet.
- B. Inglis. 1981. *The Diseases of Civilisation*. London: Hodder & Stoughton.
- D. Ingram. 1743. *An Essay on the Cause and Seat of the Gout*. Reading: J. Newbery.
- Richard Ingram. 1767. *The Gout: Extraordinary Cases in the Head, Stomach, and Extremities*. London: Vaillant.
- Ralph Jackson. 1988. *Doctors and Diseases in the Roman Empire*. London: British Museum Publications.
- E. G. Jaco, ed. 1958. *Patients, Physicians and Illness*. Glencoe, Ill.: The Free Press.
- M. Jacobus, ed. 1990. *Body/Politics: Women in the Discourses of Science*. London: Routledge.
- M・ジャコーバス、E・F・ケラー、S・シャトルワース編『ボディー・ポリティクス——女と科学言説』田間泰子・美馬達哉・山本祥子監訳、世界思想社、2003年
- Robert James. 1745, 1st edn. *A Treatise on Gout and Rheumatism Wherein a Method is Laid Down*

- of Relieving in an Eminent Degree Those Excruciating Distempers*. London: T. Osborne and J. Roberts.
- Saul Jarcho, trans. and ed. 1984. *The Clinical Consultations of Giambattista Morgagni*. Boston: Countway Library of Medicine.
- Saul Jarcho. 1993. *Quinine's Predecessor: Francesco Torti and the Early History of Cinchona*. Baltimore, Md: Johns Hopkins University Press.
- Sir James Jay. 1772. *Reflections and Observations on the Gout*. London: Kearsly.
- G. Jean-Aubry, ed. 1927. *Joseph Conrad: Life and Letters*, 2 vols. New York: Doubleday, Page & Co.
- Thomas Jeans. 1792. *A Treatise on the Gout, Wherein is Delivered a New Idea of its Proximate Cause and Consequent Means of Relief*. Southampton: T. Baker.
- R. W. Jeffery, ed. 1907. *Dyott's Diary*, 2 vols. London: Archibald Constable.
- N. D. Jewson. 1974. 'Medical Knowledge and the Patronage System in Eighteenth Century England'. *Sociology*, viii, 369-85.
- James Johnson. 1818. *Practical Researches on the Nature, Cure and Prevention of Gout*. London: Highley & Son.
- Samuel Johnson. 1827, 2nd edn. *A Dictionary of the English Language*. . . . London: Longman, Rees, Orme, Brown, and Green.
- Samuel Johnson. 1971. 'A Review of Soame Jenyns'. *A Free Enquiry into the Nature and Origin of Evil*. In B. Bronson, ed. *Samuel Johnson, Rasselas, Poems and Selected Prose*. San Francisco: Rinehart Press, 219-28.
- Edwin Godden Jones. 1810, 2nd edn. *An Account of the Remarkable Effects of the Eau Médicinale d'Husson in the Gout*. London: White & Cochrane.
- Great Jones. 1980. *Social Darwinism and English Thought: the Interaction between Biological and Social Theory*. Brighton: Harvester Press.
- Greta Jones. 1986. *Social Hygiene in Britain*. London: Croom Helm.
- Henry Bence Jones. 1842. *Gravel, Calculus and Gout*. London: Taylor and Walton.
- Henry Bence Jones. 1870. *Life and letters of Faraday*, 2 vols. London: Longmans, Green and Co.
- J. Jones. 1701. *The Mysteries of Opium Reveald*. London: R. Smith.
- H. M. E. Jong. 1965. 'Michael Maier's Atalanta Fugiens'. *Janus*. 52: 81-112.
- Ludmilla Jordanova. 1989. *Sexual Visions: Images of Gender in Science and Medicine between the Eighteenth and Twentieth Centuries*. Madison, Wis.: University of Wisconsin Press.
- ルドミラ・ジョーダノヴァ 『セクシュアル・ヴィジョン——近代医科学におけるジェンダー図像学』 宇沢美子訳、白水社、2001年
- Laurent Joubert. 1989. *Popular Errors*. Trans. and ed. Gregory David de Rocher. Tuscaloosa, Ala., and London: University of Alabama Press.
- James Joyce. 1946. *Ulysses*. New York: Random House.
- ジェイムズ・ジョイス 『ユリシーズ』 柳瀬尚紀訳、河出書房新社、2016年
- ジェイムズ・ジョイス 『ユリシーズ』 丸谷オー・永川玲二・高松雄一訳、集英社文庫、2003年
- Aubrey C. Kail. 1986. *The Medical Mind of Shakespeare*. Balgowlah, NSW: Williams & Wilkins.
- W. Kaiser. 1963. *Praisers of Folly*. Cambridge, Mass.: Harvard University Press.
- Barbara Beigun Kaplan. 1994. "Divulging of Useful Truths in Physick": *The Agenda of Robert Boyle*. Baltimore, Md: Johns Hopkins University Press.
- Fred Kaplan. 1975. *Dickens and Mesmerism: the Hidden Springs of Fiction*. Princeton, N. J.: Princeton University Press.
- Fred Kaplan. 1983. *Thomas Carlyle: A Biography*. Cambridge: Cambridge University Press.

- Frederick R. Karl. 1979. *Joseph Conrad: The Three Lives*. New York: Farrar, Straus and Giroux.
- Robert S. Karsh, M. D. 1960. 'Archeology and Arthritis'. *A. M. A. Archives of Internal Medicine*. vol. 105. April: 640-4.
- Wolfgang Kayser. 1963. *The Grottesque in art and literature*. Trans. Ulkrich Weisstein. Bloomington: Indiana University Press.
- ヴォルフガング・カイザー 『グロテスクなもの——その絵画と文学における表現』 竹内豊治訳、法政大学出版局、1968年
- M. Kearns 1987. *Metaphors of Mind in Fiction and Psychology*. Lexington, Ky: University Press of Kentucky.
- Kenneth D. Keele, M. D. 1957. *Anatomies of Pain*. Oxford: Blackwell Scientific Publications.
- Kenneth D. Keele, 1965. *William Harvey: The Man, the Physician, and the Scientist*. London: Nelson.
- R. Y. Keers. 1982. 'Richard Morton (1637-98) and his "Physiologia"'. *Thorax*. xxxvii, 26-31.
- Henty Ansgar Kelly. 1993. *Ideas and Forms of Tragedy from Aristotle to the Middle Ages*. Cambridge: Cambridge University Press
- Lionel Kelly, ed. 1987. *Tobias Smollett: The Critical Heritage*. London: Routledge; New York: Kegan Paul.
- Richard Kentish. 1787. *An Essay on Sea-Bathing*. London: J. Murray.
- Richard Kentish. 1789, 1791. *Advice to Gouty Persons*. London: J. Murray.
- Charles Kerby-Miller, ed. 1988. *The Memoirs of the Extraordinary Life, Works, and Discoveries of Martinus Scriblerus*. Oxford: Oxford University Press.
- Alvin B. Kernan. 1959. *The Cankered Muse: Satire of the English Renaissance*. New Haven: Yale University Press.
- G. D. Kersley. 1956. 'Eunuchs Do Not Take the Gout'. *Medical Journal of the Southwest*. lxxi, 136-7.
- R. W. Ketton-Cremer. 1955. *Thomas Gray: A Biography*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Geoffrey Keynes, ed. 1928. *The Collected Works of Sir Thomas Browne*. London: Faber.
- Geoffrey Keynes, 1966. *The Life of William Harvey*. Oxford: Clarendon Press.
- J. King and C. A. Ryskamp, eds. 1979-84. *The Letters and Prose Writings of William Cowper*, 4 vols. Oxford: Clarendon Press.
- Lester S. King. 1958. *The Medical World of the Eighteenth Century*. Chicago: University of Chicago Press.
- Lester S. King. 1970. *The Road to Medical Enlightenment, 1650-1695*. London: Macdonald; New York: American Elsevier.
- Lester S. King. 1978. *Medical Philosophy, the Early Eighteenth Century*. Cambridge, Mass.: Harvard University Press.
- D. King-Hele, ed. 1963. *Erasmus Darwin*. London: Macmillan.
- D. King-Hele, ed. 1968. *The Essential Writings of Erasmus Darwin*. London: MacGibbon & Kee.
- D. King-Hele. 1977. *Doctor of Revolution: The Life and Genius of Erasmus Darwin*. London: Faber.
- デズモンド・キング＝ヘレ 『エラズマス・ダーウィン——生命の幸福を求めた博物学者の生涯』 和田芳久訳、工作舎、1993年
- D. King-Hele, ed. 1981. *The Letters of Erasmus Darwin*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Robert Kinglake. 1804, 1st edn. *A Dissertation on Gout*. London: J. Murray.
- Robert Kinglake. 1807a. *Strictures on Mr Parkinson's Observations on the Nature and Cure of Gout*. Taunton: J. Poole.
- Robert Kinglake. 1807b. *Additional Cases of Gout in Father Proof of the Efficacy of the Cooling Treatment*. Taunton: J. Poole.

- Kenneth F. Kiple, ed. 1993. *The Cambridge World History of Human Disease*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Eugene P. Kirk. 1980. *Menippean Satire*. New York: Garland.
- James Kirkpatrick, M. D. 1758. A Review of George Crine's 'The Management of the Gout'. *Monthly Review*. June: 531-32
- Arthur Kleinman. 1980. *Patients and Healers in the Context of Culture: An Exploration of the Borderline between Anthropology, Medicine and Psychiatry*. Berkeley, Calif.: University of California Press.
- アーサー・クラインマン 『臨床人類学——文化のなかの病者と治療者』 大橋英寿ほか訳、河出書房新社、2021年
- Arthur Kleinman, 1981. 'The Meaning Context of Illness and Care: Reflections on a Central Theme in the Anthropology of Medicine'. In E. Mendelsohn and Y. Elkana, eds. *Science and Cultures*. Dordrecht: Kluwer, 161-76.
- Arthur Kleinman. 1986. *Social Origins of Distress and Disease: Depression, Neurasthenia, and Pain in Modern China*. New Haven, Conn.: Yale University Press.
- Arthur Kleinman. 1988. *Illness Narratives: Suffering, Healing and the Human Condition*, New York: Basic Books.
- アーサー・クラインマン 『病いの語り——慢性の病いをめぐる臨床人類学』 江口重幸・五木田紳・上野豪志訳、誠信書房、1996年
- James R. Klinenberg, M. D. 1969. 'Current Concepts of Hyperuricemia and Gout'. *California Medicine*. 10(3). March: 231-43.
- Rudolf Klutzmann. 1998. *Gicht-Gier-Gröse-Macht*. Munich: Psychosozial Verlag.
- Lewis M. Knapp. 1949. *Tobias Smollett: Doctor of Men and Manners*. Princeton, N. J.: Princeton University Press.
- Lewis M. Knapp, ed. 1970. *The Letters of Tobias Smollett*. Oxford: Clarendon Press.
- U. C. Knoepfelmacher. 1970. 'The Poet as Physician: Pope's *Epistle to Dr. Arbuthnot*'. *Modern Language Quarterly*. xxxi, 440-9.
- Owen Knowles. 1989. *A Conrad Chronology*. London: MacMillan.
- Wayne Koestenbaum. 1989. *Double Talk: The Erotics of Male Literary Collaboration*, London: Routledge.
- John C. Kramer. 1979. 'Opium Rampant: Medical Use, Misuse and Abuse in Britain and the West in the 17th and 18th Centuries'. *British Journal of Addiction*. lxxiv, 377-89.
- Paul Kristeller. 1979. *Renaissance Thought and its Sources*. New York: Columbia University Press.
- Peter Krivasy. 1973. 'Erasmus's Medical Milieu'. *Bulletin of the History of Medicine*. xlvii, 113-54.
- Paul de Kruif. 1959. 'They've Taken the Agony Out of Gout'. *Today's Health*. August: 24-76.
- Milan Kundera. 1995. *Testaments Betrayed*. London: Faber.
- David Kunzle. 1989. 'The Art of Pulling Teeth in the Seventeenth and Nineteenth Centuries: From Public Martyrdom to Private Nightmare and Political Struggle'. In M. Feher, ed. *Fragments for a History of the Human Body*, vol. 3. New York: Zone, 28-89.
- A Lady. 1925. 'The Doctor Dissected: or Willy Cadogan in the Kitchen'. Reprinted in J. Ruhräh. *William Cadogan (His Essay on Gout)*. New York: P. B. Hoeber, 104-14.
- P. Laigel-Lavastine. 1937. 'La Goutte a Byzance'. *Annales Internationales de medicine physique et physio-biologie*. vol. 30: 49-57.
- Jean de La Fontaine. 1966. *Fables*. Ed. Antoine Adam. Paris: Flammarion.
- ジャン・ド・ラ・フォンテーヌ 『ラ・フォンテーヌの寓話』 窪田般彌訳、沖積舎、2006年

- ラ・フォンテーヌ『ラ・フォンテーヌ寓話』市原豊太訳、白水社、1997年
- The Marquis of Lansdowne, ed. 1934. *The Queeney Letters*. London: Cassell.
- John Latham. 1796, 1st edn. *On Rheumatism and Gout*. . . . London: Longman.
- Peter Wallwork Latham. 1895-97. *Lectures on Pharmacology for Practitioners and Students*. London: New Sydenham Society.
- Robert Latham and William Matthews, eds. 1970-83. *The Diary of Samuel Pepys*. London: Bell & Hyman.
- サミュエル・ピープス『サミュエル・ピープスの日記 全10巻』白田昭・岡照雄・海保眞夫訳、国文社、1987-2012年
- Christopher J. Lawrence. 1975. 'William Buchan: Medicine Laid Open'. *Medical History*. xix, 20-35.
- Christopher J. Lawrence, 1984. 'Medicine as Culture: Edinburgh and the Scottish Enlightenment'. Ph. D. thesis, University of London.
- Christopher J. Lawrence, 1985. 'Incommunicable Knowledge: Science, Technology and the Clinical Art in Britain, 1850-1914'. *Journal of Contemporary History*. xx, 503-20.
- Christopher J. Lawrence. 1988. 'Cullen, Brown and the Poverty of Essentialism'. In W. F. Bynum and Roy Porter, eds. *Brunonianism in Britain and Europe*. London: Medical History, Supplement 8, 1988, 1-21.
- Christopher J. Lawrence. 1994. *Medicine in the Making of Modern Britain, 1700-1920*. London and New York: Routledge.
- Thomas Laycock. 1840. *A Treatise on the Nervous Diseases of Women*. London: Longman, Orme, Brown, Green and Longmans.
- Thomas Laycock. 1857-58 'Clinical Observations on a Characteristic of the Urine in Rheumatism and Gout'. *Edinburgh Medical Journal*. iii, 107-21.
- Thomas Laycock. 1869, 2nd edn. *Mind and Brain*. London: Simkin Marshall.
- John Lee. 1782. *A Narrative of a Singular Gouty Case, with Observations*. London: the author and T. Evans.
- John Lee. 1785, 2nd edn: *A Narrative of a Singular Gouty Case, with Observations*. London: Debrett.
- [Antoni van Leeuwenhoek]. 1685. 'An Abstract of a Letter of Mr. Anthony Leeuwenhoek Fellow of the R. Society, Concerning the Parts of the Brain of Severall Animals; the Chalk Stones of the Gout; the Leprosy; and the Scales of Eeles'. *Philosophical Transactions*. xv, 883-95.
- Joseph Thomas Sheridan Le Fanu. 1884. *In a Glass Darkly*. London: Richard Bentley & Son.
- M. Lefebure. 1974. *Samuel Taylor Coleridge: A Bondage of Opium*. London: V. Gollancz.
- J. A. Leo Lemay and G. S. Rousseau. 1978. *The Renaissance Man in the Eighteenth Century*. Los Angeles: William Andrews Clark Library.
- John E. Lesch. 1984. *Science and Medicine in France: The Emergence of Experimental Physiology 1790-1855*. Cambridge, Mass.: Harvard University Press.
- J. Levine. 1987. *Humanism and History: Origins of Modern English Historiography*. London: Oxford University Press.
- J. Levine. 1991a. *The Battle of the Books: History and Literature in the Augustan Age*. Ithaca, NY, and London: Cornell University Press.
- J. Levine, 1991b. *Dr. Woodward's Shield: History, Science, and Satire in Augustan England*. Ithaca, NY: Cornell University Press.
- F. J. Levy, ed. 1972. *Francis Bacon, The History and the Reign of King Henry the Seventh*. Indianapolis: The Bobbs-Merrill Company.
- C. S. Lewis. 1940. *The Problem of Pain*. London: Centenary Press.

- 『痛みの問題』中村妙子訳（C・S・ルイス宗教著作集3）、新教出版社、2004年
- W. S. Lewis, ed. 1937-83. *The Yale Edition of Horace Walpole's Correspondence*, 48 vols. New Haven, Conn.: Yale University Press.
- M. Charles Luis Liger, M. D. 1760. 'A Treatise on the Gout: from the French of M. Charles Luis Liger'. *Critical Review*. April: 283-8.
- David C. Lindberg and Robert S. Westman, eds. 1990. *Reappraisals of the Scientific Revolution*. Cambridge: Cambridge University Press.
- G. A. Lindeboom. 1968. *Herman Boerhaave: The Man and his Work*. London: Methuen.
- G. A. Lindeboom, ed. 1970. *Boerhaave and his Time*. Leiden: E. J. Brill.
- G. A. Lindeboom, 1974. *Boerhaave and Great Britain*. Leiden: E. J. Brill.
- Carl Linnaeus. 1772. *Fraga vesca dissertatione botanica. . . Præsiede. . . Carolo Linné. . . die XXXVI. maji a. MDCCLXXII. . . Publicæ ventilationi proposita a. . . Sevone Andr. Hedin, &c.* Uppsalae: Typis Edmannianis.
- D. Little and G. Kahl, eds. 1963. *The Letters of David Garrick*, 3 vols. London: Oxford University Press.
- Edward Liveing. 1873. *On Megrin, Sick-Headache, and Some Allied Disorders*. London: Churchill.
- Llewellyn Jones Llewellyn. 1927. *Aspects of Rheumatism and Gout: Their Pathogeny, Prevention and Control*. London: William Heinemann Medical Books.
- Llewellyn Jones Llewellyn and A. B. Jones. 1915. *Fibrositis (Gouty, &c.)*. London: W. Heinemann.
- R. L. J. Llewellyn. 1920. *Gout*. London: W. Heinemann.
- G. E. R. Lloyd. 1983. *Science, Folklore, and Ideology*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Theophilus Lobb. 1739. *A Treatise on Dissolvents of the Stone. . . and on Curing the Stone and Gout*. London: Buckland.
- Peter M. Logan. 1992. *Nerves and Narrative: The Body in Nineteenth-Century British Prose*. Unpublished Ph. D. dissertation. University of Michigan.
- London Magazine*. 1734. 'On the Gout'. December: 660.
- London Magazine*. 1735. 'On the First Fit of the Gout'. September: 506.
- London Magazine*. 1739. 'A Cure fur the Gout'. June: 298.
- London Magazine*. 1748. 'Several Methods of Curing the Gout'. 228.
- London Magazine*. 1753. 'For the Gout or Rheumatism'. 396.
- London Magazine*. 1754. 'To a Man of Quality and Great Riches Confined by the Gout'. December: 603.
- London Magazine*. 1755. 'A Dissertation on the Gout'. Letter from R. Drake to Editor. October: 611-13.
- The London Magazine*. 1756. 'Purging in the Gout'. Letter from Sir Richard Steele: 586.
- The London Magazine*. 1758. 'The Management of the Gout'. From Dr. Crines pamphlet. April: 190-1.
- The London Magazine*. 1758. 'Boerhaave's Remedy for the Gout'. December: 639.
- Morris Longstreth, M. D. 1962. *Rheumatism, Gout, and Some Allied Disorders*. New York: William Wood and Company.
- Carlos Lopéz-Beltrán. 1992. 'Human Heredity 1750-1870: The Construction of a Domain'. Ph. D. dissertation. King's College, London.
- Carlos Lopéz-Beltrán. 1994. 'Forging Heredity: From Metaphor to Cause. A Reification Story'. *Studies in the History and Philosophy of Science*. xxv, 211-35.
- Françoise Loux. 1978. *Sagesse du Corps: Santé et maladie dans les proverbs régionaux franÿaises*.

- Paris: Maisonneuve et Larose.
- Françoise Loux. 1979. *Pratiques et savoirs populaires: le corps dans la société traditionnelle*. Paris: Berger-Levrault.
- Françoise Loux. 1988. 'Popular Culture and Knowledge of the Body. Infancy and the Medical Anthropologists'. In R. Porter and A. Wear, eds. *Problems and Methods in the History of Medicine*. London: Croom Helm, 81-97.
- Françoise Loux. 1993. 'Folk Medicine'. In W. F. Bynum and Roy Porter, eds. *Companion Encyclopedia of the History of Medicine*. London: Routledge, 661-75.
- A. O. Lovejoy. 1948. *Essays in the History of Ideas*. Baltimore, Md: Johns Hopkins University Press.
- アーサー・O・ラヴジョイ 『観念の歴史』 鈴木信雄ほか訳、名古屋大学出版会、2003年
- Richard Lower. 1932. *De Corde* (1669); *Treatise on the Heart*. Intro. and Trans. K. J. Franklin. Oxford: the subscribers.
- E. V. Lucas, ed. 1935. *The Letters of Charles Lamb to Which are Added Those of his Sister Mary Lamb*. London: J. M. Dent & Sons Ltd.
- Lucian. 1749. *The Triumphs of the Gout*, in *Odes of Pindar*, trans. Gilbert West. London: Dodsley.
- Lucian, 1967. 8 vols. Trans. A. M. Harmon, N. Kilburn and M. D. Macleod. London: W. Heinemann.
- A. P. Luff. 1898. *Gout: Its Pathology and Treatment*. London: Cassell.
- Brandon Lush, ed. 1961. *Concepts of Medicine*. Oxford: Pergamon Press.
- Tom Lutz. 1991. *American Nervousness, 1903: An Anecdotal History*. Ithaca: Cornell University Press.
- Lady Luxborough. 1775. *Letters Written to William Shenstone*. n. p: n. p.
- Kenneth S. Lynn. 1987. *Hemingway*. New York: Simon & Schuster.
- J. B. Lyons. 1973. *James Joyce and Medicine*. Dublin: Dolmen Press.
- Jean-Francois Lyotard. 1984. *The Postmodern Condition: a report on knowledge*. Minneapolis University of Minnesota Press.
- ジャン・フランソワ・リオタール 『ポスト・モダンの条件——知・社会・言語ゲーム』 小林康夫訳、水声社、1989年
- The Right Hon. Lord Lytton. *A Strange Story*. 1875. London: Routledge and Sons.
- E・ブルワ・リットン 『不思議な物語』 中西敏一訳、(世界幻想文学大系、紀田順一郎・荒俣宏責任編集)、国書刊行会、1985年
- Ida Macalpine and Richard Hunter. 1969. *George III and the Mad-Business*. London: Allen Lane.
- Daniel J. McCarty. 1970. 'A Historical Note: Leeuwenhoek's Description of Crystals from a Gouty Tophus'. *Arthritis and Rheumatism*. xiii, 414-18.
- W. J. McCormack. 1980. *Sheridan Le Fanu and Victorian Ireland*. Oxford: Clarendon Press.
- Maurice and Lewis Sawin McCullen. 1977. *A Dictionary of the Characters in George Meredith's Fiction*. New York: Garland Publishing, Inc.
- Michael MacDonald. 1981. *Mystical Bedlam: Madness, Anxiety and Healing in Seventeenth Century England*. Cambridge: Cambridge University Press.
- A. J. S. McFadzean. 1965. 'A Eunuch Takes the Gout'. *British Medical Journal*. i, 1038-9.
- Barbara McGovern. 1992. *Anne Finch and her Poetry: A Critical Biography*. Athens, Ga: University of Georgia Press.
- Francis McKee. 1991. 'The Earlier Works of Bernard Mandeville. 1685-1715'. Ph. D. thesis, Glasgow University.
- Francis McKee. 1994. 'Honeyed Words: Bernard Mandeville and Medical Discourse'. In Roy Porter, ed. *Medicine and the Enlightenment*. Amsterdam: Rodopi, 223-55.

- Neil McKendrick, John Brewer and J. H. Plumb. 1982. *The Birth of a Consumer Society: The Commercialization of Eighteenth-Century England*. London: Europa.
- James Mackenzie. 1758. *The History of Health*. Edinburgh.
- T. McKeown. 1965. *Medicine in Modern Society*. London: George Allen & Unwin.
- T. McKeown. 1976. *The Modern Rise of Population*. London: Edward Arnold; New York: Academic Press.
- T. McKeown. 1979. *The Role of Medicine: Dream, Mirage or Nemesis?*. Oxford: Blackwell.
- T. McKeown. 1988. *The Origins of Human Disease*. Oxford: Basil Blackwell.
- Sir James Mackintosh. 1791. *Vindiciae Gallicae*. Dublin: Corbet.
- Natalie McKnight. 1993. *Idiots, Madmen, and Other Prisoners in Dickens*. New York: St. Martin's Press. pp. 1-29.
- George MacLennan. 1993. *Lucid Interval: Subjective Writing and Madness in History*. Rutherford/Madison/Teaneck: Fairleigh Dickinson University Press.
- R. K. McLure. 1981. *Coram's Children: The London Foundling Hospital in the Eighteenth Century*. New Haven, Conn.: Yale University Press.
- C. E. McMahan. 1976. 'The Role of Imagination in the Disease Process: Pre-Cartesian History'. *Psychological Medicine*. vi, 179-84.
- R. D. McMaster. 1991. *Thackeray's Cultural Frame of Reference*. Montreal: McGill University Press.
- W. H. McNeill. 1976. *Plagues and Peoples*. Oxford: Anchor Press.
- ウィリアム・H・マクニール『疫病と世界史』佐々木昭夫訳、中公文庫、2007年
- Andreas-Holger Maehle. 1995. 'Experimental Research on the Effects of Opium in the Eighteenth Century'. In Roy Porter and Mikuláš Teich, eds. *Drugs and Narcotics in History*. Cambridge: Cambridge University Press, 52-76.
- Michael Maier. 1654. *Lusus Serius: Or, Serious Passe-time. A Philosophical Discourse Concerning the Superiority of Creatures under Man*. London: Humphrey Moseley.
- J. F. Malgaigne. 1965. *Surgery and Ambroise Paré*. Trans. W. B. Hamby. Norman, Okla.: University of Oklahoma Press.
- Mallam. 1993. *Mallam's Auction Catalog*. Manuscript lot 362. Oxford.
- Marcello Malpighi. 1661. *De Pulmonibus*. Bologna: Io. Baptiste Ferronij.
- Bernard Mandeville. 1970. *The Fable of the Bees*. Ed. Philip Harth. Harmondsworth: Penguin.
- バーナード・マンデヴィル『新訳 蜂の寓話——私悪は公益なり』鈴木信雄訳、日本経済評論社、2019年
- バーナード・マンデヴィル『蜂の寓話——私悪すなわち公益』泉谷治訳、法政大学出版局、2015年
- Robert M. Maniquis. 1969. 'The Puzzling *Mimosa*: Sensitivity and Plant Symbols in Romanticism'. *Studies in Romanticism*. viii: 129-55.
- T. A. Mann. 1784. *The Extraordinary Case and Perfect Cure of the Gout by the Use of Hemlock and Wolfsbane*. London: J. Stockdale.
- A. Marcovich. 1982. 'Concerning the Continuity between the Image of Society and the Image of the Human Body: An Examination of the Work of the English Physician J. C. Lettsom (1746-1815)'. In Peter W. G. Wright and A. Treacher, eds. *The Problem of Medical Knowledge*. Edinburgh: Edinburgh University Press, 69-87.
- Harry M. Marks. 1992. 'Cortisone, 1949: A Year in the Political Life of a Drug'. *Bulletin of the History of Medicine*. lxvi, 419-39.
- Hilary Marland. 1987. *Medicine and Society in Wakefield and Huddersfield*. Cambridge: Cambridge University Press.

- Thomas Marryat, M. D. 1798. *Therapeuties or, the Art of Healing to Which Is Added, a Glossary of the More Difficult Words*. Bustal.
- Edmund Marshall. 1770, 2nd edn. *A Candid and Impartial State of the Evidence of a Very Great Probability, That there is discovered By Monsieur Le Fevre, A Regular Physician, Presiding and Practicing at Liege in Germany, A Specific for the Gout. Containing the Motives which induced the Authors to listen to the Pretensions of the Liege Medicine; with an Account of its Operations and Effects in his own Case. To which is Added, A Narrative of the Cases of several other Patients, Persons of Rank and Reputation, who have been cured, or are now in the Course of a Cure of the Gout, by the Efficacy of Dr. Le Fevre's Powders, communicated by themselves to the Author, during his Residence at Liege. In an Appendix is given An Account of a House fitted up at Liege, for the Reception of the English only; with a Table of the Expence of the different Accommodations. Also a Detail of the best and most approved Inns upon the Road to Liege, either by the Rout of Calais or Ostend*. Canterbury: printed for the author by Simmons and Kirby.
- Benjamin Marten. 1720. *A New Theory of Consumptions, More Especially of a Phthisis, or Consumption of the Lungs*. London: Knaplock.
- John Marten. 1706. *A Treatise of the Safe, Internal Use of Cantharides in Physick. . . To Which Are Added Observations. . . of the. . . Doctor [J. Groenevelt]. . . Likewise a Letter to the Doctor of the Effects of Cantharides in the Gout*. London: J. Wale & J. Isted.
- John Marten. 1708, 6th edn. *A Treatise of All the Symptoms of the Venereal Disease, in Both Sexes*. London: Crouch.
- John Marten. 1713. *The Attila of the Gout, Being a Peculiar Account of That Distemper. . . And an Infallible Method to Cure It*. London. Printed for the Author and sold by N. Crouch.
- John Marten. 1737, 4th edn. *The Dishonour of the Gout: or, A Serious Answer to a Ludicrous Pamphlet, Lately Publish'd Entitled, The Honour of the Gout; Shewing, I. That the Gout is One of the Greatest Misfortunes that Can Happen. . . II. That All Those Afflicted. . . Would Gladly be Rid of It. And III. That There is a Safe and Sure Cure for It*, corr. and enl. London: J. Isted.
- John Marten. 1738, 4th edn. *A Treatise of the Gout*. London: J. Torbuck & E. Torbuck.
- Charles Martin, M. D. 1759. 'A Treatise on the Gout'. *Critical Review*, March: 281-2.
- Julian Martin. 1988. 'Explaining John Freind's *History of Physick*'. *Studies in the History and Philosophy of Science*. xix, 399-418.
- L. C. Martin, ed. 1963. *The Poetical Works of Robert Herrick*. Oxford: Clarendon Press.
- R. B. Martin. 1980. *Tennyson: The Unquiet Heart*. Oxford: Clarendon Press.
- Edwine M. Martz, ed. 1983. *Horace Walpole's Correspondence: Additions and Corrections*. New Haven: Yale University Press.
- Massachusetts Historical Society. 1969. *Catalogue of Manuscripts of the Massachusetts Historical Society*, 9 vols. Boston, Mass.: G. K. Hall.
- Cotton Mather. 1994. *The Christian Philosopher*, Intro., Ed., and Notes Winton U. Solberg. Urbana and Chicago: University of Illinois Press.
- Samuel Mather. 1729. *The Life of the Very Reverend and Learned Cotton Mather, D. D. & F. R. S.* Boston: Samuel Gerrish.
- O. Mayr. 1986. *Authority, Liberty and Automatic Machines in Early Modern Europe*. Baltimore: Johns Hopkins University Press.
- オットー・マイヤー 『時計じかけのヨーロッパ——近代初期の技術と社会』 忠平美幸訳、平凡社、1997年
- Pauline M. H. Mazumdar. 1992. *Eugenics, Human Genetics and Human Failings. The Eugenics*

- Society, its Sources and its Critics in Britain*. London: Routledge.
- Richard Mead. 1702. *Mechanical Accounts of Poisons*. London: Ralph Smith.
- Richard Mead. 1721. *A Discourse on the Plague*. London: J. Darby.
- Richard H. Meade. 1974. *In the Sunshine of Life: A Biography of Dr. Richard Mead 1673-1754*. Philadelphia, Pa: Dorrance & Company.
- David Mechanic. 1962. 'The Concepts of Illness Behavior'. *Journal of Chronic Diseases*. xv, 189-94.
- J. Melling and J. Barry, eds. 1992. *Culture in History*. Exeter. Exeter Studies in History.
- Ronald Melzack and Patrick D. Wall. 1983. *The Challenge of Pain*. New York: Basic Books.
- E. Mendelsohn and Y. Elkana, eds. 1981. *Science and Cultures*. Dordrecht: Kluwer.
- Sara Haller Mendelson. 1987. *The Mental World of Stuart Women*. Amherst, Mass.: University of Massachusetts Press.
- Alex Mercer. 1990. *Disease, Mortality and Population in Transition: Epidemiological-demographic Change in England Since the Eighteenth Century as Part of a Global Phenomenon*. Leicester: Leicester University Press.
- Mercurius Pragmaticus*. 1649. 30 January. Full run: September 1647-May 1649.
- George Meredith. 1906, rev. edn. *The Adventures of Harry Richmond*. New York: Scribner's.
- Linda E. Merians, ed. 1996. *Venereal Disease in the Eighteenth Century*. Kentucky: University of Kentucky Press.
- E. S. Merton. 1969. *Science and Imagination in Sir Thomas Browne*. New York: Octagon.
- Dieter Paul Mertz. 1990. *Geschichte der Gicht: Kultur-und Medizinhistorische Betrachtungen*. Stuttgart and New York: Thieme Verlag.
- Jeffrey Meyers. 1991. *Joseph Conrad: A Biography*. New York: Charles Scribner's Sons.
- Mark S. Micale. 1993. 'On the "Disappearance" of Hysteria: A Study in the Clinical Deconstruction of a Diagnosis'. *Isis*. lxxxiv, 496-526.
- Mark S. Micale. 1995. *Approaching Hysteria: Disease and its Interpretations*. Princeton, N. J.: Princeton University Press.
- H. C. Erik Midelfort. 1994. *Mad Princes of Renaissance Germany*. Charlottesville and London: University Press of Virginia.
- Mary Milner. 1842. *Life of Isaac Milner*. London: Parker.
- Philander Misaurus [pseud.]. 1699; 1720; 1735. *The Honour of the Gout*. London: printed for A. Baldwin; London, s. n.; London: R. Gosling.
- B. Mitchell and H. Penrose, eds. 1983. *Letters from Bath 1766-1767 by the Rev. John Penrose*. London: Alan Sutton.
- G. M. Mody and P. D. Naidoo. 1984. 'Gout in South African Blacks'. *Annals of Rheumatic Diseases*. xliii, 394-7.
- Ellen Moers. 1960. *The Dandy: Brummel to Beerbohm*. London: Secker and Warburg.
- H. J. Montoye, J. A. Faulkner, H. J. Dodge, W. M. Mikkelsen, P. W. Willis 3rd, W. D. Block. 1967. 'Serum Uric Acid Concentration among Business Executives'. *Annals of Internal Medicine*. lxvi, 838-49.
- M. Mooney. 1757. *A Letter to a Physician Concerning the Gout and Rheumatism*. London: for the author.
- Edward Duke Moore. 1864. *Memorandums and Recollections on Gout and Rheumatism, and their Treatment with a Few Practical Remarks on Sciatica and Lumbago*. London: J. Churchill.
- Robert E. Moore. 1948. *Hogarth's Literary Relationships*. Minneapolis, Minn.: University of Minnesota Press.

- Arthur D. Morris. 1989. *James Parkinson, His Life and Times*. Boston: Birkhauser.
- David B. Morris. 1991. *The Culture of Pain*. Berkeley and Los Angeles, Calif.: University of California Press.
- デイヴィッド・B・モリス『痛みの文化史』渡邊勉・鈴木牧彦訳、紀伊國屋書店、1998年
- Richard Morton. 1694. *Phthisiologia: Or A Treatise of Consumptions. Wherein the Difference, Nature, Causes, Signs and Cure of All Sorts of Consumptions Are Explained*. London: S. Smith and B. Walford.
- Walter Moyle. 1796. *Democracy Vindicated. An Essay on the Constitution and Government of the Roman State*. Ed. John Thelwall. Norwich: March.
- Isadore G. Mudge and M. Earl Sears. 1910. *A Thackeray Dictionary*. London: George Routledge & Sons.
- Richard Mullen. 1990. *Anthony Trollope: A Victorian in his World*. London: Duckworth.
- Charles F. Mullett. 1946. 'Public Baths and Health in England, 16th-18th Century'. *Bulletin of the History of Medicine*. Supplement 5.
- Ann Mullins. 1968. 'William Cadogan, a Physician in Advance of his Time'. *History of Medicine (London)*. October: 11-12.
- Charles Murchison. 1862. *A Treatise on the Continued Fevers of Great Britain*. London: Parker & Bourn.
- Charles Murchison. 1868. *Clinical Lectures on Diseases of the Liver, Jaundice and Abdominal Dropsy*. London: Longmans, Green.
- P. Murray, ed. 1989. *Genius: The History of An Idea*. Oxford: Basil Blackwell.
- Samuel Musgrave. 1779. *Gulstonian Lectures Read at the Royal College of Physicians*. London: T. Payne.
- William Musgrave. 1703. *De Arthritide Symptomtica*. Exoniae: Farley for Yeo and Bishop.
- Daniel M. Musher. 1967. 'The Medical Views of Dr Tobias Smollett (1721-1771)'. *Bulletin of the History of Medicine*. xli, 455-62.
- R. A. Mynors and D. F. Thomson, trans. 1974-94. *The Correspondence of Erasmus*, II vols. Toronto: University of Toronto Press.
- Doreen Evenden Nagy. 1988. *Popular Medicine in Seventeenth-Century England*. Bowling Green, Oh: Bowling Green State University Popular Press.
- Zdzistaw Najder. 1983. *Joseph Conrad: A Chronicle*. New Brunswick: Rutgers University Press.
- Benjamin Nangle. 1934. *The Monthly Review*. Oxford. Oxford University Press.
- Anna K. Nardo. 1991. *The Ludic Self in Seventeenth-Century English Literature*. Albany, NY: State University of New York Press.
- Thomas Nash. 1600. *A Pleasant Comedie, Called Summers Last Will and Testament*. London: Simon Stafford.
- Lucien Nass. 1914. *Curiosites Medico-Artistiques*. Paris: Librairie le Francois. 57-9.
- R. S. Neale. 1981. *Bath 1680-1850: A Social History*. London: Routledge & Kegan Paul.
- Gilbert Nelson. 1727. *The Nature, Cause and Symptoms of the Gout*. London: T. Warner.
- G. Nelson. 1728. *A Short Account of Certain Remedies Used in the Cure of the Gout*. London, s. n.
- Virgil Nemoianu. 1989. 'Illness and Style: The Case of Bramble's Hypochondria'. In *A Theory of the Secondary: Literature, Progress and Reaction*. Baltimore, Md: Johns Hopkins University Press.
- M. Neuburger. 1932. *The Doctrine of the Healing Power of Nature Throughout the Course of Time*. Trans. J. Boyd. New York, s. n.
- Melvyn and Joan New, eds. 1978. *The Florida Edition of the Works of Laurence Sterne: 'Tristram*

- Shandy*. vol. ii. Gainesville, Fla: University Press of Florida.
- ロレンス・スターン『トリストラム・シャンディ』朱牟田夏雄訳、岩波文庫、1969年
- Malcolm Nicolson. 1988. 'The Metastatic Theory of Pathogenesis and the Professional Interests of the Eighteenth-Century Physician'. *Medical History*. xxxii, 277-300.
- Marjorie Hope Nicolson. 1946. *Newton Demands the Muse: Newton's Opticks and Eighteenth Century Poets*. Princeton, N. J.: Princeton University Press.
- Marjorie Hope Nicolson. 1959. *Mountain Gloom and Mountain Glory: The Development of the Aesthetics of the Infinite*. Ithaca, New York: Cornell University Press.
- M・H・ニコルソン『暗い山と栄光の山——無限性の美学の展開』小黒和子訳、国書刊行会、1989年
- Marjorie Hope Nicolson. 1960. *The Breaking of the Circle*. New York: Columbia University Press.
- M・H・ニコルソン『円環の破壊——17世紀英詩と「新科学」』小黒和子訳、みすず書房、1999年
- Marjorie Hope Nicolson and G. S. Rousseau. 1968. '*This Long Disease, My Life*': *Alexander Pope and the Sciences*. Princeton, N. J.: Princeton University Press.
- P. Niebyl. 1971. 'The Non-Naturals'. *Bulletin of the History of Medicine*. xlv, 486-92.
- Andrew Nikiforuk. 1992. *The Fourth Horseman. A Short History of Epidemics, Plagues and Other Scourges*. London: Fourth Estate.
- C. H. von Noorden. 1910. *Technique of Reduction Cures and Gout*. New York: Treat.
- J. E. Norton, ed. 1956. *The Letters of Edward Gibbon*, 3 vols. New York: The Macmillan Company.
- J. O. Nriagu. 1983. 'Saturnine Gout Among Roman Aristocrats. Did Lead Poisoning Contribute to the Fall of the Empire?'. *New England Journal of Medicine*. cccvii, 660-3.
- Claud Nugent. 1898. *Memoir of Robert, Earl Nugent*. Chicago: H. S. Stone & Co.
- Ronald L. Numbers and Darrel W. Amundsen, eds. 1986. *Caring and Curing. Health and Medicine in the Western Medical Traditions*. New York: Macmillan.
- Vivian Nutton. 1985. 'Murders and Miracles: Lay Attitudes towards Medicine in Classical Antiquity'. In Roy Porter, ed. *Patients and Practitioners: Lay Perceptions of Medicine in Pre-Industrial Society*. Cambridge: Cambridge University Press, 23-54.
- Vivian Nutton. 1993. 'Humoralism'. In W. F. Bynum and Roy Porter, eds. *Companion Encyclopedia of the History of Medicine*. London: Routledge, 281-91.
- William B. Ober, 1979. *Boswell's Clap and Other Essays: Medical Analyses of Literaty Men's Afflictions*. Carbondale, Ill.: Southern Illinois University Press.
- William B. Ober, 1987. *Bottoms Up! A Pathologist's Essays on Medicine and the Humanities*. Carbondale and Edwardsville, Ill.: Southern Illinois University Press.
- Robert Olby. 1993. 'Constitutional and Hereditary Disorders'. In W. F. Bynum and Roy Porter, eds. *Companion Encyclopedia of the History of Medicine*. London: Routledge, 412-37.
- William Oliver, M. D. 1751. *A Practical Essay on the Use and Abuse of Warm-Bathing in Gouty Cases*. Bath: T. Boddely.
- William Oliver, M. D. n. d. *Reflections on the Gout*. London.
- Walter J. Ong. 1982. *Orality and Literacy: The technologizing of the Word*. London: Methuen.
- W・J・オング『声の文化と文字の文化』桜井直文・林正寛・糟谷啓介訳、藤原書店、1991年
- Janet Oppenheim. 1991. '*Shattered Nerves*': *Doctors, Patients and Depression in Victorian England*. Oxford: Oxford University Press.
- William Osler. 1892, 1st edn; 1898, 3rd edn. *The Principles and Practice of Medicine. Designed for the Use of Practitioners and Students of Medicine* New York: Appleton; Edinburgh and London: Young J. Pentland.
- Oxford English Dictionary*, 1989, 2nd edn. 20 vols. Ed. J. A. Simpson and E. S. C. Weiner. Oxford:

- Clarendon Press.
- Walter Pagel. 1958a. *Paracelsus: An Introduction to Philosophical Medicine in the Era of the Renaissance*. Basel: Karger.
- Walter Pagel. 1958b. *William Harvey's Biological Ideas*. Basel: Karger.
- Walter Pagel. 1976. *New Light on William Harvey*. Basel: Karger.
- Walter Pagel. 1982. *Joan Baptista Van Helmont: Reformer of Science and Medicine*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Walter Pagel. 1984. *The Smiling Spleen: Paracelsianism in Storm and Stress*. Basel and New York: Karger.
- Sir James Paget. 1853. *Lectures on Surgical Pathology*, 2 vols. London, Longman, Brown, Green and Longmans.
- Sir James Paget. 1866. 'Gouty and Some Other Forms of Phlebitis'. *St. Bartholomew's Hospital Reports*. ii, 82-92.
- Sir James Paget. 1875. *Clinical Lectures and Essays*. Ed. Howard Marsh. London: Longman Green and Co.
- Sir James Paget. 1887. 'The Morton Lecture on Cancer and Cancerous Diseases'. *British Medical Journal*. ii, 1091-4.
- Thomas Palmer. 1696; 1984. *The Admirable Secrets of Physick and Chyrurgery*. Ed. T. R. Forbes. New Haven, Conn.: Yale University Press.
- Emiliano Panconesi. 1992. 'Lorenzo il Magnifico: His Life and His Diseases'. 12th International Congress of Thrombosis. Florence: Scientific Press.
- Erwin Panofsky. 1974. *Meaning in the Visual Arts*. Woodstock, New York: Overlook Press.
- Theophrastus von Hohenheim Paracelsus. 1574. *Das Sechste Buch in der Arznei. Von den Tartarischen oder Stein Krankheiten*. Basel: Samuel Apiaro.
- Theophrastus von Hohenheim Paracelsus. 1589-90. *Die Bucher und Schriften. . . . an tag Geben Durch J. H. Brisgoium*. Basel: C. Waldkirch.
- Theophrastus von Hohenheim Paracelsus. 1923-33. *Sämtliche Werke*, 14 vols. Ed. Karl Sudhoff. Munich: O. N. Barth, R. Oldebring.
- Theophrastus von Hohenheim Paracelsus. 1941. *Four Treatises of Theophrastus von Hohenheim Called Paracelsus*. Ed. Henry E. Sigerist. Baltimore, Md: Johns Hopkins University Press.
- Theophrastus von Hohenheim Paracelsus. 1951. *Paracelsus: Selected Writings*. Trans. N. Guterman. New York: Pantheon Books.
- Theophrastus von Hohenheim Paracelsus. 1975-77. *Sämtliche Werke*, 4 vols. Ed. Bernard Aschner. Leipzig: Zentralantiquariat der Deutschen Demokratischen Republik.
- Ambroise Paré. 1545. *La Méthode de Traiter les Playes Faictes par Hacquebutes, et autres bastons a feu*. Paris: Gaulterot.
- Ambroise Paré. 1634. *The Workes of that Famous Chirurgeon Ambrose Parey*. Trans. Thomas Johnson. London: Thomas Cotes and R. Young.
- Lawrence Charles Parish. 1963. 'An Historical Approach to the Nomenclature of Rheumatoid Arthritis'. *Arthritis and Rheumatism*. vi, 138-58.
- Lawrence Charles Parish. 1964. *Augustin-Jacob Landré-Beauvais 1772-1840: A Neglected Forerunner in the History of Rheumatoid Arthritis*. Boston, Mass.: Department of the History of Medicine at Tufts University School of Medicine.
- Katherine Park. 1985. *Doctors and Medicine in Early Renaissance Florence*. Princeton, N. J.: Princeton University Press.

- Katharine Park. 1992. 'Medicine and Society in Medieval Europe, 500-1500'. In Andrew Wear, ed. *Medicine in Society: Historical Essays*. Cambridge: Cambridge University Press, 59-90.
- Geoffrey Parker. 1978. *Philip II: Library of the World Biography*. London: Hutchinson.
- Edmund Parkes. 1860. *The Composition of the Urine in Health and Disease*. London: J. Churchill.
- Edmund Parkes. 1864. *Manual of Practical Hygiene*. London: J. Churchill.
- James Parkinson. 1801, 4th edn. *Medical Admonitions to Families Respecting the Preservation of Health, and the Treatment of the Sick, Also a Table of Symptoms Serving to Point out the Degree of Danger, and to Distinguish One Disease from Another*. London: H. D. Symonds.
- J. Parkinson. 1805. *Observations on the Nature and Cure of Gout*. London: H. D. Symonds.
- J. Parkinson. 1817. *An Essay on the Shaking Palsy*. London: Sherwood, Neely & Jones.
- The Parliament-Kite*. 1648. No. 8. 13 July. Full run: May-August 1648.
- Caleb Hillier Parry. 1799. *An Enquiry into the Symptoms and Causes of the Syncope Anginosa Called Angina Pectoris*. Bath: R. Cruttwell.
- Caleb Hillier Parry. 1815. *Elements of Pathology and Therapeutics*. Bath: R. Cruttwell.
- Talcott Parsons. 1958. 'Definitions of Health and Illness in the Light of American Values and Social Structure'. In E. G. Jaco, ed. *Patients, Physicians and Illness*. Glencoe, Ill.: The Free Press, 165-87.
- Gail Kern Paster. 1993. *The Body Embarrassed: Drama and the Disciplines of Shame in Early Modern England*. Ithaca, NY: Cornell University Press.
- Frank Allen Patterson and French Rowe Fogle, eds. 1940. *An Index to the Columbia Edition of the Works of John Milton*. New York: Columbia University Press.
- Paul of Aegina. 1834. *The Medical Works of Paulus Aegineta, the Greek Physician*. Trans. Francis Adams. London: J. Welsh, Treuttel, Wurtz.
- Paul of Aegina. 1844. *The Seven Books of Paulus Aegineta*. 3 vols. Trans. Francis Adams. London: Printed for the Sydenham Society.
- Gustav Pauli. 1901. *Hans Sebald Beham: Ein Kritisches verzeichniss seiner Kupferstiche Radirungen und Holzschnitte*. Strassburg.
- B. Z. Paulshook. 1983. 'William Heberden and Opium — Some Relief to All'. *New England Journal of Medicine*, cccviii, 53-6.
- Ronald Paulson. 1965. *Hogarth's Works*. New Haven: Yale University Press.
- Ronald Paulson. 1967. *Satire and the Novel in Eighteenth-Century England*. New Haven: Yale University Press.
- Ronald Paulson. 1967. *The Fictions of Satire*. Baltimore: Johns Hopkins.
- Ronald Paulson. 1972. *Rowlandson: A New Interpretation*. New York and Oxford: Oxford University Press.
- Ronald Paulson. 1979. *Popular and Polite Art in the Age of Hogarth and Fielding*. Notre Dame: University of Notre Dame.
- Ronald Paulson. 1992. *Hogarth: Volume II, High Art and Low 1732-1750*. New Brunswick, N. J.: Rutgers University Press.
- Frederick W. Pavy. 1862. *Researches on the Nature and Treatment of Diabetes*. London: Churchill.
- Frederick W. Pavy. 1874. *Treatise on Food and Dietetics*. London: J. & A. Churchill.
- Lynn Payer. 1989. *Medicine and Culture: Notions of Health and Sickness in Britain, the U. S., France and West Germany*. London: V. Gollancz.
- リン・ペイヤー 『医療と文化』 円山誓信・張知夫訳、世界思想社、1999年
- Steven J. Peitzman. 1992. 'From Bright's Disease to End-Stage Renal Disease'. In Charles E. Rosenberg and Janet Golden, eds. *Framing Disease: Studies in Cultural History*. New Brunswick,

- N. J.: Rutgers University Press, 3-19.
- M. Pelling. 1993. 'Contagion/Germ Theory/Specificity'. In W. F. Bynum and Roy Porter, eds. *Companion Encyclopedia of the History of Medicine*. London: Routledge, 309-34.
- Max Pensky. 1993. *Melancholy Dialectics: Walter Benjamin and the Play of Mourning*. Amherst, Mass.: University of Massachusetts Press.
- William Pepper. 1910; repr. 1970. *The Medical Side of Benjamin Franklin*. New York: Argosy-Antiquarian Ltd.
- Perfect Passages*. 1645. No. 43. 20 August. Full run: October 1644-March 1646.
- Martin S. Pernick. 1985. *A Calculus of Suffering. Pain, Professionalism and Suffering in Nineteenth Century America*. New York: Columbia University Press.
- Catherine Peters. 1987. *Thackeray's Universe: Shifting Worlds of Imagination and Reality*. London: Faber.
- Catherine Peters. 1991. *The King of Inventors: A Life of Wilkie Collins*. London: Secker & Warburg.
- M. Jeanne Peterson. 1978. *The Medical Profession in Mid-Victorian London*. Berkeley, Calif.: University of California Press.
- R. T. Petersson. 1956. *Sir Kenelm Digby: The Ornament, of England 1603-1665*. London: Jonathan Cape.
- Petrarch. 1975-85. *Letters on Familiar Matters*. 3 vols. Trans. Aldo S. Bernardo. Baltimore, Md: Johns Hopkins University Press.
- Petrarch. 1991. *Petrarch's Remedies for Fortune Fair and Foul*, 3 vols. Trans. and commentary Conrad H. Rawski. Bloomington, Ind.: Indiana University Press.
- Thomas J. Pettigrew. 1809. *Surgical Observations on the Constitutional Origin and Treatment of Local Diseases and on Aneurisms*. London: Longman, Hurst, Rees and Orme.
- Thomas J. Pettigrew. 1838-40. *Medical Portrait Gallery*. London: Fisher, Whittaker.
- Henry Pettit, ed. 1971. *The Correspondence of Edward Young 1683-1765*. Oxford: Clarendon Press.
- Pharmacopoeia Londinensis*. 1618, 1st edn. London: E. Griffin for J. Marriott.
- Thomas Phelps. 1685. *A True Account of the Captivity of Thomas Phelps. . . Upon the Thirteenth Day of June 1685*. London: n. p.
- 'Philiatros'. 1655. *Natura Exeuterata: Or Nature Unbowelled by the Most Exquisite Anatomizers of Her. Wherein are Contained her Choisest Secrets Digested into Receipts Fitted For the Cure of All Sorts of Infirmities Whether Internal or External, Acute or Chronical That are Incident to the Body of Man*. London: H. Twiford.
- E. D. Phillips. 1973. *Greek Medicine*. London: Thames & Hudson.
- Philosophical Transactions of the Royal Society of London*. 1660-1878.
- Philosophical Transactions*. 1685. 'An Abstract of a Letter of Mr. Anthony Leewenhoek Fellow of the R. Society. . . the Chalk Stones of the Gout'. 15(3), 23 February: 891-2.
- Philosophical Transactions*. 1728. 'VI. An Extract of a Letter of Signior Michele Pinelli, concerning the causes of the Gout translated from the Stalean by John James Scheutzer, M. D.' 35 (403). July, August, September: 491-4.
- Jean Piaget. 1972. *Play and Development: A Symposium with Contributions by Jean Piaget [and others]*. Ed. Maria W. Piers. New York: Norton.
- J・ピアジェほか『遊びと発達の心理学』赤塚徳郎・森林監訳、黎明書房、2013年
- Daniel Pick. 1989. *Faces of Degeneration: Aspects of a European Disorder c. 1848-1918*. Cambridge and New York: Cambridge University Press.
- George Pickering. 1976. *Creative Malady*. New York: Delta.

- Gilbert A. Pierce. 1965. *The Dickens Dictionary*. London: Chapman & Hall, Ltd.
- H. G. Piffard. 1876. . . . *Diseases of the Skin*. London: Macmillan.
- Stuart Piggott. 1950. *William Stukeley: An Eighteenth-Century Antiquary*. Oxford: Clarendon Press.
- S. Piggot, ed. 1974. *Antiquaries. . . . Stuart Piggott*. London: Mansell.
- Philip Pinkus. 1980. *Grub Street Stripped Bare*. London: Constable.
- Willibald Pirckheimer. 1617. *The Praise of the Gout, Or, The Gouts Apologie. A Paradox, Both Pleasant and Profitable, Written First in the Latine Tongue, by that Famous and Noble Gentleman Bilibaldus Pirckheimerus Councillor unto two Emperours, Maximilian the first and Charles the First. And now Englished by William Est, Master of Arts*. London: printed by G. P. for John Budge.
- Robert Pitt, M. D. 1703, 3rd edn. *The Craft and Frauds of Physic Expos'd*. London: Child.
- Robert Pitt, M. D. 1704. *The Antidote: or the Preservative of Health and Life and the Restorative Physick to Its Sincerity and Perfection*. London.
- Raffaella Piva. 1985. *Le 'Confortevolissime' Terme-Interventi pubblici e privati a Battaglia e nelle terme Padovane fra sette e ottocento. A cura di Fiorenzo toffanin*. Battaglia terme: Edizioni La Galiverna.
- Pliny the Elder. 1949. *Historia Naturalis*. Trans. H. Rackham. London: William Heinemann.
- プリニウス『プリニウスの博物誌』中野定雄・中野里美・中野美代訳、雄山閣、2021年
- プリニウス『プリニウス博物誌』大槻真一郎責任編集、岸本良彦ほか訳、八坂書房、2009年
- Pliny the Younger. 1972, 1975. *Letters and Panegyrcus*, 2 vols. Trans. Betty Radice. London: William Heinemann Ltd.
- J. H. Plumb. 1967. *The Growth of Political Stability in England, 1675-1725*. London: Macmillan.
- J. G. A. Pocock. 1972. *Politics, Language and Time: Essays in Political Thought and History*. London: Methuen.
- J. G. A. Pocock. 1975. *The Machiavellian Moment. Florentine Political Thought and the Atlantic Republican Tradition*. Princeton, N. J.: Princeton University Press.
- J・G・A・ポーコック『マキアヴェリアン・モーメント——フィレンツェの政治思想と大西洋圏の共和主義の伝統』田中秀夫・奥田敬・森岡邦泰訳、名古屋大学出版会、2008年
- J. G. A. Pocock, ed. 1981. *Three British Revolutions, 1641, 1688, 1776*. Princeton: Princeton University Press.
- J. G. A. Pocock. 1985. *Virtue, Commerce and History: Essays on Political Thought and History*. Cambridge and New York: Cambridge University Press.
- J. G. A. ポーコック『徳・商業・歴史』田中秀夫訳、みすず書房、1993年
- R. H. Popkin, ed. 1988. *Millenarianism and Messianism in English Literature and Thought 1650-1800*. Leiden: E. J. Brill.
- Dorothy Porter and Roy Porter. 1988. 'What Was Social Medicine? A Historiographical Essay'. *Journal of Historical Sociology*. i, 90-106.
- Dorothy Porter and Roy Porter. 1989. *Patient's Progress: Doctors and Doctoring in Eighteenth-Century England*. Cambridge: Polity Press.
- Roy Porter, ed. 1985. *Patients and Practitioners: Lay Perceptions of Medicine in Pre-Industrial Society*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Roy Porter. 1986. 'The Scientific Revolution: A Spoke in the Wheel?'. In Roy Porter and Mikulás Teich, eds. *Revolution in History*. Cambridge: Cambridge University Press, 290-316.
- Roy Porter. 1987. 'Medicine and Religion in Eighteenth-Century England: A Case of Conflict?'. *Ideas and Production: Issue Seven — History of Science*. Cambridge: Cambridgeshire College of Arts &

- Technology, 4-17.
- Roy Porter, ed. 1987. *Man Masters Nature*. London: BBC Publications, 65-76.
- ロイ・ポーター編『大科学者たちの肖像』市場泰男訳、朝日選書、1989年
- Roy Porter. 1988; 1804, 1st edn. 'Introduction' to *Thomas Trotter: An Essay on Drunkenness*. London: Routledge.
- Roy Porter. 1989a. *Health for Sale: Quackery in England 1650-1850*. Manchester: Manchester University Press.
- ロイ・ポーター『健康売ります——イギリスのニセ医者の話1660-1850』田中京子訳、みすず書房、1993年
- Roy Porter. 1989b. "'The Whole Secret of Health": Mind, Body and Medicine in *Tristram Shandy*'. In John Christie and Sally Shuttleworth, eds. *Nature Transfigured*. Manchester: Manchester University Press, 61-84.
- Roy Porter. 1989c. 'Death and the Doctors in Georgian England'. In R. Houlbrooke, ed. *Death, Ritual and Bereavement*. London: Routledge, 77-94.
- Roy Porter, ed. 1990. *The Medical History of Waters and Spas*. London: *Medical History*, Supplement 10.
- Roy Porter. 1991a. 'Civilization and Disease: Medical Ideology in the Enlightenment'. In J. Black and J. Gregory, eds. *Culture, Politics and Society in Britain 1660-1800*. Manchester: Manchester University Press, 154-83.
- Roy Porter. 1991b. *Doctor of Society: Thomas Beddoes and the Sick Trade in Late Enlightenment England*. London: Routledge.
- Roy Porter. 1992a. 'Addicted to Modernity: Nervousness in the Early Consumer Society'. In J. Melling and J. Barry, eds. *Culture in History*. Exeter: Exeter Studies in History, 180-94.
- Roy Porter. 1992b. 'The Case of Consumption'. In Janine Bourriau, ed. *Understanding Catastrophe*. Cambridge: Cambridge University Press, 179-203.
- Roy Porter, ed. 1992. *The Popularization of Medicine, 1650-1850*. London: Routledge.
- Roy Porter. 1993a. 'Diseases of Civilization'. In W. F. Bynum and Roy Porter, eds. *Companion Encyclopedia of the History of Medicine*. London: Routledge, 585-602.
- Roy Porter. 1993b. 'Pain and Suffering'. In W. F. Bynum and Roy Porter, eds. *Companion Encyclopedia of the History of Medicine*. London: Routledge, 1574-91.
- Roy Porter. 1993c. 'Consumption: Disease of the Consumer Society?'. In John Brewer and Roy Porter, eds. *Consumption and the World of Goods*. London: Routledge, 58-84.
- Roy Porter. 1994. 'Gout: Framing and Fantasizing Disease'. *Bulletin of the History of Medicine*, lxxviii, 1-28.
- Roy Porter, ed. 1994. *Medicine and the Enlightenment*. Amsterdam: Rodopi.
- Roy Porter. 1995. "'Perplex'd with Tough Names": The Uses of Medical Jargon'. In Peter Burke and Roy Porter, eds. *Languages and Jargons: Contributions to a Social History of Language*. Cambridge: Polity Press, 42-63.
- Roy Porter. 1996. "'Laying Aside Any Private Advantage": John Marten and Venereal Disease'. In Linda E. Merians, ed. *The Secret Malady: Venereal Disease in Eighteenth Century Britain and France*. Lexington, Ky: University Press of Kentucky, 51-67.
- Roy Porter. 1998. 'Gout and the Quacks'. In K. Bayertz and Roy Porter, eds. *Essays in Honour of Mikulàs Teich*. Amsterdam: Rodopi.
- Roy Porter and Dorothy Porter. 1988. *In Sickness and in Health: The British Experience 1650-1850*. London: Fourth Estate.

- Roy Porter & Mikulás Teich, eds. 1986. *Revolution in History*. Cambridge: Cambridge University Press, 290-316.
- Roy Porter and Mikulás Teich, eds. 1992. *The Scientific Revolution in National Context*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Roy Porter and Mikulás Teich, eds. 1995. *Drugs and Narcotics in History*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Roy Porter and Andrew Wear, eds. 1988. *Problems and Methods in the History of Medicine*. London: Croom Helm.
- Roy Porter and Lesley Hall. 1995. *The Facts of Life: The Creation of Sexual Knowledge in Britain from 1650 to 1950*. New Haven, Conn.: Yale University Press.
- F. A. Pottle and C. H. Bennett, eds. 1936. *Boswell's Journal of a Tour in the Hebrides*. London: W. Heinemann.
- Marie-Christine Pouchelle. 1990. *The Body and Surgery in the Middle Ages*. Trans. Rosemary Morris. New Brunswick: Rutgers University Press.
- F. N. L. Poynter and W. J. Bishop, eds. 1956. *A Seventeenth Century Doctor and his Patients: John Symcotts, 1592-1662*. Luton: Bedfordshire Historical Society.
- Mary Louise Pratt. 1991. *Imperial Eyes: Studies in Travel Writing and Transculturation*. London: Routledge.
- William H. Prescott. 1906. *The Complete Works of William H. Prescott: History of the Reign of the Emperor Charles the Fifth*. New York: Thomas Y. Crowell.
- Robert Proctor. 1989. *Racial Hygiene: Medicine Under the Nazis*. Cambridge, Mass., Harvard University Press.
- William Prout. 1815. 'On the Relation Between the Specific Gravities of Bodies in their Gaseous State and the Weights of their Atoms'. *Annals of Philosophy*. vi, 321-30.
- William Prout. 1818. 'Description of an Acid Principle Prepared from the Lithic or Uric Acid'. *Philosophical Transactions*. cix, 420-8.
- William Prout. 1821. *An Inquiry into the Nature and Treatment of Gravel, Calculus, and Other Diseases Connected with a Deranged Operation of the Urinary Organs*. London: Baldwin, Cradock & Joy.
- Samuel Pye. 1757. 'An Uncommon Crisis of the Gout'. *Medical Observations and Inquiries*, vol. i. London: W. Johnston.
- Richard Quain. 1882. *A Dictionary of Medicine*, 3 vols. London: Longman's, Green and Co.
- Peter Quennell, ed. 1948. *The Private Letters of Princess Lieven to Prince Metternich, 1820-1826*. London: J. Murray.
- Claude Quétel. 1990. *The History of Syphilis*. Trans. Judith Braddock and Brian Pike. Oxford: Basil Blackwell.
- クロード・ケテル『梅毒の歴史』寺田光徳訳、藤原書店、1996年
- M. M. Quinones. 1966. *Robert Adams and his Role in the History of Rheumatoid Arthritis*. Basel: Institute of the History of Medicine.
- Bernardino Ramazzini. 1940. *De Morbis Artificum Bernardini Ramazzini Diatriba: Diseases of Workers*. Trans. Wilmer Cave Wright. Chicago: University of Chicago Press.
- ベルナルディーノ・ラマツィーニ『働く人の病』東敏昭監訳、産業医学振興財団、2015年
- B・ラマツィーニ『働く人々の病気——労働医学の夜明け』松藤元訳、北海道大学図書刊行会、1980年
- George Randolph, M. D. 1752. *An enquiry into the medicinal virtues of Bathwater*. . . . London: J.

- Nurse.
- Mary Claire Randolph. 1941. 'The Medical Concept in English Renaissance Satiric Theory: Its Possible Relationships and Implications'. *Studies in Philology*. 38: 125-57.
- D. Rannie, ed. 1898. *Remarks and Collections of Thomas Hearne*, vol. iv. Oxford: printed for the Oxford Historical Society at the Clarendon Press.
- L. J. Rather. 1959. 'Towards a Philosophical Study of the Idea of Disease'. In *The Historical Development of Physiological Thought*, Ed. Chandler McC. Brooks and Paul F. Cranefield. New York: Hafner Pub. Co., 351-73.
- L. J. Rather. 1968. 'The "Six Things Non-Natural": A Note on the Origins and Fate of a Doctrine and a Phrase'. *Clio Medica*. iii, 337-47.
- L. J. Rather. 1978. *The Genesis of Cancer: A Study in the History of Ideas*. Baltimore: Johns Hopkins University Press.
- Claude Rawson. 1994. *Satire and Sentiment 1660-1830*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Pierre-Francois Rayer. 1935, 2nd edn. *A Theoretical and Practical Treatise on Diseases of the Skin*. Trans. R. Willis. London: J. B. Baillière.
- Pierre-Francois Rayer. 1840. *Treatise on Diseases of the Kidney*. Paris: J. B. Baillière.
- Joad Raymond, ed. 1993. *Making the News: An Anthology of the Newsbooks of Revolutionary England 1641-1660*. Foreword by Christopher Hill. Moreton in Marsh, Gloucestershire: The Windrush Press.
- Conyers Read. 1955. *Mr. Secretary Cecil and Queen Elizabeth*. London: Cape.
- Conyers Read. 1960. *Lord Burghley and Queen Elizabeth*. London: Cape.
- Bruce Redford, ed. 1992-4. *The Letters of Samuel Johnson*, 5 vols. Oxford: Clarendon Press.
- Richard Reece. 1803. *Domestic Medical Guide*. London: Longman & Reed.
- W. T. Reich, ed. 1978. *Encyclopedia of Bioethics*, 4 vols. New York: Free Press.
- Emil Reicke. 1930. *Willibald Pirckheimer: Leben, Familie und Persönlichkeit*. Jena: E. Diederichs.
- B. L. Reid. 1965. 'Smollet's Healing Journey'. *The Virginia Quarterly Review*. 41: 549-70.
- John Rendle-Short. 1960a. 'Infant Management in the 18th Century with Special Reference to the Work of William Cadogan'. *Bulletin of the History of Medicine*. xxxiv, 97-122.
- John Rendle-Short. 1960b. 'William Cadogan: Eighteenth Century Physician'. *Medical History*. iv, 288-309.
- Henri Rendu. 1890. *Lecons de Clinique Médicale*, 2 vols. Paris: O. Doin.
- W. Renwick. [1771]. *An Attempt to Restore the Primitive Natural Constitution of Mankind, and to Increase Conjugal Procreation. To which are added Cursory Observation on the Gout, together with the Correspondence between Mr. Hawes and the Author relative to the Interment of the Dead. The Author's principal Remarks on that Subject having been omitted in the Pamphlet lately published by the former Gentleman*. London: printed for the author.
- Myra Reynolds. 1903. *The Poems of Anne Countess of Winchilsea*. Chicago, Ill.: University of Chicago Press.
- Rhazes. 1848. *A Treatise on the Small-pox and the Measles*. Trans. from the Arabic. London: Sydenham Society.
- Christopher Ricks, ed. 1987. *The Poems of Tennyson*. Berkeley, Calif.: University of California Press.
- Paul Ricoeur. 1977. *The Rule of Metaphor: Multi-disciplinary Studies of the Creation of Meaning in Language*. Trans. Robert Czerny. Toronto: University of Toronto Press.
- John M. Riddle. 1985. *Dioscorides on Pharmacy and Medicine*. Austin, TX.: University of Texas Press.

- Walther Riese. 1953. *The Conception of Disease, its History, its Versions and its Nature*. New York: Philosophical Library.
- James C. Riley. 1989. *Sickness, Recovery and Death: A History and Forecast of Ill Health*. Iowa City: University of Iowa Press.
- John Ring. 1811. *A Treatise on the Gout*. London: Callow.
- John Rang. 1816. *An Answer to Dr. Kinglake: Showing the Danger of his Cooling Treatment of the Gout*. London: for the author.
- Francis Riollay. 1778. *A Letter to Dr. Hardy. . . on the Origin of Gout*. Oxford.
- G. Risse. 1978. 'Health and Disease: History of the Concepts'. In W. T. Reich, ed. *Encyclopedia of Bioethics*, 4 vols. New York: Free Press. ii, 579-85.
- G. Risse. 1988. 'Brunonian Therapeutics: New Wine in Old Bottles'. In W. F. Bynum and Roy Porter, eds. *Brunonianism in Britain and Europe*. London: *Medical History*. Supplement 8, 46-62.
- Lazare Rivière. 1678. *Of Pain in the Joynts, Called Arthritis, or the Gout*. London: G. Sawbridge.
- Brenda D. Rix. 1987. *Our Old Friend Rolly: Watercolours, Prints and Book Illustrations by Thomas Rowlandson*. Toronto. Art Gallery of Ontario.
- Caroline Robbins. 1959. *The Eighteenth-Century Commonwealthman*. Cambridge, Mass.: Harvard University Press.
- キャロライン・ロビンズ『イギリス一八世紀のコモンウェルスマン——自由主義思想の伝播と発展』田中秀夫訳、ミネルヴァ書房、2020年
- K. B. Roberts. 1992. *The Fabric of the Body: European Traditions of Anatomical Illustration*. Oxford and New York: Clarendon Press.
- Marie Mulvey Roberts and Roy Porter, eds. 1993. *Literature and Medicine During the Eighteenth Century*. London and New York: Routledge.
- William Roberts. 1865. *A Practical Treatise on Urinary and Renal Diseases*. London: Walton and Maberly.
- Sir William Roberts. 1892. *Chemistry and Therapeutics of Uric Acid and Gout*. London: Smith, Elder and Co.
- William Robertson D. D. , and William H. Prescott. 1586. *The History of the Reign of the Emperor Charles the Fifth, with an Account of the Emperor's Life After His Abdication*. Philadelphia: Lippincott.
- Nicholas Robinson. 1753. *An Essay on the Gout, and All Gouty Affections Incident to Affect Mankind. Comprizing the Various Natures, Symptoms and Causes, Thro' Every Branch and Stage*. London: Edward Robinson.
- J. Rodgers. 1978. 'Ideas of Life in "Tristram Shandy"'. Ph. D. thesis, University of East Anglia.
- Gerald P. Rodnan. 1961. 'A Gallery of Gout: Being a Miscellany of Prints and Caricatures from the 16th Century to the Present Day'. *Arthritis and Rheumatism*. iv, 27-46.
- Gerald P. Rodnan. 1965. 'Early Theories Concerning Etiology and Pathogenesis of the Gout'. *Arthritis and Rheumatism*. viii, 599-610.
- Gerald P. Rodnan. 1968. 'St. Wolfgang and Gout (Letter on Patron Saints of Gout and Request for Further Information on St. Wolfgang)'. *British Medical Journal*. i, 581.
- Gerald P. Rodnan and Thomas G. Benedek. 1963. 'Ancient Therapeutic Arts in the Gout'. *Arthritis and Rheumatism*. vi, 317-34.
- Gerald P. Rodnan and Thomas G. Benedek. 1965. 'Cotton Mather on Rheumatism and the Gout: A Presentation of Chapters XII and XIII from The Angel of Bethesda'. *Journal of the History of Medicine*. xx, 115-39.

- Gerald P. Rodnan and Thomas G. Benedek. 1970. 'Gout and the Spider'. *Journal of the American Medical Association*. ccxi, 2157.
- S. Roe. 1981. *Matter, Life and Generation*. Cambridge: Cambridge University Press.
- J. P. W. Rogers. 1986. 'Samuel Johnson's Gout'. *Medical History*. xxx, 133-44.
- John Rogers. 1735. *Doctor Rogers's Oleum Arthriticum, or Specifick Oil for the Gout*. London: Alexander Cruden.
- Pat Rogers. 1979. *Henry Fielding: A Biography*. New York: Charles Scribner's Sons.
- Pat Rogers. 1981. 'The Rise and Fall of Gout'. *Times Literary Supplement*. 20 March: 315-16.
- Richard Rolls. 1988. *The Hospital of the Nation: The Story of Spa Medicine and the Mineral Water Hospital at Bath*. Bath: Bird Productions.
- E. C. R. Roose. 1885, 2nd edn. *Gout and its Relations to Diseases of the Liver and Kidneys*. London: H. K. Lewis.
- Robert Root-Bernstein. 1993. *Rethinking AIDS: The Tragic Cost of Premature Consensus*. New York: Free Press.
- Matthew Whiting Rosa. 1960. *The Silver-fork School: Novels of Fashion Preceding Vanity Fair*. New York: Columbia University Press.
- George Rosen. 1970. 'Sir William Temple and the Therapeutic Use of Moxa for Gout in England'. *Bulletin of the History of Medicine*. xlv, 31-9.
- Albert Rosenberg. 1953. *Sir Richard Blackmore: A Poet and Physician of the Augustan Age*. Lincoln, Nebr.: University of Nebraska Press.
- Charles E. Rosenberg. 1962. *The Cholera Years: The United States in 1832, 1849 and 1866*. Chicago, Ill.: University of Chicago Press.
- Charles E. Rosenberg. 1974. 'The Bitter Fruit: Heredity, Disease and Social Thought in Nineteenth Century America'. *Perspectives in American History*. viii, 189-235.
- Charles Rosenberg. 1983. 'Medical Text and Medical Context; Explaining William Buchan's *Domestic Medicine*'. *Bulletin of the History of Medicine*. lvii, 22-4.
- Charles E. Rosenberg. 1989. 'Disease in History: Frames and Framers'. *The Milbank Quarterly*. lxvii, 1-15.
- Charles E. Rosenberg and Janet Golden, eds. 1992. *Framing Disease: Studies in Cultural History*. New Brunswick, N. J.; Rutgers University Press.
- F. Rosner. 1969. 'Gout in the Bible and Talmud'. *Journal of the American Medical Association*. ccvii, 151-2.
- Lisa Rosner. 1990. *Medical Education in the Age of Improvement: Edinburgh Students and Apprentices, 1760-1826*. Edinburgh: Edinburgh University Press.
- Cecil Roth, ed. 1938. *Anglo-Jewish Letters*. London: Soncino Press.
- Lawrence Rothfield. 1987. 'Gout as Metaphor'. In *History, Art, and Antiquity of Rheumatic Diseases*. Brussels: Elsevier and The Erasmus Foundation, 68-71.
- Lawrence Rothfield. 1992. *Vital Signs: Medical Realism in Nineteenth-Century Fiction*. Princeton, N. J.: Princeton University Press.
- Berton Roueché. 1948. 'A Perverse, Ungrateful, Maleficent Malady'. *The New Yorker*. 13 March: 60-70.
- G. S. Rousseau. 1966. 'Doctors and Medicine in the Novels of Tobias Smollett'. Ph. D. thesis, Princeton University.
- G. S. Rousseau. 1968. 'John Wesley's *Primitive Physick* (1747)'. *Harvard Library Bulletin*. xvi, 242-56.

- G. S. Rousseau. 1976. 'Nerves, Spirits and Fibres: Towards Defining the Origins of Sensibility; with a Postscript'. *Blue Guitar*. ii, 125-53.
- G. S. Rousseau. 1978a. 'John Hill: Universal Genius Manqué'. In J. A. Leo Lemay and G. S. Rousseau. *The Renaissance Man in the Eighteenth Century*. Los Angeles, Calif.: William Andrews Clark Library.
- G. S. Rousseau. 1978b. 'Science'. In Pat Rogers, ed. *The Context of English Literature: The Eighteenth Century*. London: Methuen.
- G. S. Rousseau. 1980. 'Psychology'. In G. S. Rousseau and Roy Porter, eds. *The Ferment of Knowledge*. Cambridge: Cambridge University Press, 143-210.
- G. S. Rousseau. 1982. *Tobias Smollett. Essays of Two Decades*. Edinburgh: T. & T. Clark.
- G. S. Rousseau. 1988. 'Mysticism and Millennialism: "Immortal Dr. Cheyne"'. In R. H. Popkin, ed. *Millenarianism and Messianism in English Literature and Thought 1650-1800*. Leiden: E. J. Brill, 81-126.
- G. S. Rousseau. 1991a. *Enlightenment Borders: Pre-and Post-Modern Discourses: Medical, Scientific*. Manchester: Manchester University Press.
- G. S. Rousseau. 1991b. 'The Discourses of Literature and Medicine: Theory and Practice (2)'. In *Enlightenment Borders: Pre-and Post-Modern Discourses: Medical, Scientific*. Manchester: Manchester University Press, 26-54.
- G. S. Rousseau. 1991c. 'Towards a Semiotics of the Nerve'. In Peter Burke and Roy Porter, eds. *Language, Self and Society: The Social History of Language*. Cambridge: Polity Press, 213-75.
- G. S. Rousseau. 1991d. 'Cultural History in a New Key: Towards a Semiotics of the Nerve'. In Joan H. Pittock and Andrew Wear, eds. *Interpretation and Cultural History*. London: Macmillan.
- G. S. Rousseau. 1991e. *Perilous Enlightenment: Pre-and Post-Modern Discourses: Sexual*. Manchester: Manchester University Press.
- G. S. Rousseau. 1993. 'Medicine and the Muses: An Approach to Literature and Medicine'. In Marie Mulvey Roberts and Roy Porter, eds. *Literature and Medicine during the Eighteenth Century*. London and New York: Routledge, 23-57.
- G. S. Rousseau and Roy Porter, eds. 1987. *Sexual Underworlds of the Enlightenment*. Manchester: Manchester University Press.
- G. S. Rousseau and Neil L. Rudenstine, eds. 1972. *English Poetic Satire: Wyatt to Byron*. New York and London: Holt, Rinehart & Winston.
- G. S. Rousseau, ed. 1990. *The Languages of Psyche: Mind and Body in Enlightenment Thought*. Berkeley, Calif.: University of California Press.
- Margaret Rowbottom and Charles Susskind. 1984. *Electricity and Medicine: A History of their Interaction*. San Francisco, Calif: San Francisco Press.
- Thomas Rowlandson. 1971. *Medical Caricatures, with a forward by Morris H. Saffron*. New York: Editions Medicina Rara.
- William Rowley. 1770. *An Essay on the Cure of Ulcerated Legs*. London: F. Newbery.
- William Rowley. 1780. 'The Gout and Rheumatism Cured or Alleviated'. *Critical Review*. March: 239.
- William Rowley. 1790, 2nd edn. *A Treatise on the Management of Female Breasts during childbed*. London.
- William Rowley. 1792. *A Treatise on the Regular, Irregular, Atonic and Flying Gout*. London: J. Wingrave.
- Martin J. S. Rudwick. 1976. *The Meaning of Fossils: Episodes in the History of Palaeontology*. New York: Scientific History Publications.

- J. Ruhräh. 1925a. 'William Cadogan and his Essay on Gout'. *Annals of Medical History*. vii, 64-92.
- J. Ruhräh. 1925b. *William Cadogan (His Essay on Gout)*. New York: P. B. Hoeber.
- Benjamin Rush. 1947. *The Selected Writings of Benjamin Rush*. Ed. Dagobert D. Runes. New York: Philosophical Library.
- J. A. Ryle. 1949. 'Social Pathology'. In Iago Galdston, ed. *Social Medicine: Its Derivations and Objectives*. New York: The Commonwealth Fund.
- J. A. Ryle. 1994. *Changing Disciplines: Lectures on the History, Method, and Motives of Social Pathology*. New Brunswick, N. J.: Transaction Publishers.
- J. B. Ryley. 1887. *Electro-magnetism and Massage in the Treatment of Rheumatic Gout*. London: Renshaw.
- Peter Sabor, ed. 1988. *Frances Burney, Cecilia, or Memoirs of an Heiress*. Oxford: Oxford University Press.
- Hans Sachs. 1550; 1893. *Sämtliche Fabeln und Swänke*. Halle.
- Oliver Sacks. 1981. *Migraine: Evolution of a Common Disorder*. London: Pan Books.
- オリヴァー・サックス 『サックス博士の片頭痛大全』 春日井晶子・大庭紀雄訳、ハヤカワ文庫NF、2000年
- Dianne F. Sadoff 1982. *Monsters of Affection: Dickens, Eliot, and Brontë on Fatherhood*. Baltimore: Johns Hopkins University Press.
- W. Salmon. 1671. *Synopsis Medicinae*. London: C. Jones.
- W. Salmon. 1693a. *The Compleat English Physician: Or, the Druggist's Shop Opened*. London: for Matthew Gilliflower.
- W. Salmon. 1693b. *Sepladium. The Compleat English Physician*. London: Gilliflower & Sawbridge.
- W. Salmon. 1703. *The Country Physician, or A Choice Collection of Physick Fitted for Vulgar Use*. London: J. Taylor.
- W. Salmon. 1710. *Botanologia. The English Herbal*. London: N. Rhodes & J. Taylor.
- Agnivesa's Caraka Samhita*. 1976. Trans. Ram Karan Sharma and Vaidya Bhagwan Dash. Varanasi, India: Chowkhamba Sanskrit Series Office.
- Louis A. Sass. 1992. *Madness and Modernism: Insanity in the Light of Modern Art, Literature and Thought*. New York: Basic Books.
- Hymen Saye. 1934. 'Translation of a Fourteenth Century French Manuscript Dealing with Treatment of Gout'. *Bulletin of the Institute of the History of Medicine*. ii, 112-22.
- John Scarborough. 1969. *Roman Medicine*. Ithaca, NY: Cornell University Press.
- Elaine Scarry. 1985. *The Body in Pain*. Oxford: Oxford University Press.
- John Scat. 1779. 'An Enquiry into the Origin of the Gout'. *Critical Review*. November: 347-54.
- R. Schafter. 1989. 'Narratives of the Self'. In A. M. Cooper, Otto F. Kernberg and Ethel Spector Person, eds. *Psychoanalysis: Toward the Second Century*. New Haven, Conn.: Yale University Press.
- C. W. Scheele. 1776. '[Investigations of Bladder Stones: Swedish]'. *Kongliga Vetenskaps Academiens Nya Handlingar*. xxxvii, 327-32.
- C. W. Scheele. 1777. *Chemische Abhandlung von der Luft und dem Feuer*. Uppsala: Magn. Swederus.
- C. W. Scheele. 1786. *The Chemical Essays of C. W. Scheele Translated. . . with Additions*. Ed. and Trans. Thomas Beddoes. London: J. Murray.
- Ferdinand Schevil. 1950. *The Medici*. London: V. Gollancz.
- Londa Schiebinger. 1989. *The Mind Has No Sex? Women in the Origins of Modern Science*.

- Cambridge, Mass.: Harvard University Press.
- ロンダ・シービンガー 『科学史から消された女性たち——アカデミー下の知と創造性』 小川真里子・藤岡伸子・家田貴子訳、工作舎、1992年
- Londa Schiebinger. 1993. *Nature's Body: Gender in the Making of Modern Science*. Boston, Mass.: Beacon Press.
- ロンダ・シービンガー 『女性を弄ぶ博物学——リンネはなぜ乳房にこだわったのか?』 小川真里子・財部香枝訳、工作舎、1996年
- Maurice A. Schnitker. 1936. 'A History of the Treatment of Gout'. *Bulletin of the Institute of the History of Medicine*. iv, 89-120.
- Robert M. Schuler. 1979. *English Magical and Scientific Poems to 1700: an annotated bibliography*. New York: Garland
- Eugene Schuyler. 1890. 'Smollett in Search of Health'. In *Italian Influences*. New York: Charles Scribner's Sons, 220-44.
- J. Scot. 1780. *An Enquiry into the Origin of the Gout*. London: T. Becket.
- Sir Walter Scott. 1821-4. *Lives of the Novelists. Prefaces to Ballantyne's Library*. . . 4 vols.
- Sir Walter Scott. 1824. *St. Ronan's Well*. 3 vols.
- Sir Walter Scott. 1894. *Count Robert of Paris. Volume II: The Surgeon's Daughter*. Boston: Estes and Lauriat.
- Sir Walter Scott. 1914. *The Antiquary*. Edinburgh: Nelson.
- Sir Walter Scott. a. 1894. *Count Robert of Paris, vol. ii: The Surgeon's Daughter*. Boston, Mass.: Estes & Lauriat.
- Sir Walter Scott. b. 1995. *The Antiquary*. Ed. David Hewitt. Edinburgh: Edinburgh University Press.
ウォルター・スコット 『好古家』 貝瀬英夫訳、朝日出版社、2018年
- Sir Walter Scott. c. 1995. *St. Ronan's Well*. Ed. Mark A. Weinstein. Edinburgh: Edinburgh University Press.
- Charles Scudamore, M. D. 1816; 1817, 2nd edn.; 1819. *A Treatise on the Nature and Cure of Gout and Rheumatism, Including general considerations on Morbid States of the Digestive Organs and some remarks on Regimen and Practical Observations on Gravel*. London: Longman, Hurst, Rees, Orme & Brown; London: for the author.
- Charles Scudamore, M. D. 1823, 4th edn. *A Treatise on the Nature and Cure of Gout and Gravel*. London: printed for the author and sold by Longman, Hurst, Rees, Orme & Brown.
- Charles Scudamore, M. D. 1833a, 2nd edn. *A Treatise on the Composition and Medical Properties of the Mineral Waters of Buxton, Matlock, Tunbridge Wells. . . and the Beulah Spa, Norwood*. London: Longman, Rees, Orme, Brown, Green & Longman's.
- Charles Scudamore. 1833b; 1835, 2nd edn. *A Further Examination of the Principles of the Treatment of Gout*. Longman, Rees.
- Andrew Scull. 1987. 'Desperate Remedies: A Gothic Tale of Madness and Modern Medicine'. *Psychological Medicine*. xvii, 561-77.
- Eve Kosofsky Sedgwick. 1985. *Between Men: English Literature and Male Homosocial Desire*. New York: Columbia University Press.
- イヴ・K・セジウィック 『男同士の絆——イギリス文学とホモソーシャルな欲望』 上原早苗・亀澤美由紀訳、名古屋大学出版会、2001年
- John Sekora. 1977. *Luxury: The Concept in Western Thought, Eden to Smollett*. Baltimore, Md: Johns Hopkins University Press.
- John H. Sena. 1975. 'Smollett's Matthew Bramble and the Tradition of the Physician-Satirist'. *Papers*

- on *Language and Literature*. xi: 380-96.
- Seneca. 1917-28. *Epistulae morales*, 3 vols. Trans. R. M. Gummere. London: W. Heinemann.
セネカ『ルキリウスへの手紙／モラル通信』塚谷肇訳、近代文芸社、2005年
セネカ『倫理書簡集』高橋宏幸訳（セネカ哲学全集）、岩波書店、2005年
- Daniel Sennert. 1611. *Institutonum Medicinae Libri V*. Wittenberg W. Meisner for Z. Schürer.
- Daniel Sennert 1619. *De Febribus*. Wittenbergae: Apud Zachariam Schurerum.
- Daniel Sennert. 1628-36. *Practicae Medicinae*. Wittenberg: A. Rothius.
- Daniel Sennert. 1632, 1660. *De arthritide tractatus*. Paris: Societas. Trans. as *A Treatise of the Gout*.
London: Peter Cole.
- Steven Shapin. 1994. *A Social History of Truth: Civility and Science in Seventeenth-Century England*. Chicago, Ill.: University of Chicago Press.
- Steven Shapin and Simon Schaffer. 1985. *Leviathan and the Air-Pump*. Princeton, N. J.: Princeton University Press.
ステイヴン・シェイピン、サイモン・シャッファー『リヴァイアサンと空気ポンプ——ホッブズ、ボイル、実験的生活』柴田和宏・坂本邦暢訳、名古屋大学出版会、2016年
- George Bernard Shaw. 1926. *The Doctor's Dilemma*. London: Constable.
バーナード・ショー「医者ジレンマ」、『現代演劇 no. 3——バーナード・ショー』現代演劇研究会編、英潮社、1980年
- John Shebbeare. 1772. *A Candid Enquiry into the Merits of Dr. Cadogan's Dissertation on the Gout. . . With an Appendix in Which is Contained a Certain Cure for the Gout*. London: S. Hooper.
- W. J. Sheils, ed. 1982. *The Church and Healing*. Oxford: Basil Blackwell for the Ecclesiastical History Society.
- Charles L. Short. 1959. 'Rheumatoid Arthritis: Historical Aspects'. *Journal of Chronic Diseases*. x, 367-87.
- Thomas Short, M. D. 1750. *Discourses on Tea, Sugar, Milk, Made-Wines, Spirits, Tobacco, &c. with Plain and Useful Rules for Gouty People*. London: Printed for T. Longman.
- Edward Shorter. 1992. *From Paralysis to Fatigue. A History of Psychosomatic Illness in the Modern Era*. New York: Free Press.
- Edward Shorter. 1994. *From the Mind into the Body: The Cultural Origins of Psychosomatic Symptoms*. New York: Free Press.
- H. Shute. 1807-8. *Dissertation on Gout*, vol. lvii. Archives of the Royal Medical Society of Edinburgh.
- David E. Shuttleton. 1992. "'My Own Crazy Carcase': The Life and Works of Dr. George Cheyne, 1672-1743". Ph. D. thesis, University of Edinburgh.
- Henry Sigerist. 1943. *Civilization and Disease*. Ithaca: Cornell University Press.
H・E・シゲリスト『文明と病気』松藤元訳、岩波新書、1973年
- Kenneth Simons. 1985. *The Ludic Imagination: A Reading of Joseph Conrad*. Ann Arbor, Mich.: UMI Research.
- Sir John Sinclair. 1807. *The Code of Health and Longevity. Or, A Concise View, of the Principles Calculated for the Preservation of Health, and the Attainment of Long Life. . .* Edinburgh: for A. Constable & Co.
- N. G. Siraisi. 1990. *Medieval and Early Renaissance Medicine*. Chicago, Ill.: Chicago University Press.
- Osbert Sitwell. 1945. *Left Hand, Right Hand! An Autobiography*, vol. i: *The Cruel Month*. London: Macmillan.
- Paul Slack. 1979. 'Mirrors of Health and Treasures of Poor Men: Uses of the Vernacular Medical Literature of Tudor England'. In C. Webster, ed. *Health, Medicine and Mortality in the Sixteenth*

- Century*. Cambridge: Cambridge University Press, 237-74.
- Alan G. R. Smith, ed. 1990. *The Anonymous Life of William Cecil, Lord Burghley*. Lewiston, Me: E. Mellen Press.
- Charlotte Smith. 1989. *The Old Manor House*. Oxford: Oxford University Press.
- Daniel Smith. 1772, 1st edn. *Observations on Doctor Williams's Treatise upon the Gout*. Bristol: Farley.
- Daniel Smith. 1772. 'A Letter to Dr. Cadogan. . .'. *Critical Review* July: 68-9.
- E. A. Smith. 1990. *Lord Grey 1764-1845*. Oxford: Clarendon Press.
- Henry Smith. 1598. *Four Sermons*. London: P. Short.
- J. Smith. 1786. *Observations on the. . . Cheltenham Waters. . .*. Cheltenham: Harward.
- Nowell C. Smith, ed. 1953. *The Letters of Sydney Smith*, 2 vols. Oxford: Clarendon Press.
- Roger Smith. 1992. *Inhibition: History and Meaning in the Sciences of Mind and Body*. London: Free Association Books; Berkeley and Los Angeles, Calif.: University of California Press.
- Virginia S. Smith. 1985. 'Cleanliness: The Development of an Idea and Practice in Britain 1770-1850'. Ph. D. thesis, University of London.
- ヴァージニア・スミス『清潔の歴史——美・健康・衛生』鈴木実佳訳、東洋書林、2010年
- Tobias Smollett. 1990. *The Expedition of Humphry Clinker*. Ed. Thomas R. Preston. Athens and London: The University of Georgia Press.
- T・スモレット『ハンフリー・クリンカー』長谷安生訳、長谷安生、1972年
- Albert Henry Smyth, ed. 1906. *The Writings of Benjamin Franklin, 1780-1782*, vol. viii. London: Macmillan.
- H. Smythson. 1781. *The Compleat Family Physician*. London: Harrison.
- Albert J. Solnit, Donald J. Cohen and Peter B. Neubauer, eds. 1993. *The Many Meanings of Play: A Psychoanalytic Perspective*. New Haven, Conn., and London: Yale University Press.
- Susan Sontag. 1978. *Illness as Metaphor*. New York: Farrar, Straus & Giroux.
- スーザン・ソントグ『隠喩としての病い』富山太佳夫訳、みすず書房、1982年
- Susan Sontag. 1989. *AIDS as Metaphor*. Harmondsworth: Allen Lane.
- スーザン・ソントグ『エイズとその隠喩』富山太佳夫訳、みすず書房、1990年
- Soranus of Ephesus. 1927. *Sorani Gynaeciorum Libri IV*. Ed. Johannes Ilberg. Leipzig: Berolini: B. G. Teubneri.
- P. M. Spacks. 1976. *Imagining a Self*. Cambridge, Mass: Harvard University Press.
- R. D. Spector, ed. 1994. *Smollett's Women: A Study in Eighteenth-Century Masculine Sensibility*. New York: Greenwood Press, 1994.
- Edmund Spenser. 1633. *A View of the Present State of Ireland* Dublin.
- Francis Spilsbury. 1775, 1780. *A Treatise on the Method of Curing the Gout, Scurvey, Leprosy. . .* London: s. n.
- Francis Spilsbury. 1778. *Physical Dissertations on the Scurvy and Gout*. London: J. Wilkie.
- T. L. S. Sprigge, ed. 1968-81. *The Correspondence of Jeremy Bentham*, 5 vols. London: Athlone.
- R. Squirrell, M. D. 1820. *Essay on Indigestion and its Consequences; or, Advice to Persons Affected by Debility of the Digestive Organs, Gout, Nervous Disorders, Dropsy, etc.* n. p.: n. p.
- Jean Starobinski. 1992. *The Remedy in the Disease: Critique and Legitimation of Artifice in the Age of Enlightenment*. Cambridge: Polity Press.
- ジャン・スタロバンスキー『病のうちなる治療薬——啓蒙の時代の人為に対する批判と正当化』小池健男・川那部保明訳、法政大学出版局、1993年
- John Steel. 1985. *Robert Southey — Mr. Rowlandson's England*. Woodbridge: Suffolk, England.

- R. Ted Steinbock. 1993a. 'Gallstones (Cholelithiasis)'. In Kenneth F. Kiple, ed. *The Cambridge World History of Human Disease*. Cambridge: Cambridge University Press, 738-40.
- R. Ted Steinbock. 1993b. 'Osteoporosis'. In Kenneth F. Kiple, ed. *The Cambridge World History of Human Disease*. Cambridge: Cambridge University Press, 909-10.
- George Steiner. 1963. *The Death of Tragedy*. London: Faber.
- ジョージ・スタイナー『悲劇の死』喜志哲雄・蜂谷昭雄訳、ちくま学芸文庫、1995年
- Laurence Sterne. 1813-14. *The Works of Laurence Sterne*. vol. 2. New York.
- Laurence Sterne. 1967. *The Sentimental Journey*. Ed. Graham Petrie. Harmondsworth: Penguin.
- ローレンス・スターン『センチメンタル・ジャーニー——ヨーリック師のフランスとイタリーを巡る』小林亨訳、朝日出版社、1984年
- スターン『センチメンタル・ジャーニー』松村達雄訳、岩波文庫、1952年
- J. N. Stevens. 1758. *An Essay on the Disease of the Head and Neck. . . Dissertation on the Gout and Rheumatism*. Bath: for J. Leake.
- J. N. Stevens reviewed by James Kirkpatrick, M. D. 1758. 'An Essay on the Diseases of the Head and Neck to which is added a Dissertation on the Gout and Rheumatism'. *Monthly Review*. August: 145-50.
- L. Stevenson. 1965. "New Diseases" in the Seventeenth Century'. *Bulletin of the History of Medicine*. xxxix, 1-21.
- William Stevenson. 1779. *A Successful Method of Treating the Gout by Blistering. With An Introduction Consisting of Miscellaneous Matter*. Bath: Cruttwell.
- William Stevenson. 1781, 2nd edn. *Cases in Medicine*. . . Newark: Tomlinson.
- Antonio Fabio Sticotti. 1769. *Garrick ou les acteurs, anglois ouvrage contenant des reflexions sur l'art dramatique, sur l'art de la representaion, et le jeu des acteurs, traduit de l'anglois*. Paris: Lacombe.
- Sir William Stirling-Maxwell. 1875, 4th edn. *The Cloister Life of Emperor Charles V*. London: John C. Nimmo.
- F. G. Stokes, ed. 1931. *The Blecheley Diary*. London: Constable.
- L. Strachey and R. Fulford. 1938. *The Greville Memoirs 1814-1860*, 8 vols. London: Macmillan.
- Ralph Straus. 1910. *Robert Dodsley: Poet, Publisher and Playwright*. London: John Lane.
- L. A. G. Strong. 1955. *Dr. Quicksilver 1660-1742*. London: Melrose.
- William Stukeley. 1723. *Of the Spleen. . . Particularly the Vapours*. London.
- William Stukeley. 1734; 1736, 2nd edn. *Of the Gout, in Two Parts. First a Letter to Sir Hans Sloan. . . about the Cure. . . by Oyls Externally Apply'd; Secondly, A Treatise on the Cause and Cure of the Gout*. London: Roberts.
- William Stukeley. 1740. *Stonehenge, A Temple Restor'd to the British Druids*. London: W. Innys and R. Manby.
- Karl Sudhoff, ed. 1922-33. *Paracelsus: Sämtliche Werke*, 14 vols. Munich: R. Oldebourg.
- A. Sutherland. 1763. *Attempts to Revive Antient Medical Doctrines*. . . London: Millar.
- Gerard van Swieten. 1744-73. *Commentaries Upon the Aphorisms of Dr. H. Boerhaave*, 18 vols. London: for John and Paul Knapton.
- Jonathan Swift. 1937. 'Bec's Birthday'. In *The Poems of Jonathan Swift*, 3 vols. Ed. Harold Williams. Oxford: Clarendon Press.
- Thomas Sydenham. 1666. *Methodus Curandi Febres*. Amstelodami: Gerbrandum Schlagen.
- Thomas Sydenham. 1676. *Observationes Medicae*. Londini: Kettilby.
- Thomas Sydenham. 1683. *Tractatus de podagra et hydrope*. Londini: Gualt. Kettilby.

- Thomas Sydenham. 1705, 4th edn. *The Whole Works of That Excellent Practical Physician*. London: R. Wellington.
- Thomas Sydenham. 1850. *A Treatise on Gout, and Dropsy*, in *The Works of Thomas Sydenham*. Trans. R. G. Latham from the Latin edition of Dr. Greenhill. London: Sydenham Society.
- Franciscus dele Boë Sylvius. 1671. *Praxeos Medicae Idea Nova*. Leiden: Le Carpentier.
- Charles Symmons. 1806. *The Life of John Milton*. London: T. Bensley.
- Thomas S. Szasz. 1957. *Pain and Pleasure: A Study of Bodily Feelings*. London: Tavistock Publications.
- Charles H. Talbot. 1967. *Medicine in Medieval England*. London: Oldbourne; New York: American Elsevier.
- Reay Tannahill. 1975. *Flesh and Blood: A History of the Cannibal Complex*. New York: Stein and Day.
- F. Kräupl Taylor. 1970-71. 'A Logical Analysis of the Medico-Psychological Concept of Disease'. *Psychological Medicine*. i, 356-64.
- F. Kräupl Taylor. 1976. 'The Medical Model of the Disease Concept'. *British Journal of Psychiatry*. cxxviii, 588-94.
- F. Kräupl Taylor. 1979. *The Concepts of Illness, Disease and Morbus*. Cambridge: Cambridge University Press.
- James Spottiswoode Taylor. 1922. *Montaigne in Medicine: Being the Essayist's Comments on Contemporary Physic and Physicians; His Thought on Many Material Matters Relating to Life and Death; An Account of His Bodily Ailments and Peculiarities and of His Travels in Search of Health*. London: Humphrey Milford.
- Owsei Temkin. 1961. 'The Scientific Approach to Disease: Specific Entity and Individual Sickness'. In A. C. Crombie, ed. *Scientific Change*. London: W. Heinemann, 629-47.
- Sir William Temple. 1681, 2nd edn. 'An Essay on the Cure of the Gout'. *Miscellanea*. London: E. Gellibrand, 189-238.
- William Makepeace Thackeray. 1886. *Miscellaneous Essays, Sketches and Reviews and Contributions to "Punch"*. London: Smith, Elder & Co.
- William Makepeace Thackeray. 1972. *The History of Pendennis*. Ed. Donald Hawes. Harmondsworth: Penguin.
- Melchisédec Thévenot, ed. 1663-72. *Relations de divers voyages curieux, qui n'ont point esté publiées, etc.* Paris: De L'imprimene de Iaques Langleis.
- Phillip Thicknesse. 1780. *The Valetudinarian's Bath Guide*. London: Dodsley.
- Phillip Thicknesse. 1782. *An Epistle to Dr. William Falconer of Bath*. Bath: Pratt and Clinch.
- Phillip Thicknesse. 1784; 1786, 2nd edn. *A Year's Journey through the Pais Bas, and Austrian Netherlands*. London: s. n. and London: John Debreh.
- Phillip Thicknesse. 1787. *A Letter to Dr. James Makittrick Adair*. St. Catherine's Hermitage: for the author.
- J. J. Thomas. 1975. 'Smollett and Ethical Sensibility'. Ph. D. dissertation, University of Iowa.
- E. P. Thompson. 1963. *The Making of the English Working Class*. London: V. Gollancz.
- エドワード・P・トムスン『イングランド労働者階級の形成』市橋秀夫・芳賀健一訳、青弓社、2003年
- E. P. Thompson. 1991. *Customs in Common*. London: Merlin Press.
- Geraldine Thompson. 1973. *Under Pretext of Praise: Satiric Mode in Erasmus' Fiction*. Toronto: University of Toronto Press.

- Thomas Thompson, M. D. 1740. *An Historical, Critical and Practical Treatise of the Gout. . . Showing. . . Danger and Presumptions of all Philosophical Systems in Physick*. London: J. Hughs.
- A. Thomson. 1807, 2nd edn. *The Family Physician*. London: R. Philips.
- E. M. Tillyard. 1943. *The Elizabethan World Picture*. London: Chatto and Windus.
- E・M・W・ティリヤード『エリザベス朝の世界像』磯田光一・玉泉八州男・清水徹郎訳、(筑摩叢書367)、筑摩書房、1992年
- E. M. W. ティリヤード『エリザベス時代の世界像』磯田光一訳、研究社出版、1963年
- Jhon Timbs. 1876. *Doctors and Patients*. London: Richard Bentley.
- S.-A.-A.-D. Tissot. 1768. *An Essay on Diseases Incidental to Literary and Sedentary Persons*. London: E. & C. Dilly.
- S.-A.-A.-D. Tissot. 1771. *An Essay on the Disorders of People of Fashion*. London: Richardson & Urquhart.
- Paget Toynbee and Leonard Whibley, eds. 1935. *Correspondence of Thomas Gray*, 3 vols. Oxford: Clarendon Press.
- R. R. Trail. 1970. 'Richard Morton (1637-98)'. *Medical History*. xiv, 166-74.
- W. Treue. 1958. *Doctor at Court*. Trans. F. Fawcett. London: Weidenfeld & Nicolson.
- E. J. Trimmer. 1967. *Rejuvenation: The History of an Idea*. London: Hale.
- David Trotter. 1988. *Circulation: Defoe, Dickens, and the Economies of the Novel*. London: Macmillan.
- Thomas Trotter. 1807. *A View of the Nervous Temperament*. London: Longman, Hurst, Rees & Orme.
- Bryan S. Turner. 1984. *The Body and Society: Explorations in Social Theory*. Oxford: Basil Blackwell.
- B・S・ターナー『身体と文化——身体社会学試論』小口信吉ほか訳、文化書房博文社、1999年
- Bryan S. Turner. 1991. 'Recent Developments in the Theory of the Body'. In Mike Featherstone, Mike Hepworth and Bryan S. Turner, eds. *The Body: Social Process and Cultural Theory*. London: Sage, 1-35.
- William Turner. 1965. *The Names of Herbes (1548)*. Facsimile with introduction by James Britten, B. Daydon Jackson and W. T. Stearn. London: Ray Society.
- Theodore Turquet de Mayerne. 1676. *A Treatise of the Gout*. London: D. Newman.
- Theodore Turquet de Mayerne. 1693. *La Pratique de Medecine. . . et un Traite de la Goutte*. Lyon: Anisson & Posuel.
- James Tyson, M. D. 1895. 'Irregular or Atypical Gout: How shall we know it?'. *Journal of the American Medical Association*. vol. 24: 870.
- James Tyson, M. D. 1904. 'Alfred Baring Garrod'. *Journal of the American Medical Association*. 187 (4): 299-300.
- Graeme Tytler. 1982. *Physiognomy in the European Novel: faces and fortunes*. Princeton, N. J.: Princeton University Press.
- E. A. Underwood. 1937. 'Medicine and Science in the Writings of Smollett'. *Proceedings of the Royal Society of Medicine*. xxx, 961-74.
- University of California Medical Staff Conference. 1972. 'Hyperuricemia — Pathogenesis and Treatment'. *California Medicine*. 116 (6). June: 38-44.
- Sylvanus Urban. 1756. 'The Effect of Musk in curing the Gout in the Stomach. . .'. *Gentleman's Magazine*. xxvi, May: 244.
- Sylvanus Urban. 1756. 'The Gout: A Mock-Heroic Poem in Imitation of the Splendid Shilling'.

- Gentleman's Magazine*. xxvi, December: 584.
- G. Urdang. 1944. *Pharmacopoeia Londinensis of 1618*. Madison, Wis.: State Historical Society of Wisconsin.
- Walter Vandereycken and Ron Van Deth. 1994. *From Fasting Saints to Anorexic Girls: The History of Self-Starvation*. London: Athlone Press.
- ワルター・ヴァンダーエイケン、ロン・ヴァン・デート『拒食の文化史』野上芳美訳、青土社、1997年
- C. A. Vandermonde. 1759. *Dictionnaire portatif de sante*. Paris: Vincent.
- Otto van Veen [Vaenius]. 1607. *Imaginibus in aes incisus, notisque illustrata*. Antverpiae: Ex officina Hieronymi verdussen, auctoris aere & cure.
- David Verey, ed. 1983. *The Diary of a Victorian Squire. Extracts from the Diaries and Letters of Dearman & Emily Birchall*. London: Alan Sutton.
- M. M. Verney, ed. 1930. *The Verney Letters of the Eighteenth Century*. London: Benn.
- Brian Vickers. 1968. *Francis Bacon and Renaissance Prose*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Brian Vickers. 1988. *In Defence of Rhetoric*. Oxford: Clarendon Press.
- H. R. Viets. 1949. 'George Cheyne, 1673-1743'. Fielding H. Garrison Lecture. *Bulletin of the History of Medicine*. xxiii, 435-52.
- Peter Virgin. 1994. *Sydney Smith*. London: HarperCollins.
- Pide Vivignis. 1774. 'A Description of the Four Situations of a Gouty Person'. *Critical Review*. September: 239.
- Ivan Waddington. 1984. *The Medical Profession in the Industrial Revolution*. Dublin: Gill & Macmillan.
- Willoughby Francis Wade. 1863. *Notes on Clinical Medicine*. Birmingham: Josiah Allen.
- Willoughby Francis Wade. 1893. *On Gout as a Peripheral Neurosis*. London: Simpkin, Marshall, Hamilton & Kent.
- Peter Wagner. 1985. *Eros Revied: A Study of Eighteenth-Century Erotica*. London: Secker and Warburg.
- Peter Wagner. 1986. *Lust and Love in the Rococo Period*. Nordlingen: Delphi
- Peter Wagner, ed. 1989. *Christopher Anstey: The New Bath Guide*. Hildesheim: Georg Olms Verlag.
- Peter Wagner. 1991. 'Hogarth's graphic palimpsests: intermedial adaptation of popular literature'. *Word & Image*. 7(4): 329-47.
- Anthony Walker. 1686. *The Virtuous Woman Journal*. London: Nathaniel Ranew.
- Stanley L. Wallace. 1962. 'A Wit and his Gout: The Reverend Sydney Smith'. *Arthritis and Rheumatism*. v, 610-15.
- Stanley L. Wallace. 1968. 'Benjamin Franklin and the Introduction of Colchicum into the United States'. *Bulletin of the History of Medicine*. xlii, 312-20.
- Stanley L. Wallace. 1973. 'Colchicum: The Panacea'. *Bulletin of the New York Academy of Medicine*. xlix, 130-5.
- Margaret Waller. 1993. *The Male Malady: fictions of impotence in the French romantic novel*. New Brunswick, N. J.: Rutgers University Press.
- Izaak Walton. 1927. *The Lives of John Donne*. . . London: World's Classics.
- アイザック・ウォルトン『ジョン・ダン博士の生涯』曾村充利訳、こびあん書房、1993年
- John Want. 1814a. 'Medical and Philosophical Intelligence'. *Medical and Physical Journal*. xxxii, 77-9.
- John Want. 1814b. 'Mr. Want in Answer to Dr. Sutton'. *Medical and Physical Journal*. xxxii, 201-7.

- John Want. 1814c. 'Case of the Paroxysm of Gout Removed by the Tincture of Colchicum'. *Medical and Physical Journal*. xxxii, 312-14.
- John Want. 1814d. 'Cases Illustrative of the Modus Operandi of Colchicum'. *Medical and Physical Journal*. xxxii, 393-5, 491-3.
- James Wardrop. 1851. *On the Nature and Treatment of the Diseases of the Heart, etc.* London: J. Churchill.
- Ferdinando Warner. 1768. *A Full and Plain Account of the Gout; From Whence will be Clearly Seen the Folly, or the Baseness, of All Pretenders to the Cure of It.* London: T. Cadell.
- John Harley Warner. 1986. *The Therapeutic Perspective. Medical Practice, Knowledge and Identity in America, 1820-1885.* Cambridge, Mass.: Harvard University Press.
- J. W. Warter, ed. 1831. *Southey's Common-Place Book.* London: Longman, Brown, Green & Longmans.
- Gilbert Watson. 1966. *Theriac and Mithridatum: A Study in Therapeutics.* London: The Wellcome Historical Medical Library.
- Geoff Watts. 1992. *Pleasing the Patient.* London and Boston, Mass.: Faber & Faber.
- Andrew Wear. 1985a. 'Historical and Cultural Aspects of Pain'. *Bulletin of the Society for the Social History of Medicine*. xxxvi, 7-21.
- Andrew Wear. 1985b. 'Puritan Perceptions of Illness in Seventeenth-Century England'. In Roy Porter, ed. *Patients and Practitioners.* Cambridge: Cambridge University Press, 55-99.
- Andrew Wear. 1987. 'Interfaces: Perceptions of Health and Illness in Early Modern England'. In Roy Porter and Andrew Wear, eds. *Problems and Methods in the History of Medicine.* London: Croom Helm, 230-55.
- Andrew Wear. 1989. 'Medical Practice in Late Seventeenth- and Early Eighteenth-Century England: Continuity and Union'. In R. French and A. Wear, eds. *The Medical Revolution of the Seventeenth Century.* Cambridge: Cambridge University Press, 294-320.
- Andrew Wear, ed. 1992. *Medicine in Society: Historical Essays.* Cambridge: Cambridge University Press, 59-90.
- Andrew Wear. 1992. 'The Popularization of Medicine in Early Modern England'. In Roy Porter, ed. *The Popularization of Medicine, 1650-1850.* London: Routledge, 17-41.
- Miles Weatherall. 1993. 'Drug Therapies'. In W. F. Bynum and Roy Porter, eds. *Companion Encyclopedia of the History of Medicine.* London: Routledge, 911-34.
- Charles Webster. 1975. *The Great Instauration: Science, Medicine, and Reform 1626-1660.* London: Duckworth.
- Judith Wechsler. 1982. *A Human Comedy: Physiognomy and Caricature in 19th Century Paris.* London: Thames and Hudson.
- ジュディス・ウェクスラー『人間喜劇——十九世紀パリの観相術とカリカチュア』高山宏訳、ありな書房、1987年
- F. P. Wedeen. 1981. 'Punch Cures the Gout'. *Journal of the Medical Society of New Jersey*. lxxviii, 201-6.
- F. P. Wedeen. 1984a. 'Irregular Gout: Humoral Fantasy or Saturnine Malady?'. *Bulletin of the New York Academy of Medicine*. lx, 969-79.
- F. P. Wedeen. 1984b. *Poison in the Pot: The Legacy of Lead.* Carbondale, Il.: Southern Illinois University Press.
- A. Welles 1803. *An Account of the Discovery and Operation of a New Medicine for Gout.* London: J. Johnson.

- Benjamin Wells. 1669. *A Treatise of the Gout, or Joint Evil*. London: printed by J. M. for Henry Herringman.
- Calvin Wells. 1964. *Bones, Bodies, and Disease: Evidence of Disease and Abnormality in Early Man*. New York: Frederick A. Praeger.
- William Charles Wells. 1812. 'On Rheumatism of the Heart'. *Transactions of a Society for the Improvement of Medical and Chirurgical Knowledge*, iii, 373-425.
- Richard Wendorf. 1990. *Elements of Life: Biography and Portrait-Painting in Stuart and Georgian England*. Oxford: Clarendon Press.
- John Wesley. 1747. *Primitive Physick: Or, an Easy and Natural Method of Curing Most Diseases*. London: T. Trye.
- William A. West. 1969. 'Matt Bramble's Journey to Health'. *Texas Studies in Literature and Language*. vol. 11: 1197-208.
- A. N. Whitehead. 1926. *Science and the Modern World*. Cambridge: Cambridge University Press.
アルフレッド・ノース・ホワイトヘッド『科学と近代世界』上田泰治・村上至孝訳（ホワイトヘッド著作集 第6巻）、松籟社、1981年
- J. C. Whorton. 1982. *Crusaders for Fitness: The History of American Health Reformers*. Princeton N. J.: Princeton University Press.
- Robert Whytt. 1751. *An Essay on the Vital and other Involuntary Motions of Animals*. Edinburgh: Hamilton, Balfour and Neill.
- Robert Whytt. 1765. *Observations on Nervous, Hypochondriacal, or Hysterical Diseases*. Edinburgh: T. Becket and P. du Hondt.
- J. Wiggins. 1718. *Quack Doctors: A Catalogue of Some Cures of the Gout*. . . . London.
- P. R. Wilde. 1921. *Physiology of Gout, Rheumatism and Arthritis*. Bristol: J. Wright and Sons Ltd.
- Basil Willey. 1962. *The Eighteenth Century Background: Studies on the Idea of Nature in the Thought of the Period*. London: Penguin in association with Chatto & Windus.
バジル・ウィリー『十八世紀の自然思想』三田博雄ほか訳、みすず書房、1975年
- David Williams. 1778. *Unanimity in All Parts of the British Commonwealth, Necessary to its Preservation, Interest and Happiness*. London: Davis.
- Greer Williams. 1959. *Virus Hunters*. New York: Knopf.
- G・ウィリアムズ『ウイルスの狩人』永田育也・蜂須賀養悦訳、岩波書店、1964年
- John Williams. 1774. *Advice to People Afflicted with the Gout*. London: T. Becket.
- Ralph Williams. 1652. 2nd edn. *Physical Rarities, Containing the Most Choice Receipts of Physick, and Chyrurgerie, for the Cure of All Diseases*, London: W. L. and J. M.
- A. F. M. Willich. 1799. *Lectures on Diet and Regimen*. London: Longman & Rees.
- Thomas Willis. 1664. *De Cerebri Anatome*. London: J. Flesher.
- A. Wilson. 1995. *The Making of Man Midwifery*. London: University College Press.
- James Wilson. 1842. *A Practical Treatise on the Cure of Diseases by Water, Air, Exercise and Diet*. London: J. Churchill.
- James Wilson. 1843. *Stomach Complaints and Drug Diseases: Their Causes, Consequences, and Cure by Water, Air, Exercise and Diet*. London: J. Churchill.
- James Wilson and James Manby Gully. 1844, 4th edn. *The Practice of the Water Cure, With Authenticated Evidence of its Efficacy and Safety*. London: H. Baillièrè.
- L. G. Wilson. 1993. 'Fever'. In W. F. Bynum and Roy Porter, eds. *Companion Encyclopedia of the History of Medicine*. London: Routledge, 382-411.
- John Wiltshire. 1991. *Samuel Johnson in the Medical World: The Doctor and the Patient*. Cambridge:

- Cambridge University Press.
- John Wiltshire. 1992. *Jane Austen and the Body*. Cambridge: Cambridge University Press.
- James Anderson Winn. 1992. "When Beauty Fires the Blood": *Love and the Arts in the Age of Dryden*. Ann Arbor, Mich.: University of Michigan Press.
- D. A. Winstanley. 1935. *Unreformed Cambridge*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Clifton Wintringham. 1721. *An Essay on Contagious Diseases: more particularly on the smallpox, measles, putrid, malignant, and pestilential fevers*. York: Charles Bourne.
- Robert Witty. 1677. *Gout Raptures. Astromaxia. Or an Historical Fiction of a War among the Stars*. . . Cambridge: John Hayes.
- Robert Witty. 1685. *A survey of the heavens; being a plain description of the admirable fabrick and motions of the heavenly bodies. . . To which is added the Gout Raptures, augmented and improved in English, Latin and Greek verse*. London: printed for Richard Jones.
- W. H. Wollaston. 1797. 'On Gouty and Urinary Concretions'. *Philosophical Transactions*. lxxxvii, 386-400.
- Samuel Wood. 1775. *Structures on the Gout: With Practical Advice to the Gouty People of Great Britain*. London: for J. Bell and J. Sewel.
- Carl Woodring, ed. 1990. *The Collected Works of Samuel Taylor Coleridge: Table Talk, Volume 1*. London: Routledge.
- J. Woodward. 1977. 'Towards a Social History of Medicine'. In J. Woodward and D. Richards, eds. *Health Care and Popular Medicine in Nineteenth-Century England: Essays in the Social History of Medicine*. London: Croom Helm, 15-55.
- J. Woodward and D. Richards. 1977. *Health Care and Popular Medicine in Nineteenth-Century England: Essays in the Social History of Medicine*. London: Croom Helm.
- Peter W. G. Wright and A. Treacher, eds. 1982. *The Problem of Medical Knowledge*. Edinburgh: Edinburgh University Press.
- R. G. Wyndgaarden and W. N. Kelly. 1976. *Gout and Hyperuricaemia*. New York: Grune & Stratton.
- John Wynter. 1725, 1st edn. *Cyclus Metasyncriticus, Or, an Essay on Chronical Diseases*. . . London: Innys.
- Johann Heinrich Zedler. 1732-50. 'Arthritis'. In *Universal Lexicon*. Halle and Leipzig, cols 1707-17. London: for Johann Heinrich Zedler.
- Theodore Zeldin. 1993. *A History of French Passions*. Oxford: Clarendon Press.
- Theodore van Zelst. 1738. *Libellus Singularis, de Podagra*. . . . Amsterdam: Jansson-Waesberg.
- H. von Ziemmsen, ed. 1870. *Cyclopaedia of the Practice of Medicine*, 17 vols. London: Sampson, Low, Marston, Searle & Irvington.
- A. Zuckerman. 1965. 'Dr. Richard Mead (1673-1754): A Biographical Study'. Ph. D. thesis, University of Illinois.
- Linda Zwinger. 1991. *Daughters, Fathers, and the Novel: The Sentimental Romance of Heterosexuality*. Madison: University of Wisconsin Press.